

令和4年度 宮城県内企業のBCP策定への取組に関する実態調査

調査結果

2023年1月

(調査主体)



(調査支援)



1. 調査概要

調査概要

- ①調査時期 令和4年8月1日(月)から9月9日(金)まで
- ②調査区域 宮城県内
- ③調査対象 宮城県内に所在する従業員規模が30名以上の民営事業所から抽出した2,023社(製造業774社、非製造業1,249社)
- ④調査方法 郵送による調査票の配布、回収
- ⑤調査基準日 令和4年8月1日
- ⑥回答企業数 662社(回答率32.72%)
 - ※ R1:637社(回答率31.49%)
 - ※ H28:751社(回答率37.12%)
- ⑦調査内容 BCPに関する企業の取組、行政に対する要望など

BCP (Business Continuity Plan) とは？

企業が自然災害、大火災などの緊急事態に遭遇した場合において、事業資産の損害を最小限にとどめつつ、中核となる事業の継続あるいは早期復旧を可能とするために、平常時に行うべき活動や緊急時における事業継続のための方法、手段などを取り決めておく経営計画のことで、「緊急時企業存続計画」または「事業継続計画」と言われます。

＜集計結果の取り扱いについて＞

- ① 回答の構成比は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはなりません。
- ② 各設問の基数となる実数は、(N=〇〇)として掲載し、各回答の比率はNを100%として算出しています。
- ③ 質問の終わりに「複数回答」とある設問は、1人の回答者が2つ以上の回答を選択してもよい設問のため、各回答の合計比率は100%を超える場合があります。
- ④ 文中、グラフ中の選択肢等の文言は一部簡略化している場合があります。

2. 調査結果

- 1) 概要
- 2) 回答企業の概要
- 3) 災害リスクについて
- 4) BCPについて
- 5) BCPに関する行政への要望

1) 調査結果:概要(その1)

● BCPの認知状況(9ページ～)

BCPという言葉が「聞いたことがあり意味も理解している」企業は73.6%となり、前回調査(R1:64.4%)より上昇しており、着実に浸透してきている。

● BCPの策定状況(9ページ～)

【BCP認知状況「聞いたことがない」、「無回答」含んだ数値】※県公表数値

BCPを「既に策定している」という企業は39.3%(R1 35.2%)、「策定中」を含めると51.5%がBCP策定に取り組んでおり、前回調査(R1: 45.4%)から6.1ポイント上がった。

【BCP認知状況「聞いたことがない」、「無回答」除外した数値】

BCPを「既に策定している」という企業は46.2%と前回調査(R1: 45.5%)より0.7ポイント上がった。「策定中」を含めると60.6%がBCP策定に取り組んでおり、前回調査(R1: 58.7%)から1.9ポイント上がった。

● 宮城県「みやぎ企業BCPガイドライン」の活用状況(14ページ～)

BCPを「既に策定している」あるいは「策定中」という企業の中で、同ガイドラインを参考にした企業は17.7%だった。これらの企業からは、「大変わかりやすかった」、「チェックすべき項目が明確になった」など前向きな評価が多かった。

1) 調査結果:概要(その2)

● BCP策定の効果(18~19ページ)

BCPを既に策定した企業(260社)に、BCPを策定した効果について尋ねたところ、「効果はあった」が43.5%(113社)、「どちらかといえば効果はあった」の41.5%(108社)を含めると、BCP策定に効果を感じている企業は85.0%(221社)であった。効果を感じている企業は、具体的には「緊急時に必要なもの、対応の確認や優先順位を考えるきっかけとなった」と考えている企業が88.2%と最も多かった。

● BCP策定の妨げになっている事項(21ページ)

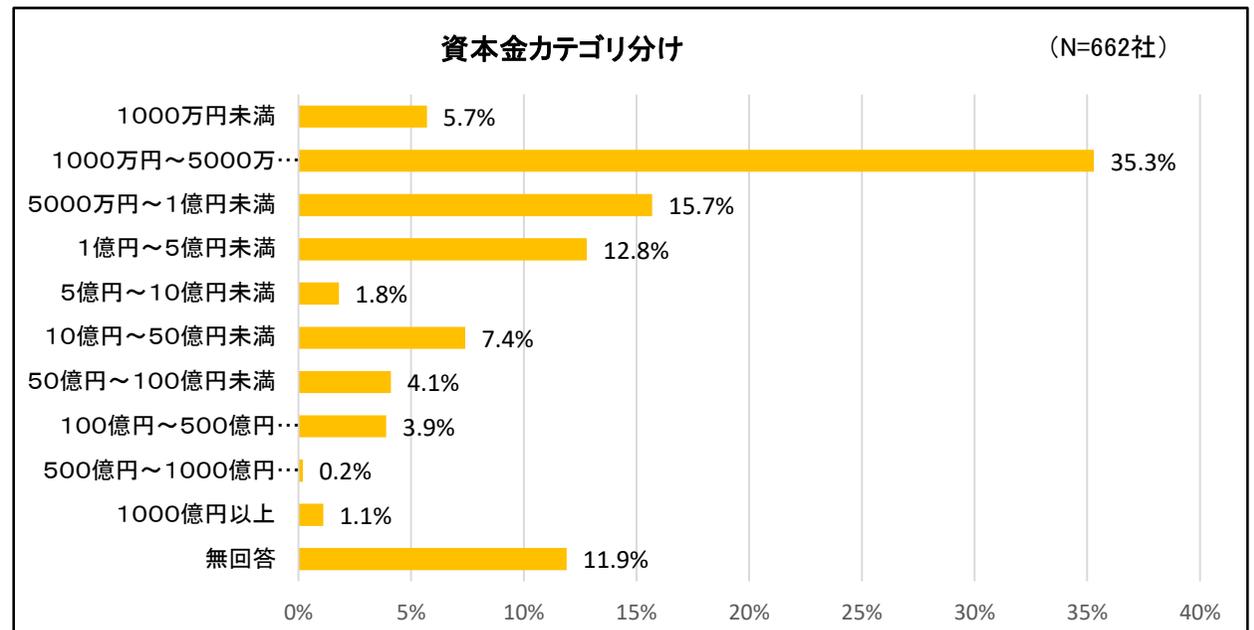
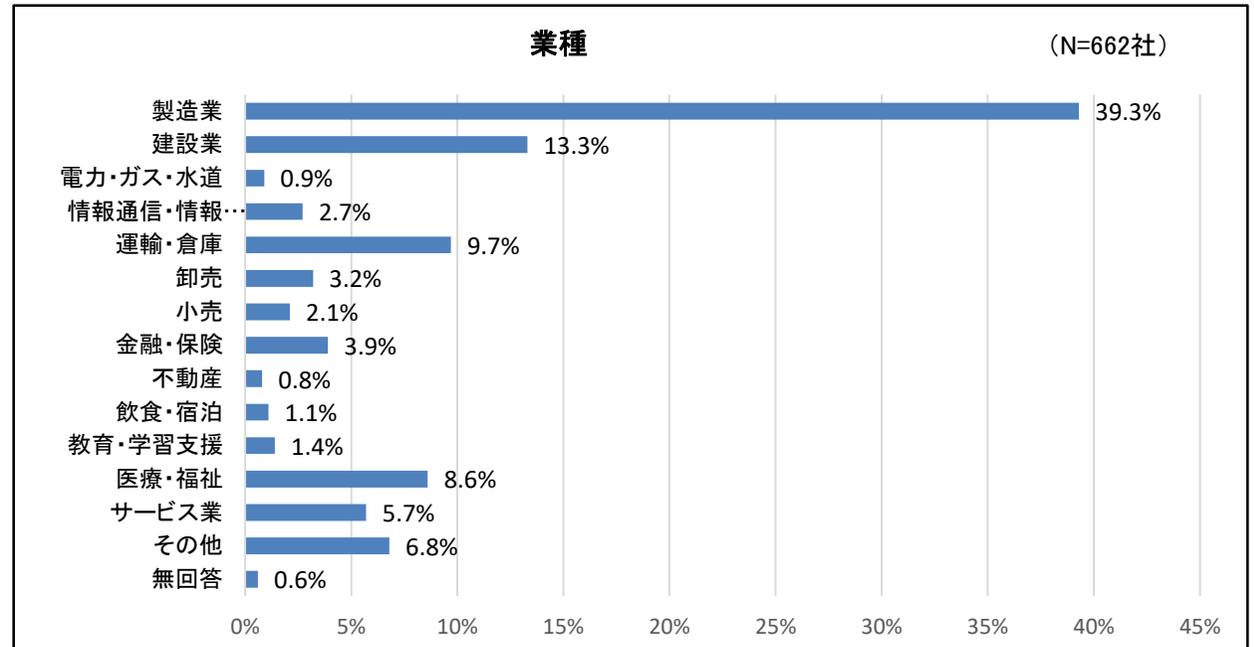
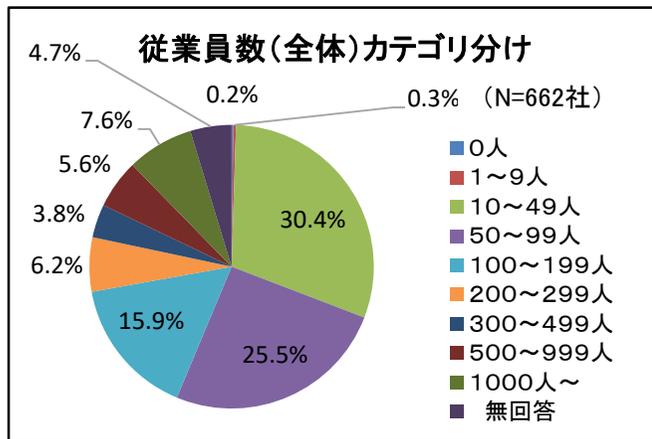
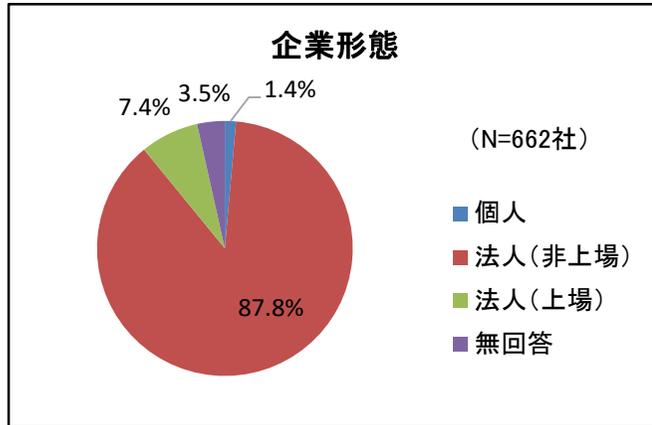
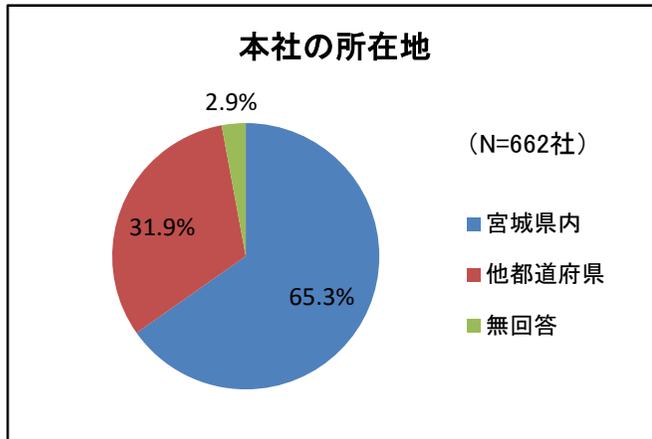
BCPをまだ策定していない企業(219社)に、BCP策定の妨げになっている主な要因を尋ねたところ、「BCPの策定方法がわからない」企業が32.4%(71社)を占め、前回調査(R1)の25.4%から増加し、もっとも多い回答となった。BCPの必要性を感じつつも、BCP策定に関する策定ノウハウに課題意識を持っている企業が多いことが伺える。

● 対策事項のレベル(24ページ~)

BCPという言葉聞いたことがあると回答した企業に、自社の災害・事故・感染症等への対策事項の対策の程度を尋ねたところ、「対策済」と回答した企業が多かった対策事項は、「13 被害状況調査／安否確認手順」(80.6%)、もっとも少なかった対策事項は、「14 後片付け／がれきの除去」(26.8%)となった。

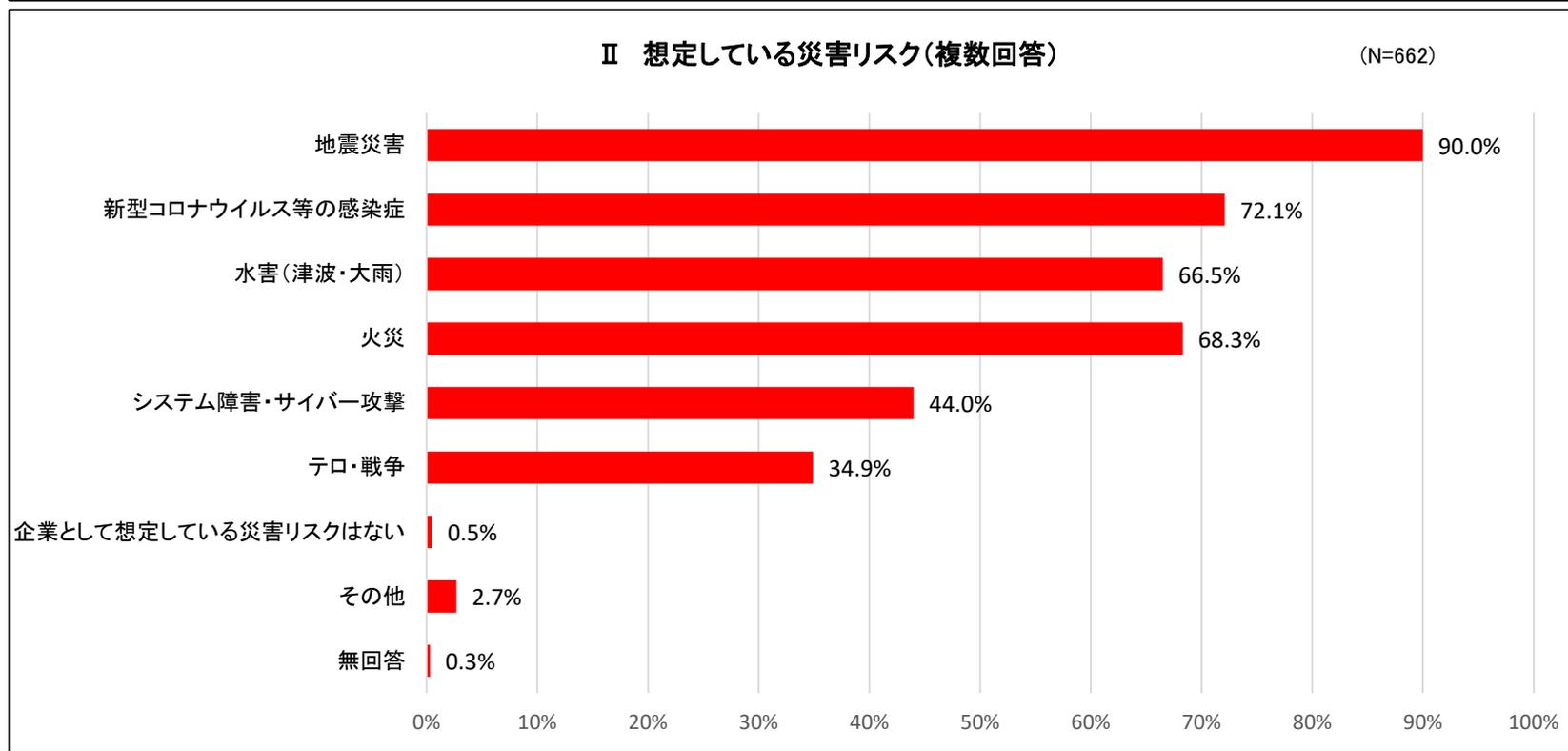
「15 事業継続」を「対策済」と回答した企業は、「復旧方針の策定」(40.0%)、「復旧計画の策定」(38.2%)、「復旧手順の策定」(36.8%)となり、いずれも4割程度にとどまった。

2) 回答企業の概要



3) 災害リスクについて

Ⅱ. 災害リスクについてお尋ねします。
貴社で想定している災害リスクは何ですか？(〇はいくつでも)



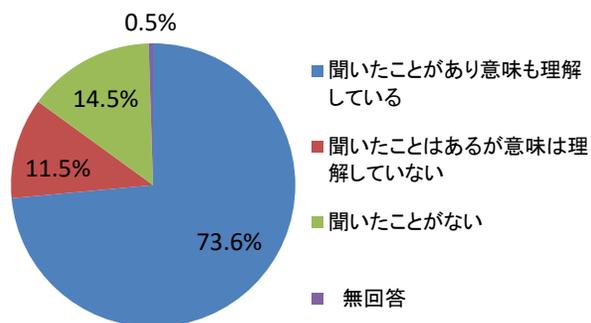
- ▽ 想定する災害リスクは、「地震災害」(90.0%)、「新型コロナウイルス等の感染症」(72.1%)、「火災」(68.3%)、水害(津波・大雨)(66.5%)の順となった。
- ▽ 前回調査(R1)では、「地震災害」(95.9%)、「火災」(65.8%)、「水害(津波・大雨)」(61.1%)、「新型インフルエンザ等の感染症」(49.5%)の順となっており、今回調査で感染症に対する想定災害リスクは、22.6ポイント上がり、第4位(R1)→第2位と急上昇した。
- ▽ 「システム障害」を災害リスクと想定する企業は44.0%となり、前回調査(R1)の42.1%より、1.9ポイント上がった。

4) BCPについて: ① BCPの認知と策定状況

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。
 1 BCPという言葉聞いたことはありますか?(○は1つ) 【BCP認知状況】
 2-(1) 貴社ではBCPを策定していますか?(○は1つ) 【BCP策定状況】

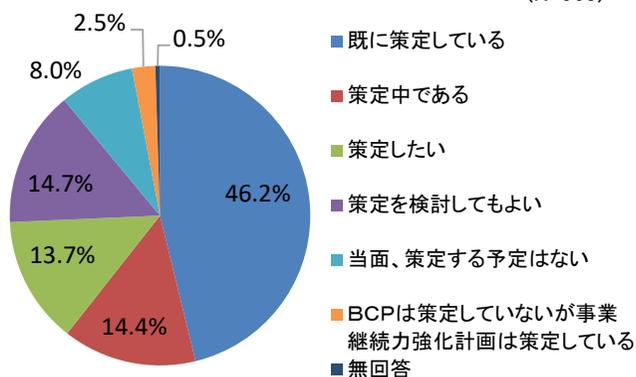
Ⅲ-1BCP認知状況

(N=662)



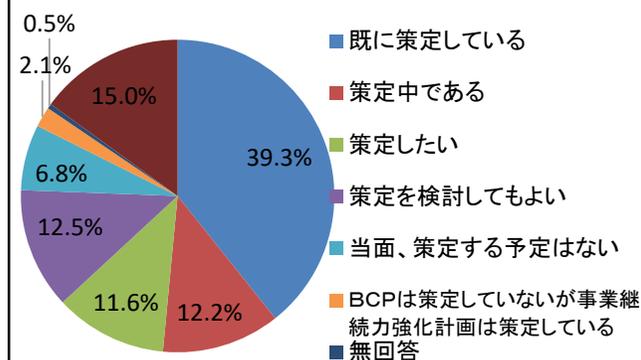
Ⅲ-2-(1)BCP策定状況

(N=563)



Ⅲ-2-(1):BCP策定状況(※県公表値)

(N=662)



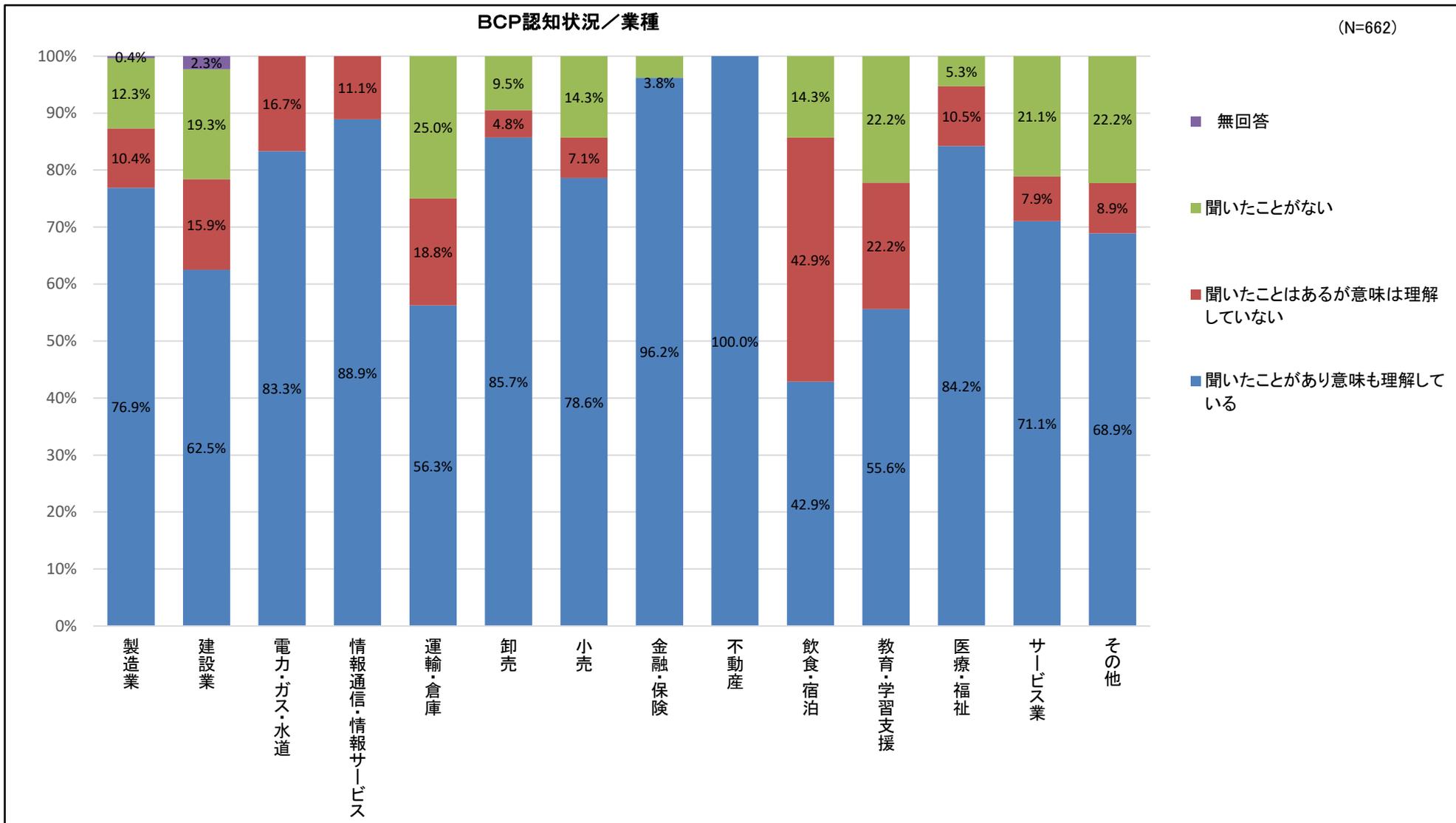
【BCP認知状況】

▽全体では、「聞いたことがあり意味も理解している」が73.6%(R1:64.4%)、「聞いたことはあるが意味は理解していない」が、11.5%(R1:12.9%)となった。
 ▽「聞いたことがない」は、14.5%(R1:22.3%)となった。
 ▽前回調査(R1)より、BCPの認知度(「聞いたことがあり意味も理解している」+「聞いたことはあるが意味は理解していない」)は、7.8ポイント上がった。
 (R1:77.3%→R4:85.1%)

【BCP策定状況】

▽【Ⅲ1 BCP認知状況「聞いたことがない」、「無回答」含んだ数値】※Ⅲ-2-(1)BCP策定状況(※県公表値)
BCPを「既に策定している」という企業は39.3%と前回調査(R1:35.2%)より4.1ポイント上がった。「策定中」を含めると51.5%と過半数がBCP策定に取り組んでおり、前回調査(R1:45.4%)から6.1ポイント上がった。
 ▽【Ⅲ1 BCP認知状況「聞いたことがない」、「無回答」除外した数値】※Ⅲ-2-(1):BCP策定状況
 BCPを「既に策定している」という企業は46.2%(R1:45.5%)「策定中」を含めると60.6%がBCP策定に取り組んでおり、前回調査(R1:58.7%)から1.9ポイント上がった。

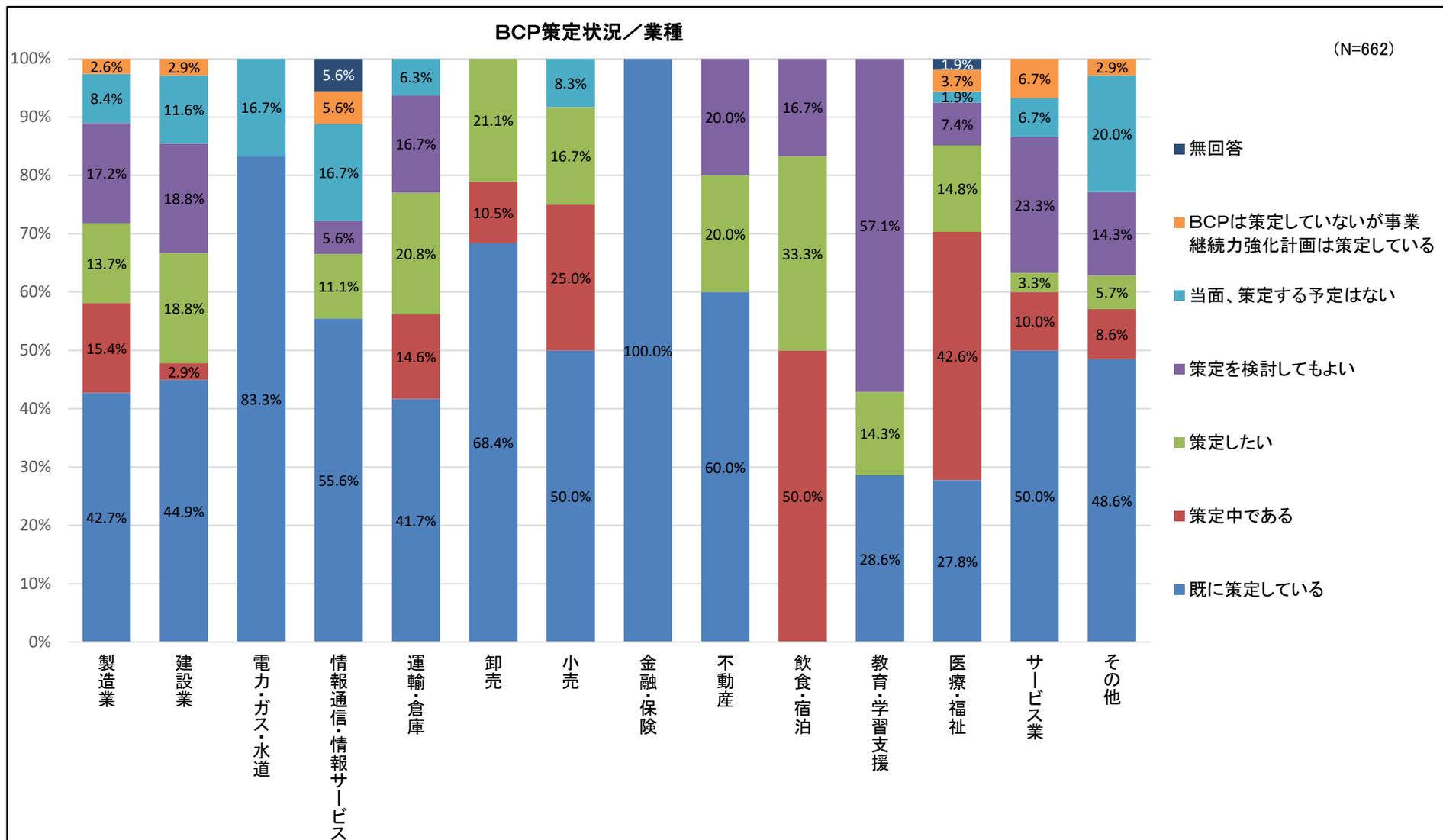
4) BCPについて: ① BCPの認知と策定状況(参考:業種別)



【業種ごとの認知状況】

▽「聞いたことがあり意味も理解している」と回答した企業がもっとも多かった業種は、「不動産業」で100%**(5社中5社)**であり、もっとも低かったのは「飲食・宿泊業」で42.9%**(7社中3社)**だった。

4) BCPについて: ① BCPの認知と策定状況(参考:業種別)



【業種ごとの策定状況】

▽「既に策定している」と回答した企業がもっとも多かった業種は、「金融・保険業」で100%(25社中25社)であり、もっとも低かったのは「飲食・宿泊業」で0%(6社中0社)だった。

4) BCPについて: ② BCP策定の契機と時期

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(2) 【2-(1)で「ア 既に策定している」、「イ 策定中である」と回答された企業にお聞きします。

① BCPに取り組む契機となった主な要因は何ですか？(〇はいくつでも)

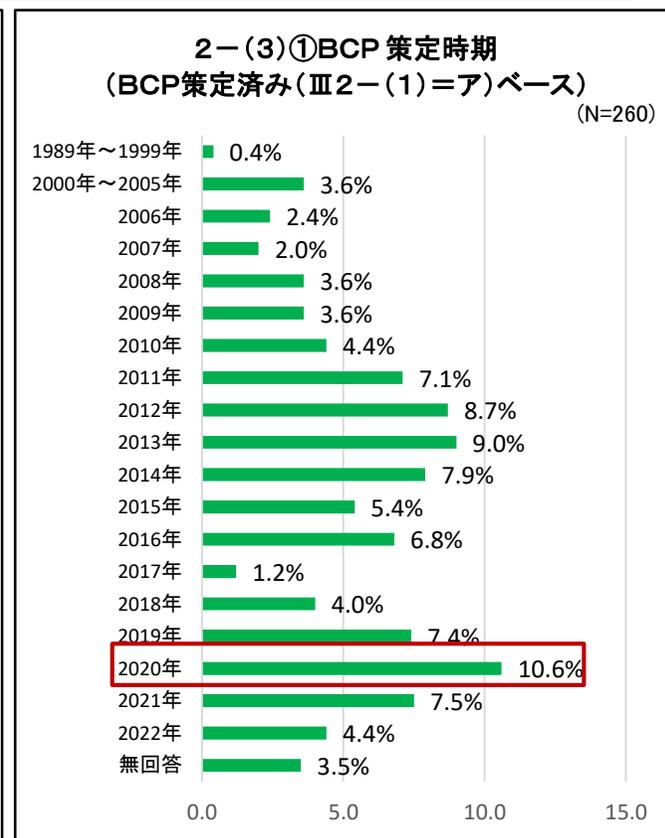
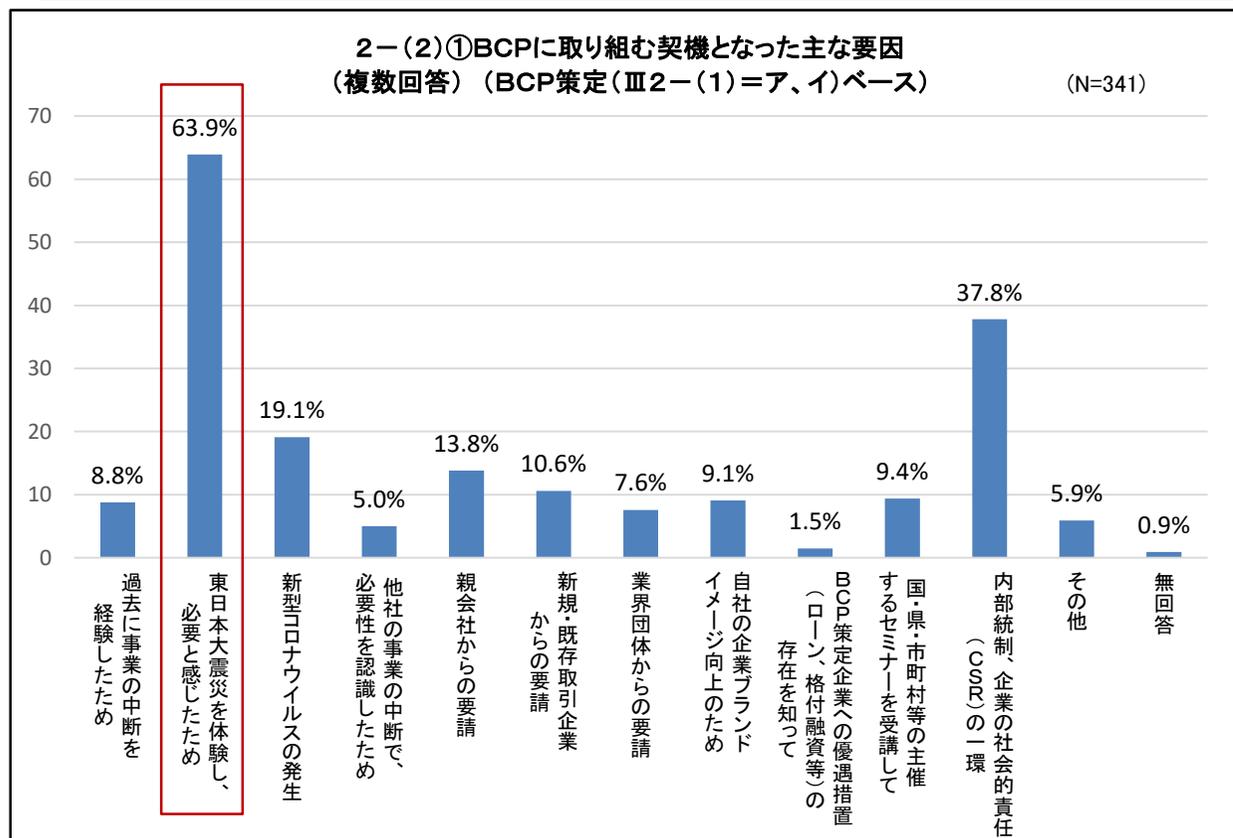
② 13ページ参照

2-(3) 【2-(1)で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きします。

① BCPを策定した時期は何時ですか？

② 14ページ参照

③ 16-17ページ参照



▽東日本大震災(2011年3月11日)を契機(63.9%)としてBCPを策定した企業の割合がもっとも多い。次いで「内部統制・CSRの一環」(37.8%)、「新型コロナウイルスの発生」(19.1%)を契機としてBCPに取り組む企業が多い。

▽一方で、策定期期は、新型コロナウイルスの国内感染が発生した2020年がもっとも多い。

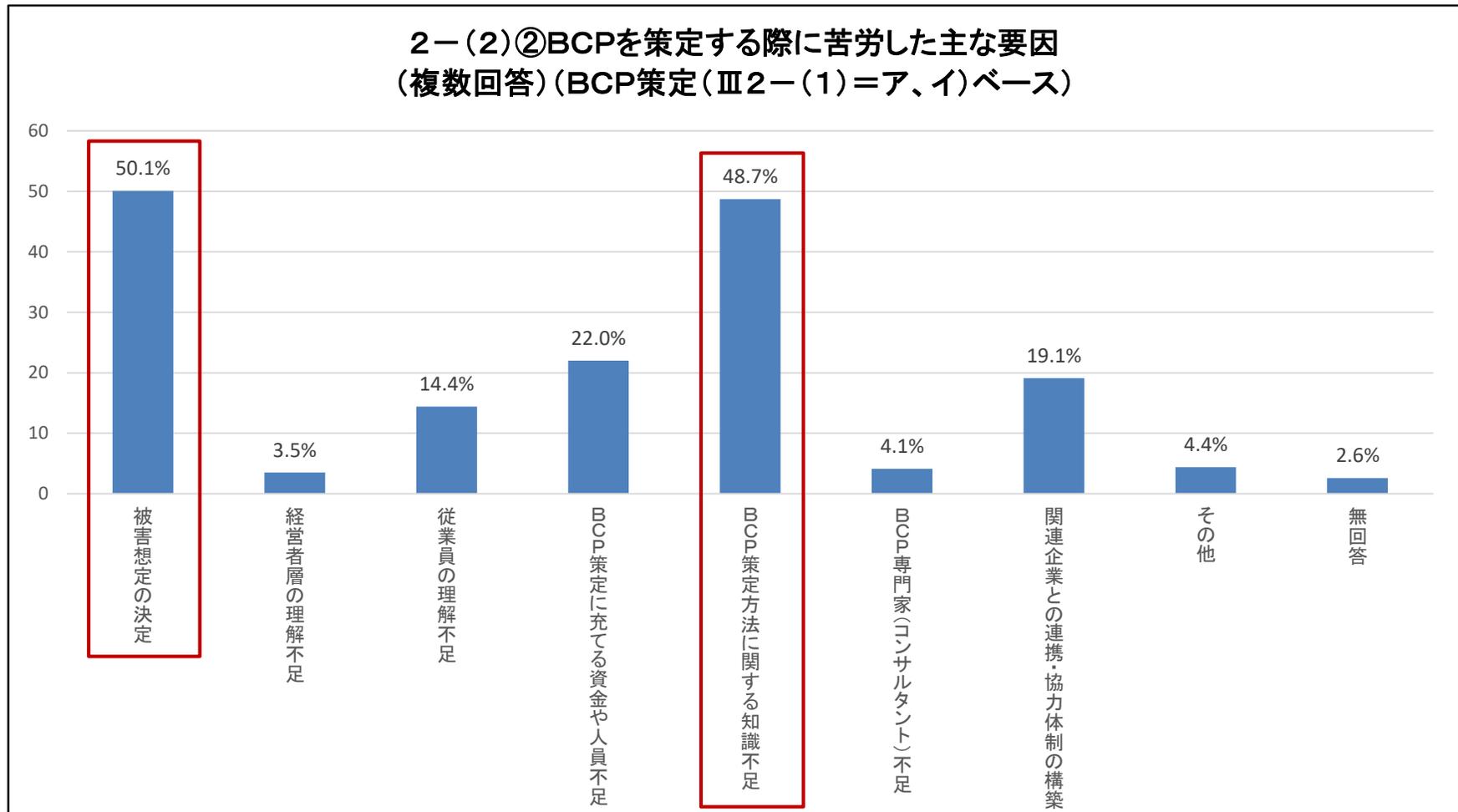
4) BCPについて: ③ BCP策定時に苦労した点

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(2)【2-(1)】で「ア 既に策定している」、「イ 策定中である」と回答された企業にお聞きします。

① 12ページ参照

② BCPを策定する際に苦労した(苦労している)主な要因は何ですか?(〇は2つまで)



▽「被害想定への決定」(50.1%)に苦労したとする企業がもっとも多い。

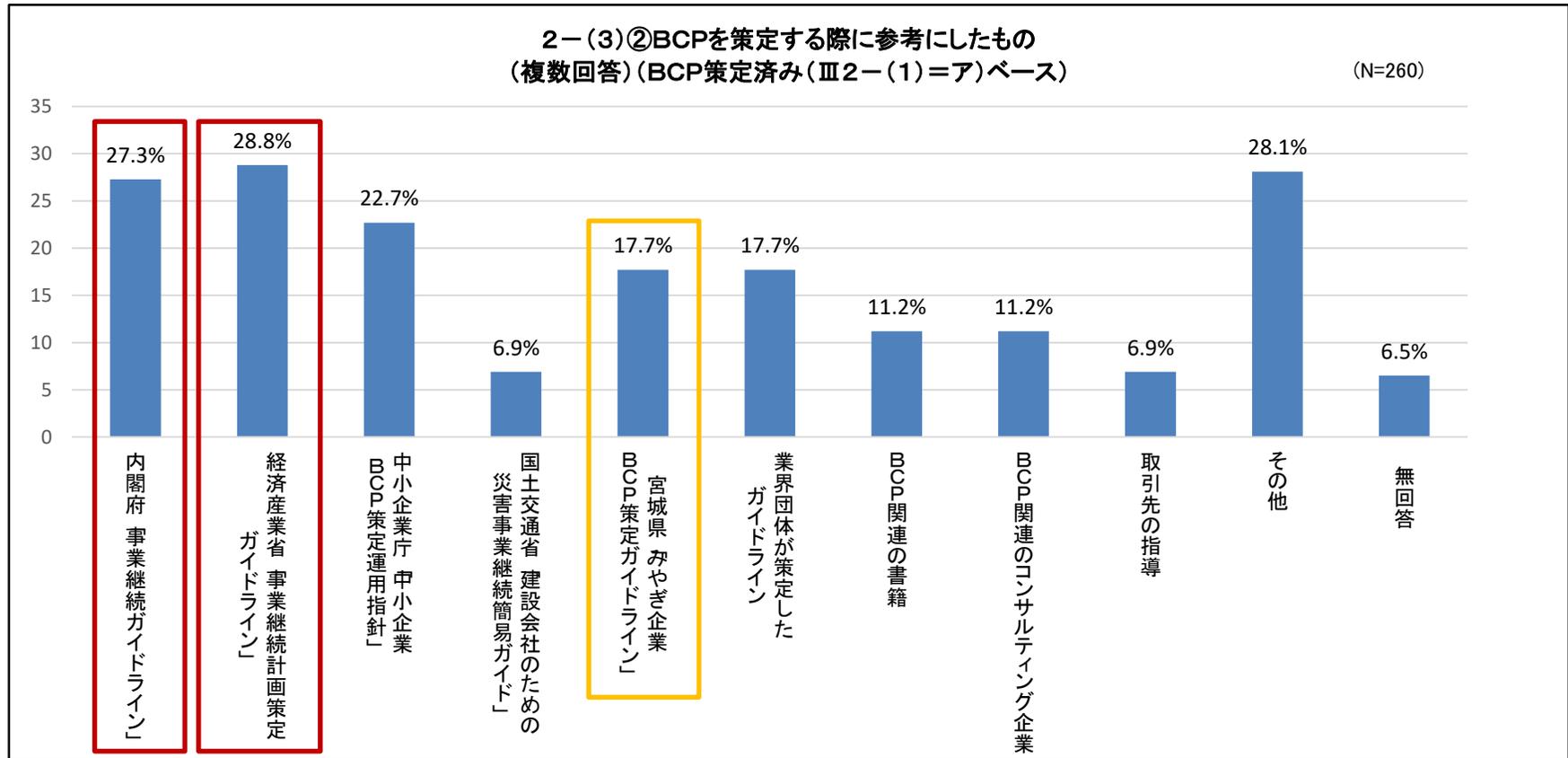
次いで「BCP策定方法に関する知識不足」(48.7%)、「BCP策定に充てる資金や人員不足」(22.0%)が挙げられている。

4) BCPについて:④ BCP策定時の参考にしたもの

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(3)【2-(1)】で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きします。

- ① 12ページ参照
- ② BCPを策定する際に参考にしたものは何ですか?(〇はいくつでも)
- ③ 16-17ページ参照



▽経済産業省「事業継続計画策定ガイドライン」(28.8%)を参考にした企業がもっとも多く、次いで内閣府「事業継続ガイドライン」(27.3%)が多かった。

▽宮城県「みやぎ企業BCPガイドライン」を参考にした企業は17.7%であった。

4) BCPについて:⑤:「みやぎ企業BCPガイドライン」について

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(5)【2-(3)②】で オ 宮城県「みやぎ企業BCP策定ガイドライン」を選択した企業に伺います。

同ガイドラインを使って良かった点、改善すべき点など御意見がありましたら記入をお願いします(自由記述)

【自由記述】

- 基本方針から手順(役割)の具体まで流れに沿って策定出来たのが良かった。
- 大変わかりやすかった。
- 様式が細かく従業員への指示事項等を作成する事に理解が深まった。
- チェックすべき項目が明確になった。
- 「みやぎモデル(平常時、緊急時)」と様式一覧を当社のBCP策定に参考にした。
- 見直しの際に参考にさせていただきました。社内の対応内容に不足がないか確認する上で役に立ちました。
- 対応すべき項目について不足がないか確認するうえで参考になりました。
- 詳細は書かれており、参考となるが、災害の種類や規模によって対応が異なるため、できるだけ簡潔にまとめてほしい。
- 電気・水道・物流等のインフラに関する情報がほしい。
- 何かのセミナーで見た記憶がある程度でしたので、内容に関する意見は特にございませぬ。

▽ 宮城県「みやぎ企業BCPガイドライン」を参考にしてBCPを策定した企業にコメントを求めたところ、「見直しに役立つ」「参考になった」など、良かった点を挙げた企業が多かった。

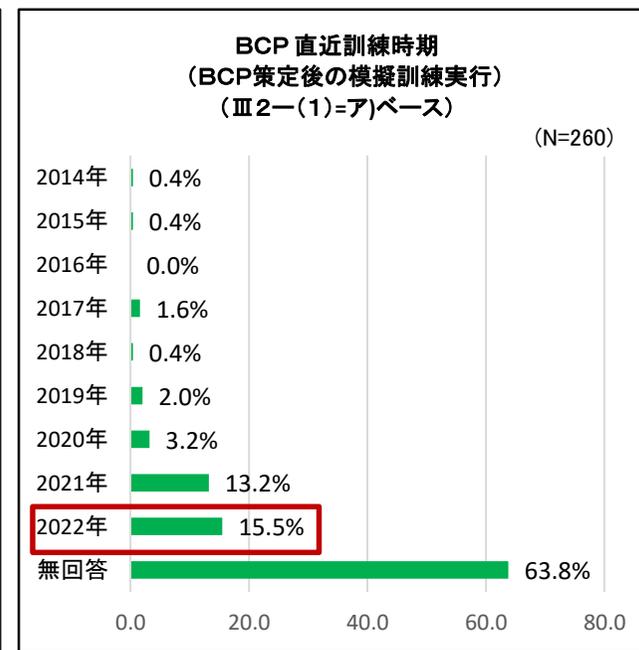
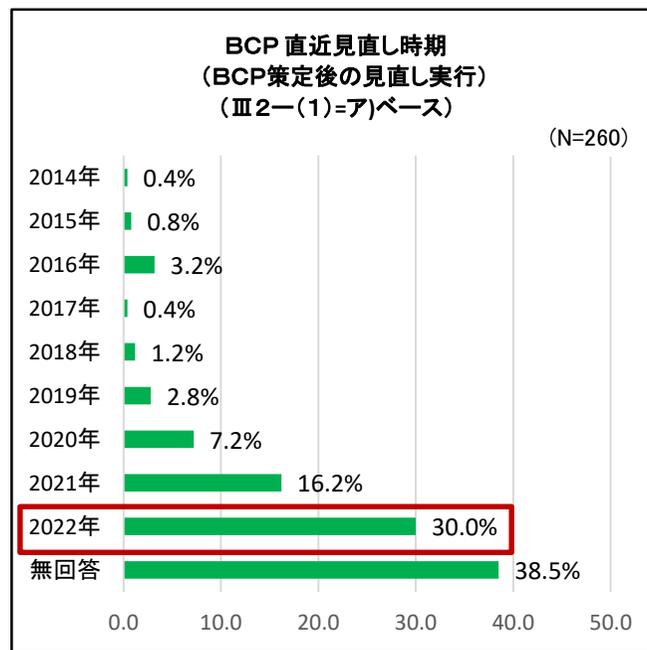
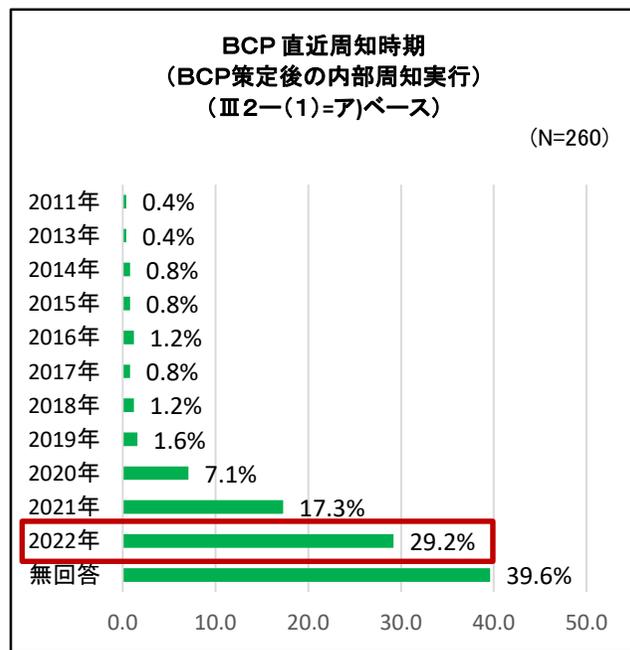
▽ 今後は、さらなる支援の在り方の検討が望まれる。

4) BCPについて:⑥ BCP策定後の活動(時期)

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(3)【2-(1)】で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きます。

- ① 12ページ参照
- ② 14ページ参照
- ③ BCPを策定後、企業内部へ内容の周知、内容の見直し(改訂等)、及び模擬(被災想定)訓練を行ったことはありますか?
(〇はいくつでも)



【BCP策定後の活動:時期】

▽ BCPの策定時期は、2020年がもっとも多かった(12ページ参照)が、BCPを策定後「企業内部へ内容の周知(グラフ:BCP直近周知時期)」「内容の見直し(改訂等)(グラフ:BCP直近見直し時期)」「模擬(被災想定)訓練(グラフ:BCP直近訓練時期)」を、それぞれ実行した時期は2022年がもっとも多くなった。

4) BCPについて: ⑦ BCP策定後の活動(回数)

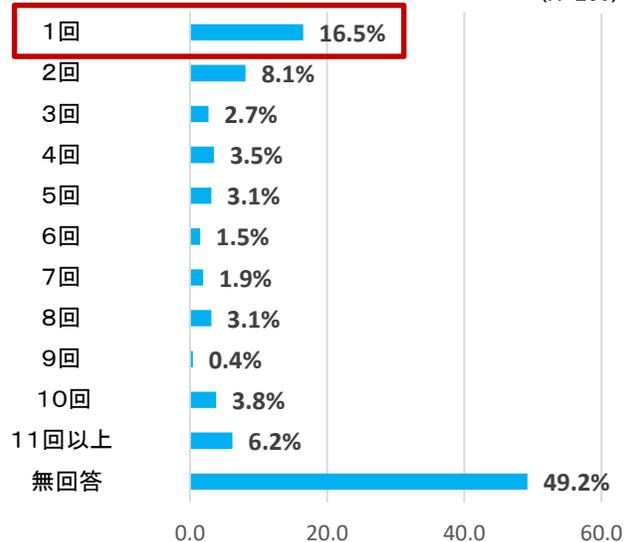
Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(3)【2-(1)】で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きます。

- ① 12ページ参照
- ② 14ページ参照
- ③ BCPを策定後、企業内部へ内容の周知、内容の見直し(改訂等)、及び模擬(被災想定)訓練を行ったことはありますか?
(〇はいくつでも)

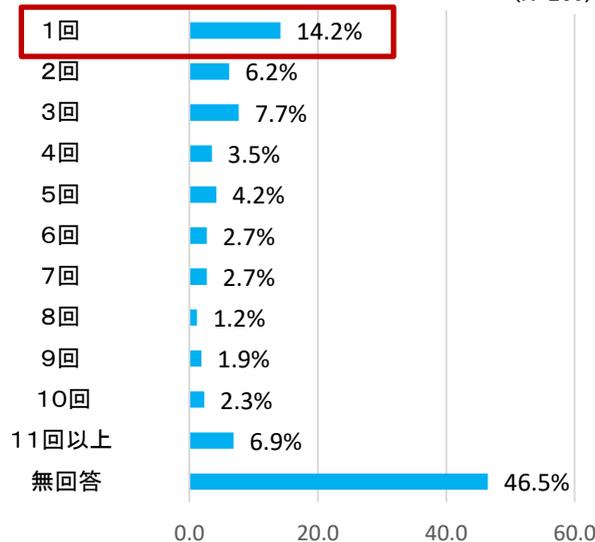
BCP周知累計数
(BCP策定後の内部周知実行)
(Ⅲ2-(1)=ア)ベース

(N=260)



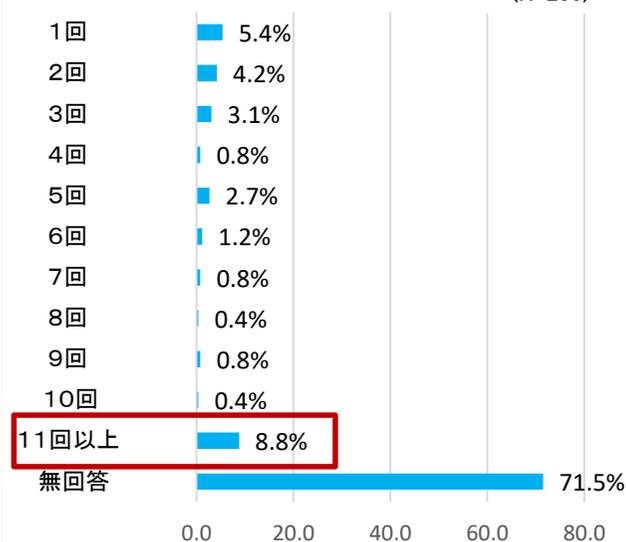
BCP直近訓練時期
(BCP策定後の見直し実行)
(Ⅲ2-(1)=ア)ベース

(N=260)



BCP直近訓練時期
(BCP策定後の模擬訓練実行)
(Ⅲ2-(1)=ア)ベース

(N=260)



【BCP策定後の活動:回数】

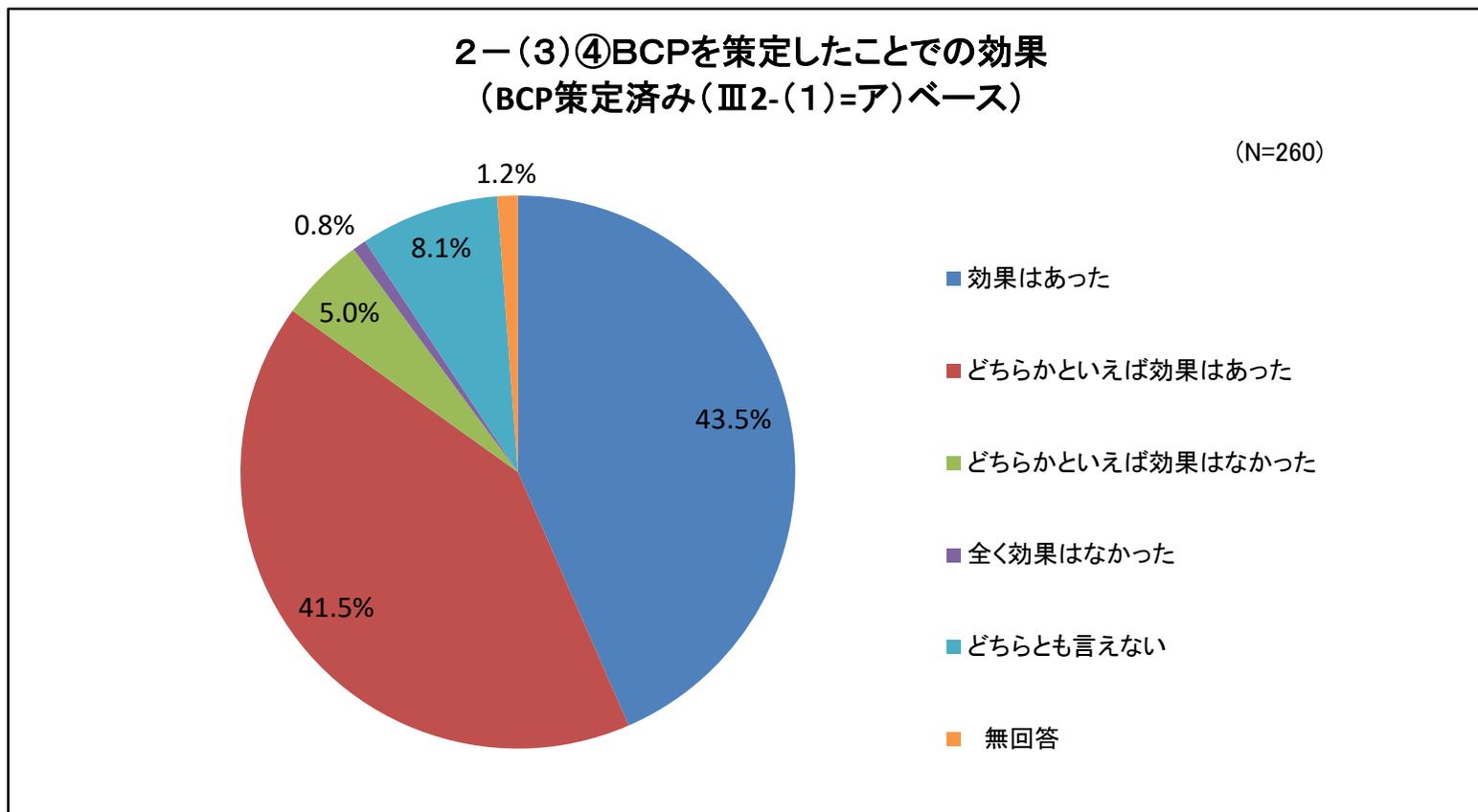
- ▽「企業内部へ内容の周知(グラフ:BCP周知累計数)」を実施した回数は、「1回」がもっとも多い。
- ▽「内容の見直し(改訂等)(グラフ:BCP見直し累計数)」を実施した回数も、「1回」がもっとも多い。
- ▽「模擬(被災想定)訓練(グラフ:BCP訓練累計数)」を実施した回数は、「11回以上」がもっとも多い。

4) BCPについて:⑧BCP策定の効果

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(3)【2-(1)】で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きます。

④ BCPを策定したことで効果はありましたか？(○は1つ)



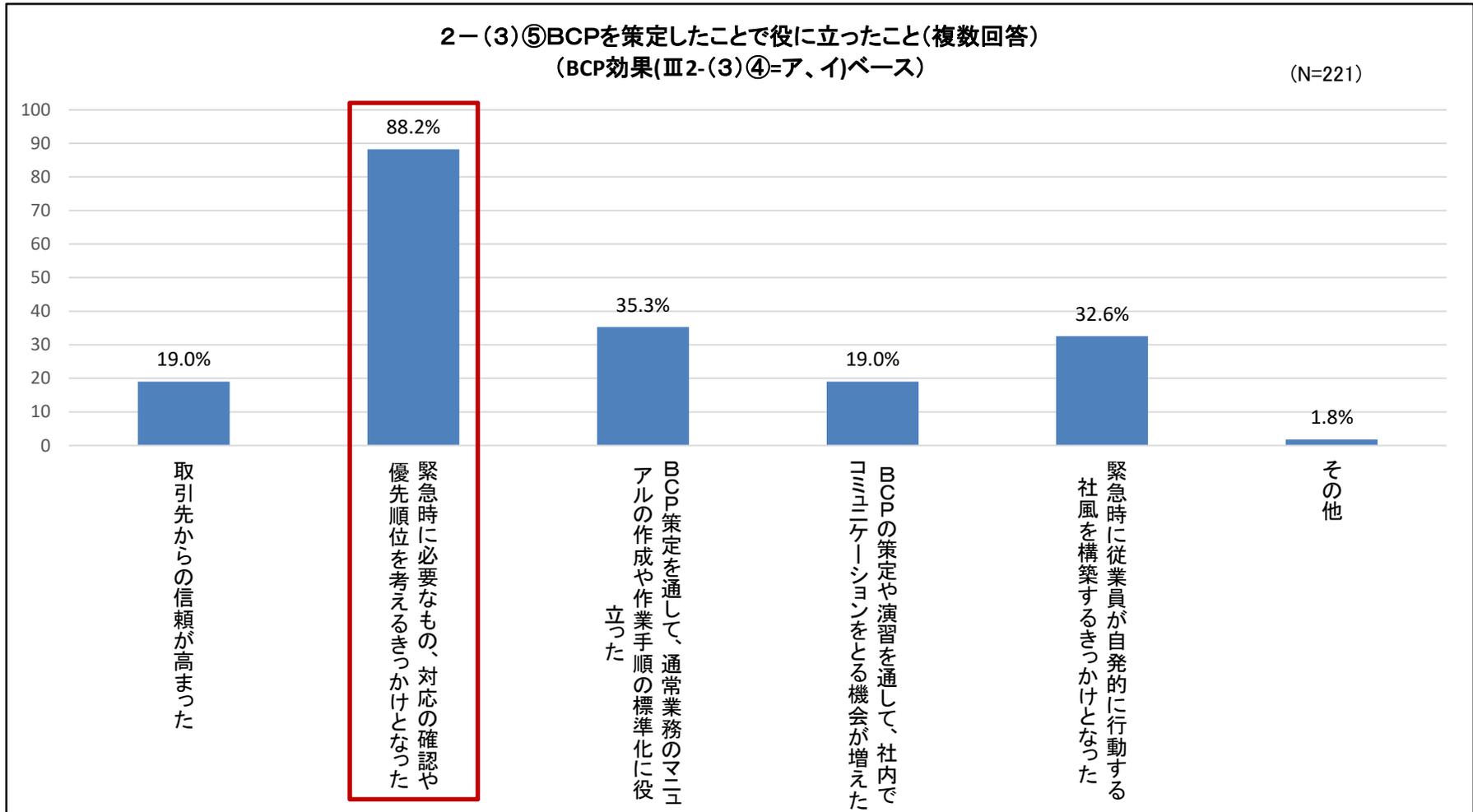
▽「効果はあった」が43.5%、「どちらかといえば効果はあった(41.5%)」を含めると、BCP策定に効果を感じている企業は85.0%であった。

4) BCPについて: ⑧BCP策定の効果

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(3)【2-(1)】で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きします。

⑤【2-(3)④】で「ア 効果はあった」、「イ どちらかといえば効果はあった」と回答された企業にお聞きします。
BCPを策定したことで、役に立ったことは何ですか？(複数回答)



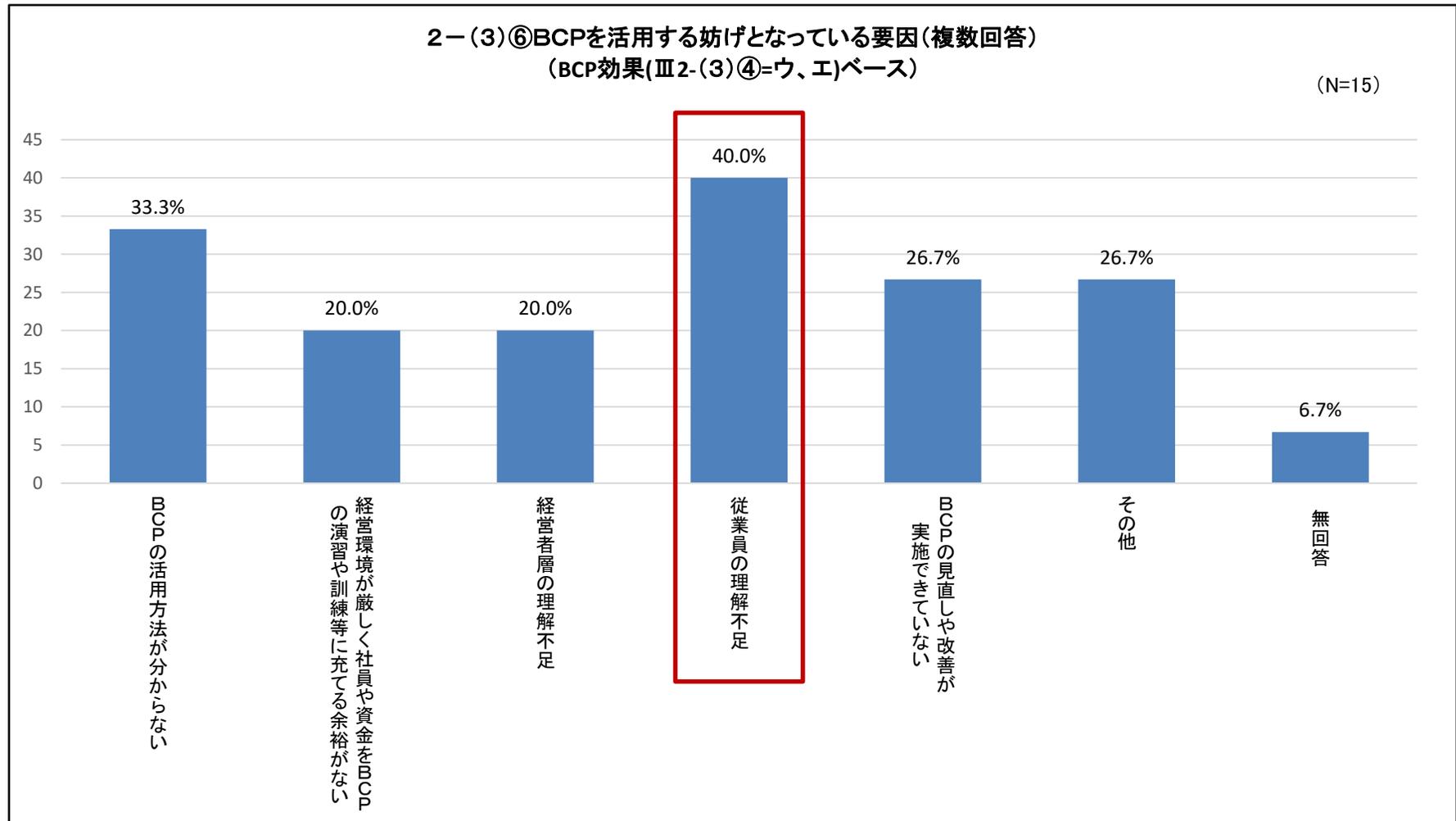
▽「緊急時に必要なもの、対応の確認や優先順位を考えるきっかけとなった」企業が最も多い(88.2%)。

4) BCPについて: ⑧BCP策定の効果

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(3)【2-(1)】で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きします。

⑥【2-(3)④】で「ウ どちらかといえば効果はなかった」、「エ 全く効果はなかった」と回答された企業にお聞きします。
BCPを活用する妨げとなっている要因はなんですか?(〇はいくつでも)



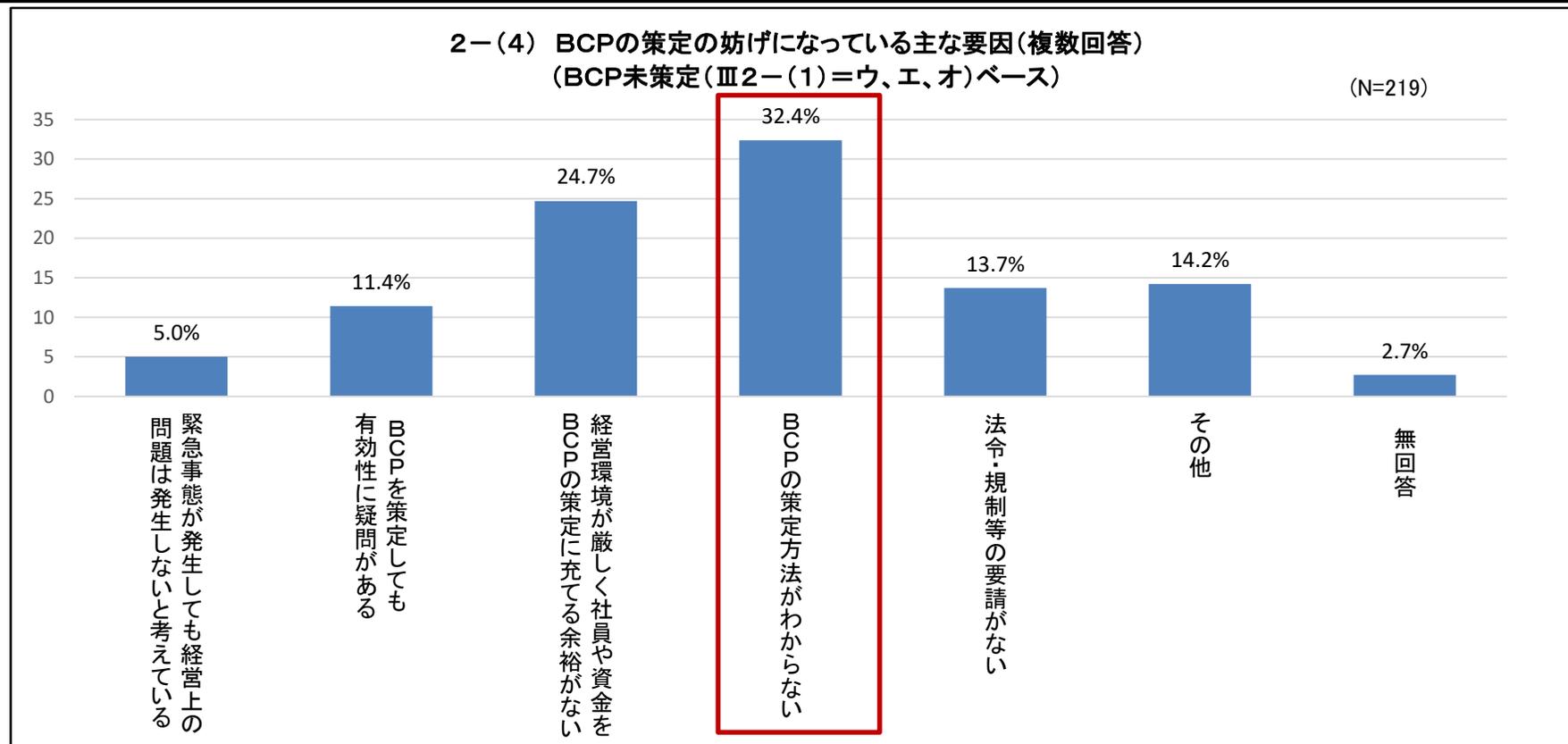
▽「従業員の理解不足」が最も多い(40.0%)。

4) BCPについて: ⑨ BCP策定の妨げになっている事項

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

2-(4) 【2-(1)】で「ウ 策定したい」、「エ 策定を検討してもよい」と回答された企業にお聞きします。

BCPの策定の妨げになっている主な要因は何ですか？(○は1つ)



▽「BCPの策定方法がわからない」(32.4%)が最も多く、前回調査(R1)から7.0ポイント増加した。

▽前回調査(R1)で最も多かった「経営環境が厳しく社員や資金をBCPの策定に充てる余裕がない」は24.7%となり、前回調査(R1)から8.6ポイント減少した。

▽「法令・規制等の要請がない」(13.7%)は、前回調査(R1)から5.7ポイント増加した。

▽BCPの必要性を感じつつも、BCP策定に関するリソース確保や策定ノウハウへの課題意識、またBCPの有効性への疑問を持っている企業が多い。宮城県としても、今後の支援の在り方が重要となると思われる。

4) BCPについて: ⑩ 取引条件としてのBCP

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

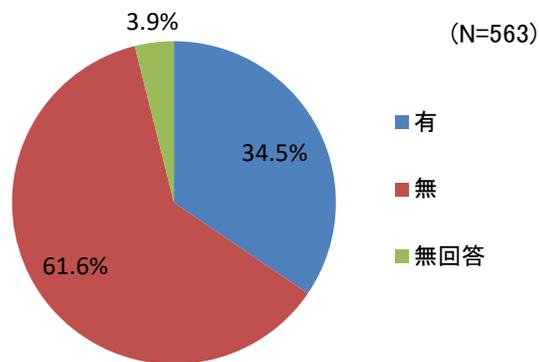
3-(1) 取引先や金融機関など外部の企業から、BCPの有無を聞かれたことがありますか?(〇は1つ)

3-(2) 【3-(1)】で「ア 有」と回答された企業にお聞きします。

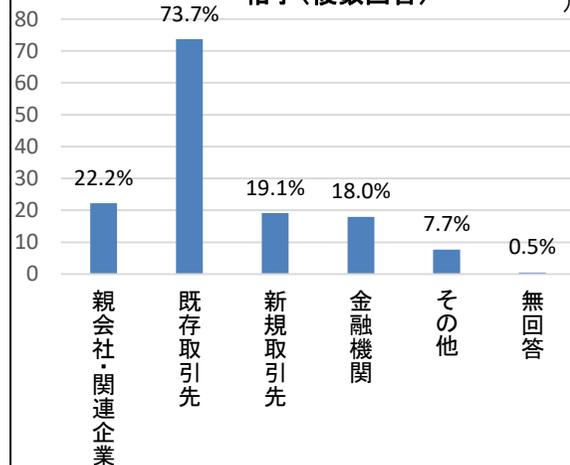
BCPの有無を聞かれた相手方は誰ですか?(〇はいくつでも)

3-(3) 取引を行う際に、相手企業(場合によっては一部の相手方)にBCPがあることを求めますか?(〇は1つ)

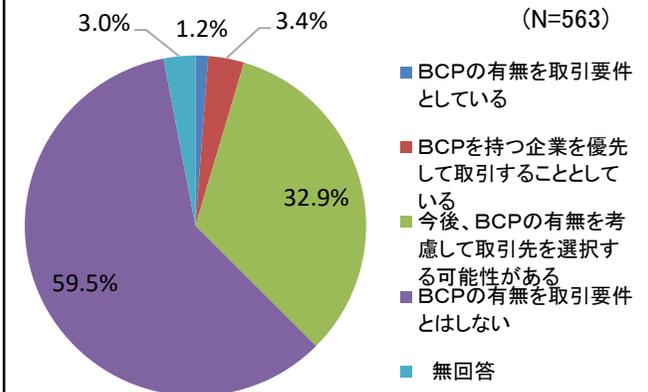
3-(1) 外部企業からBCP有無に関する問合せ
(BCP認知(Ⅲ1=ア、イ)ベース)



3-(2) BCPの有無を聞かれた相手(複数回答)
(N=194)



3-(3) 取引の際の相手企業
BCP有無状況
(BCP認知(Ⅲ1=ア、イ)ベース)



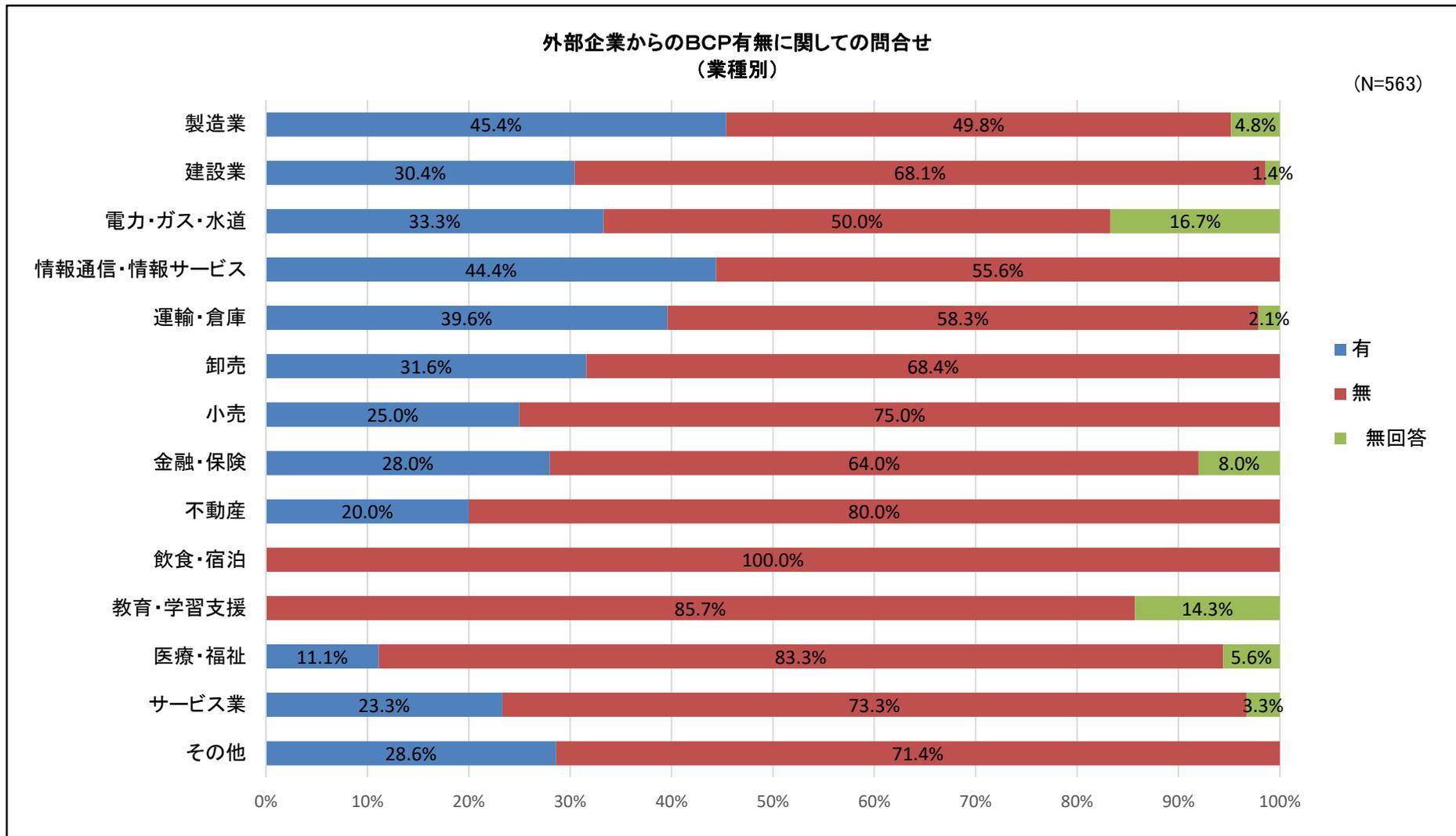
▽ 「取引先や金融機関など外部の企業から、BCPの有無を聞かれたことがある」(34.5%)との回答率は、前回調査(R1:35%)とほぼ同様となった。

▽ BCPの有無を聞かれた相手方は、前回調査(R1)同様「既存取引先」が最も多く、前回調査(R1)の68%から5.7ポイント上がって73.7%となった。一方、「金融機関」は、前回調査(R1)と同様の18%となった。

▽ 「BCPの有無を取引条件としている」は1.2%と前回調査(R1:0.8%)より0.4ポイント上がった。

また、「BCPを持つ企業を優先して取引することとしている」は3.4%と、前回調査(R1:3.5%)と同水準であり、「BCPの有無を取引要件としない」もまた59.5%と前回調査(R1:58.7%)と同水準となっている。

4) BCPについて: ⑩ 取引条件としてのBCP(参考:業種別)



▽「取引先や金融機関など外部の企業から、BCPの有無を聞かれたことがある」企業がもっとも多い業種は、「製造業」で、45.4%だった。もっとも低かったのは「飲食・宿泊業」「教育・学習支援業」でいずれも0%だった。

4) BCPについて: ⑪対策事項のレベル(その1)

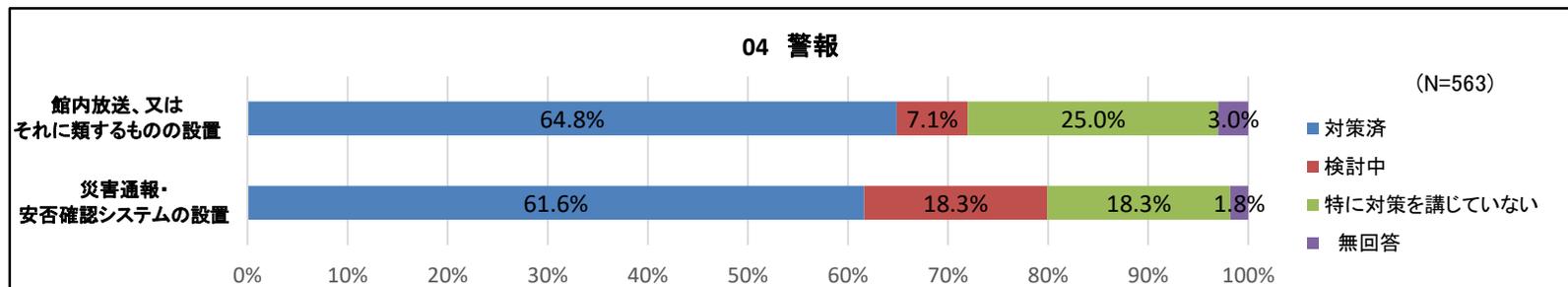
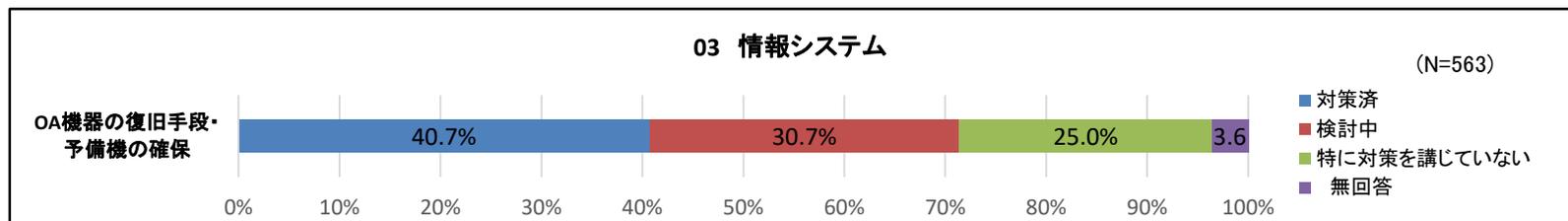
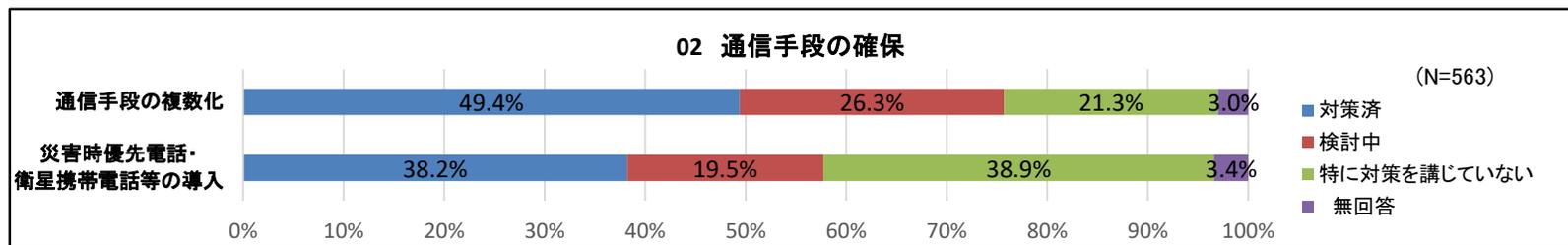
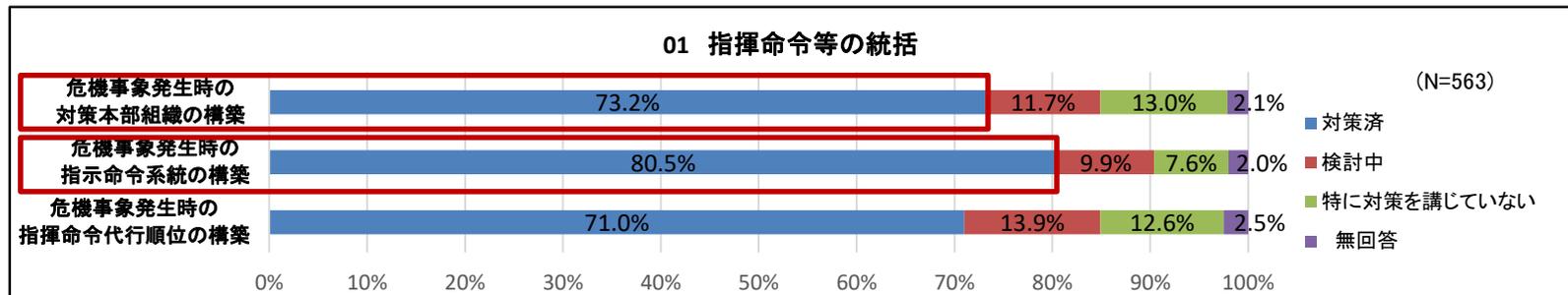
Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

4-(1) 貴社の下記の災害・事故・感染症等への対策事項(※)はどのレベルに該当しますか？(○はそれぞれ1つ)

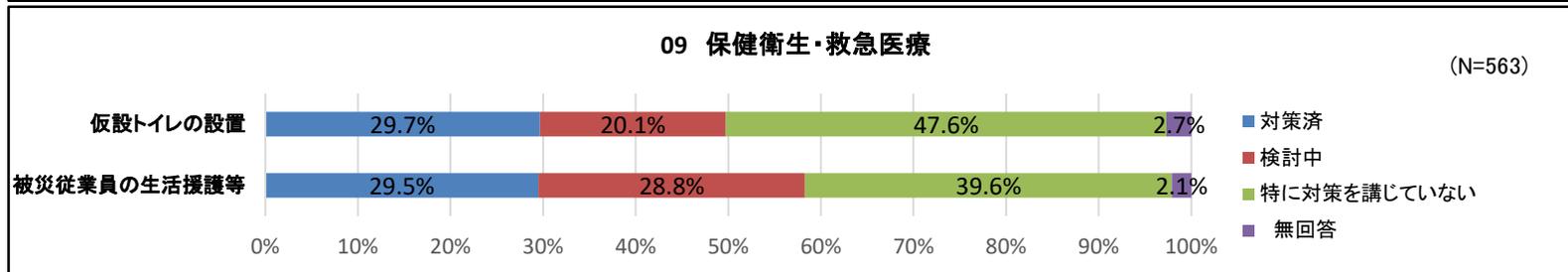
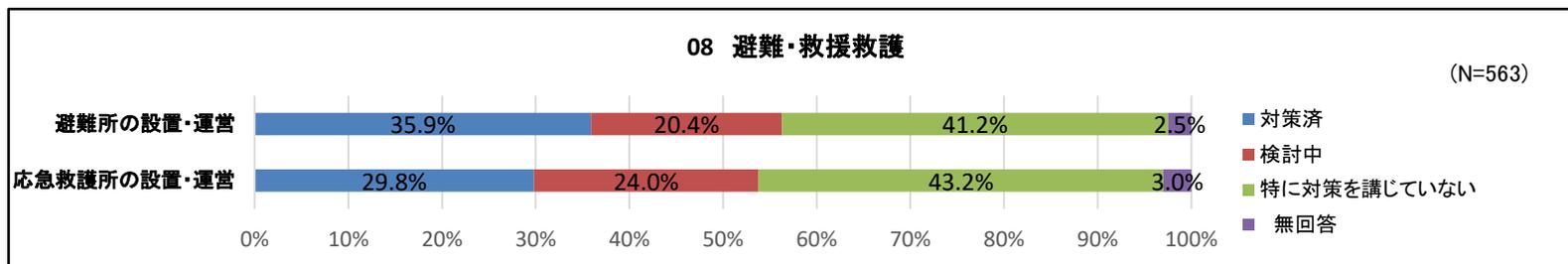
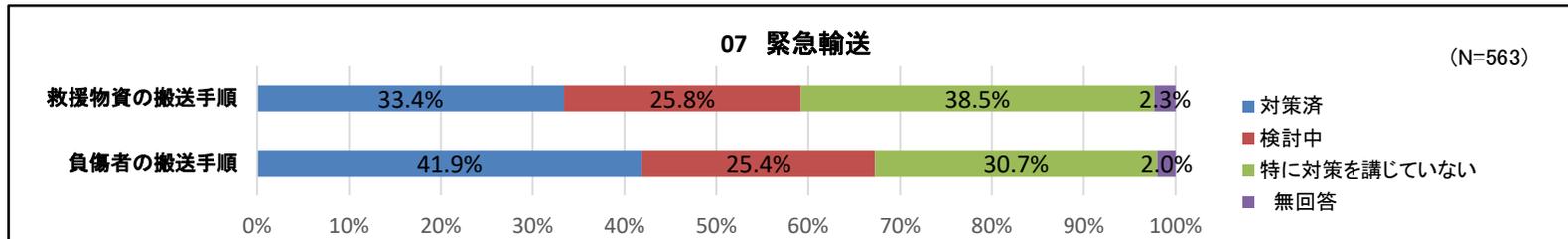
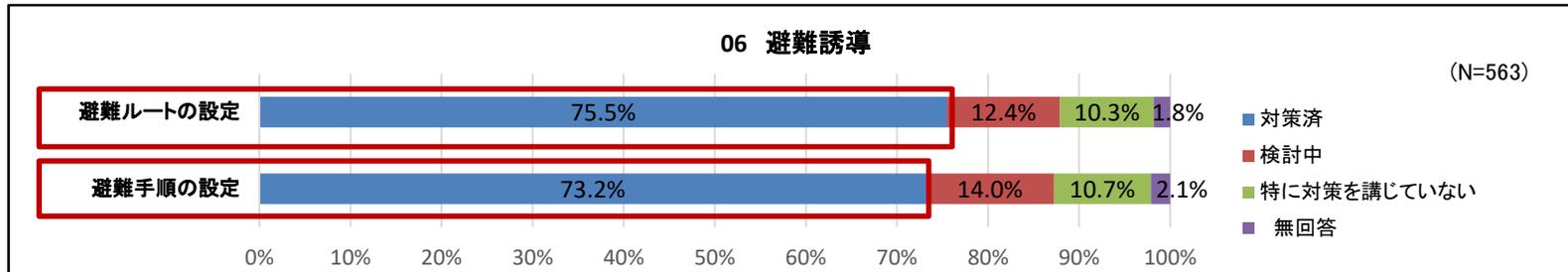
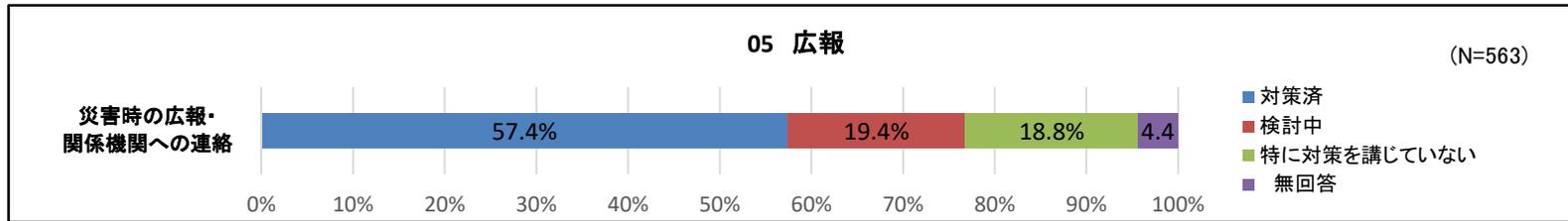
※ 対策事項の出典:みやぎ企業BCP策定ガイドライン【緊急時に企業が備えるべき15の機能】



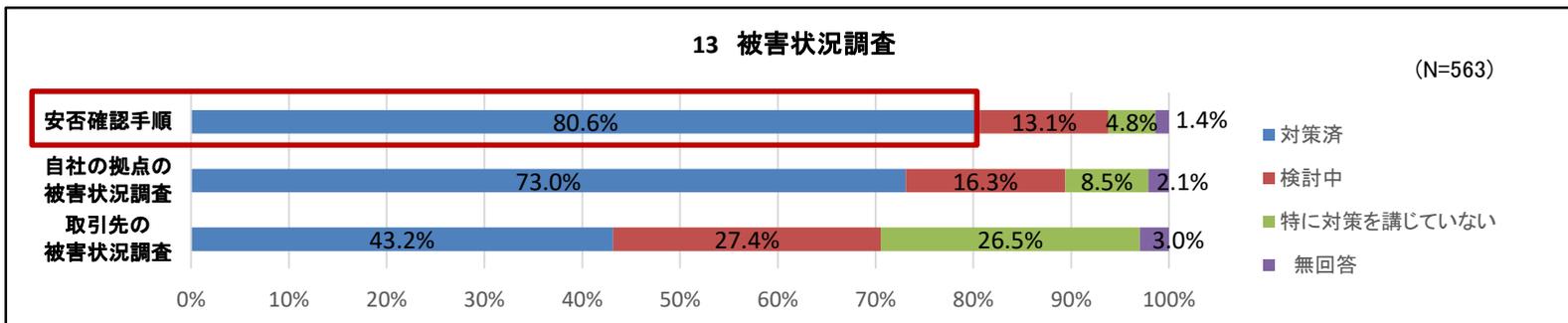
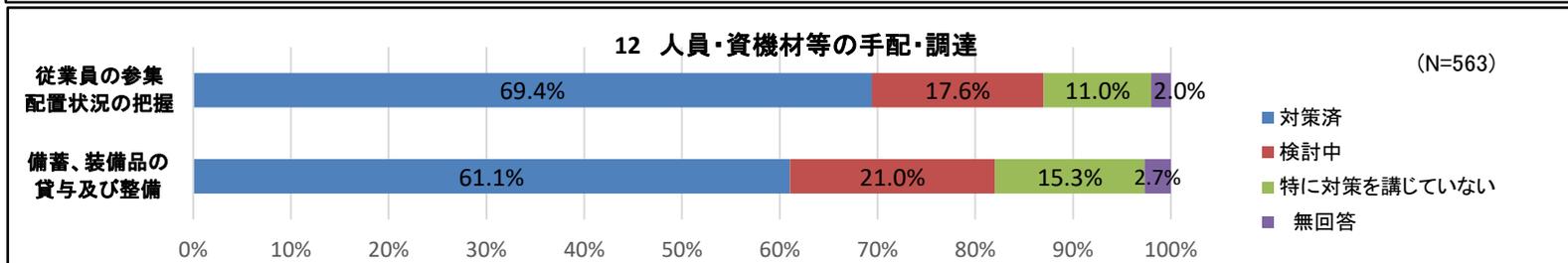
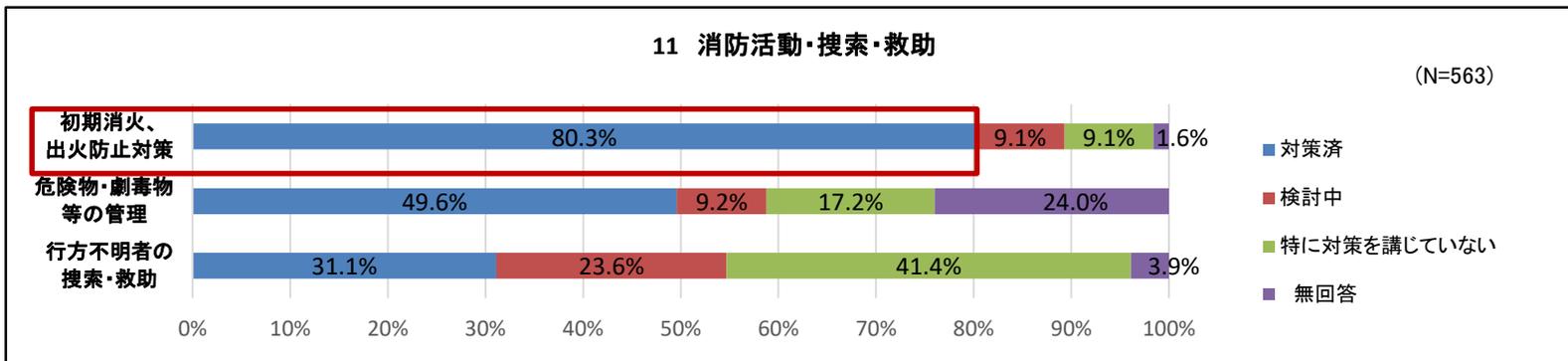
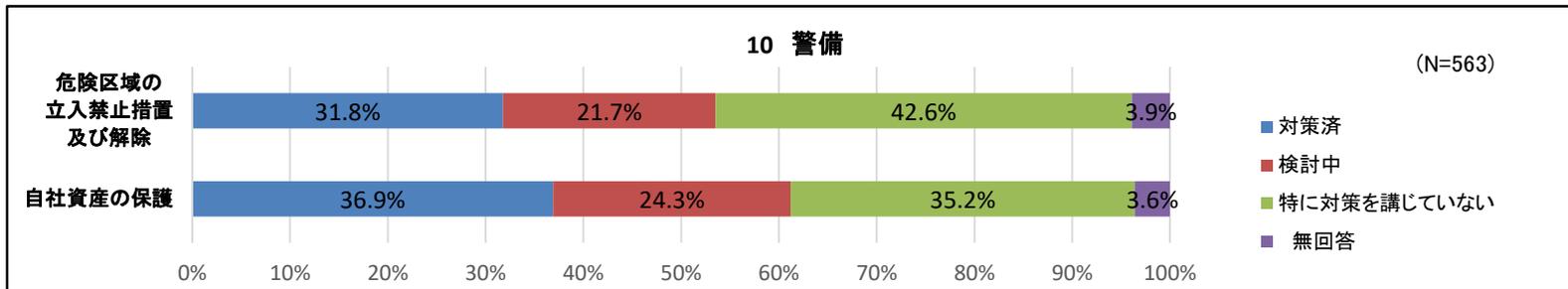
:みやぎモデル1に含まれる事項



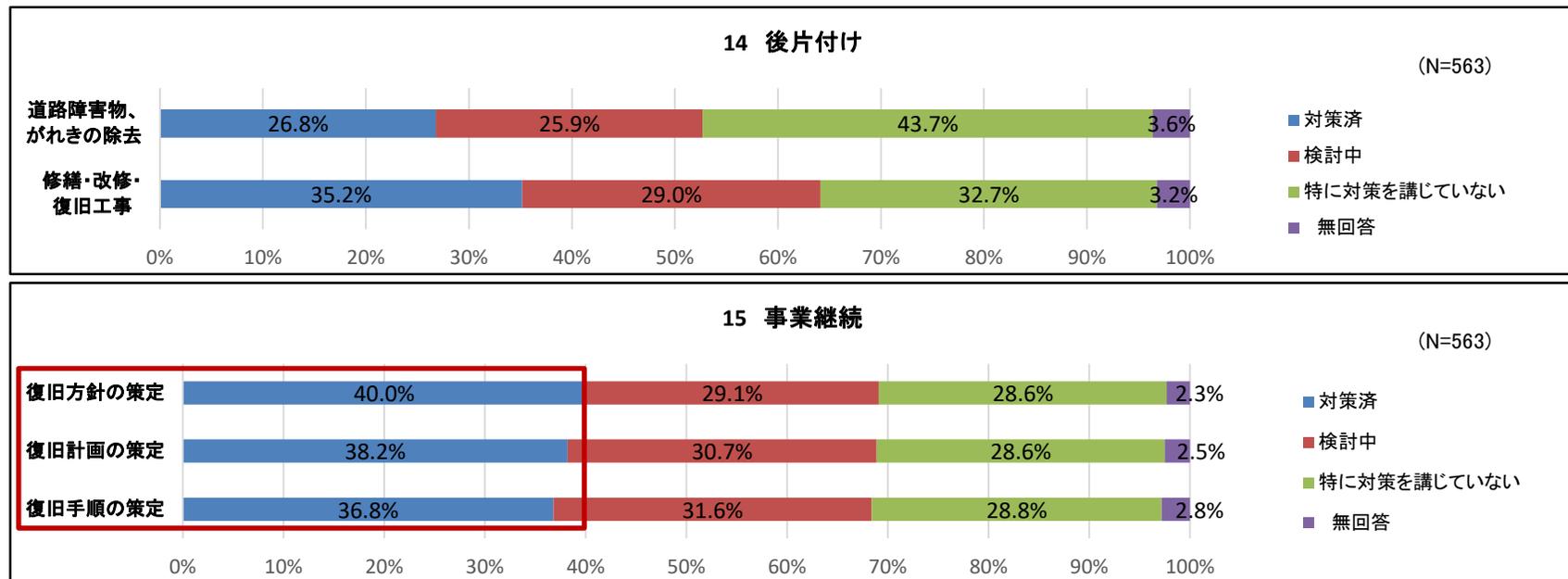
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(その2)



4) BCPについて: ⑪対策事項のレベル(その3)



4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(その4)



【「対策済」と回答した企業が多かった対策事項(上位5項目)】

▽「13 被害状況調査／安否確認手順」(80.6%)、「01 指揮命令系統の統括／指揮命令系統」(80.5%)、「11 消防活動・捜索・救助／初期消火、出火防止」(80.3%)、「06 避難誘導／避難ルートの設定」(75.5%)、「01 指揮命令系統の統括／対策本部組織」「06 避難誘導／避難手順」(いずれも73.2%)の順となった。

【「対策済」と回答した企業が少なかった対策事項(下位5項目)】

▽「14 後片付け／がれきの除去」(26.8%)、「09 保健衛生・救急医療／被災従業員の生活援護等」(29.5%)、「09 保健衛生・救急医療／仮設トイレの設置」(29.7%)、「08 避難・救援救護／応急救護所の設置・運営」(29.8%)、「11 消防活動・捜索・救助／行方不明者の捜索・救助」(31.1%)の順となった。

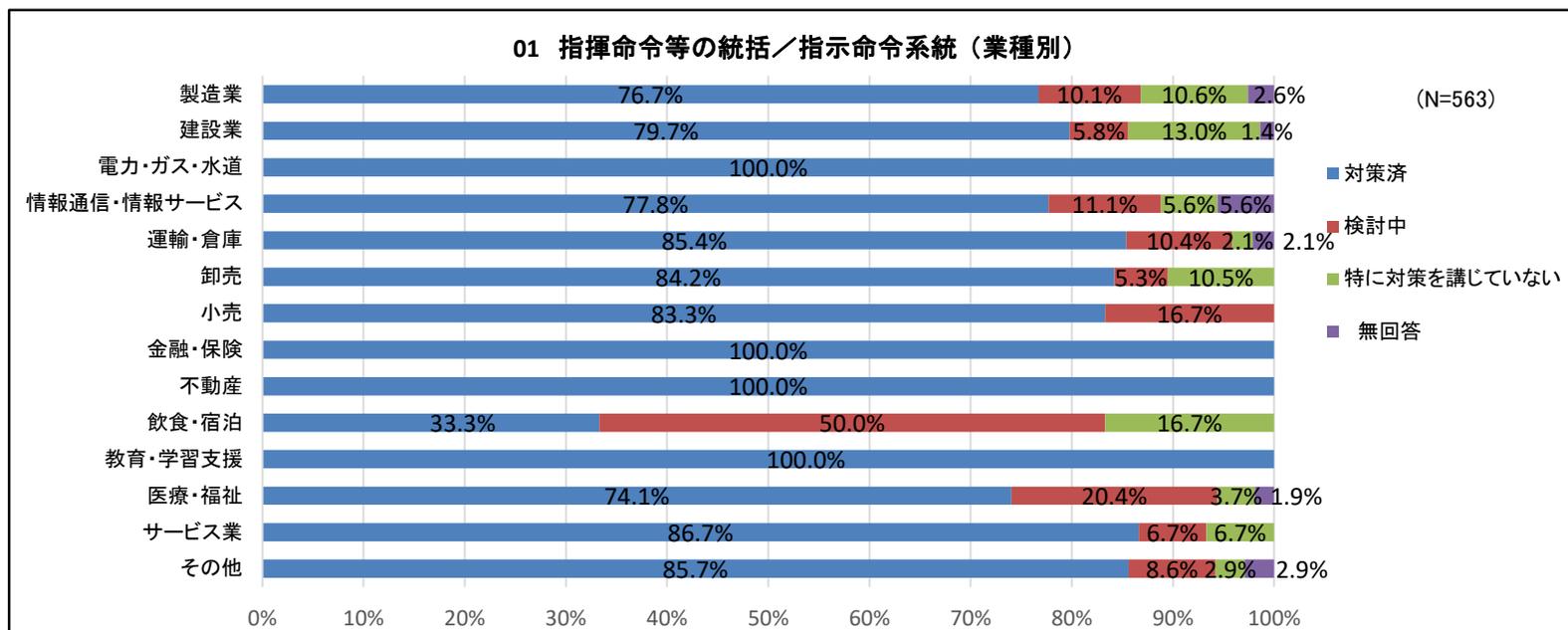
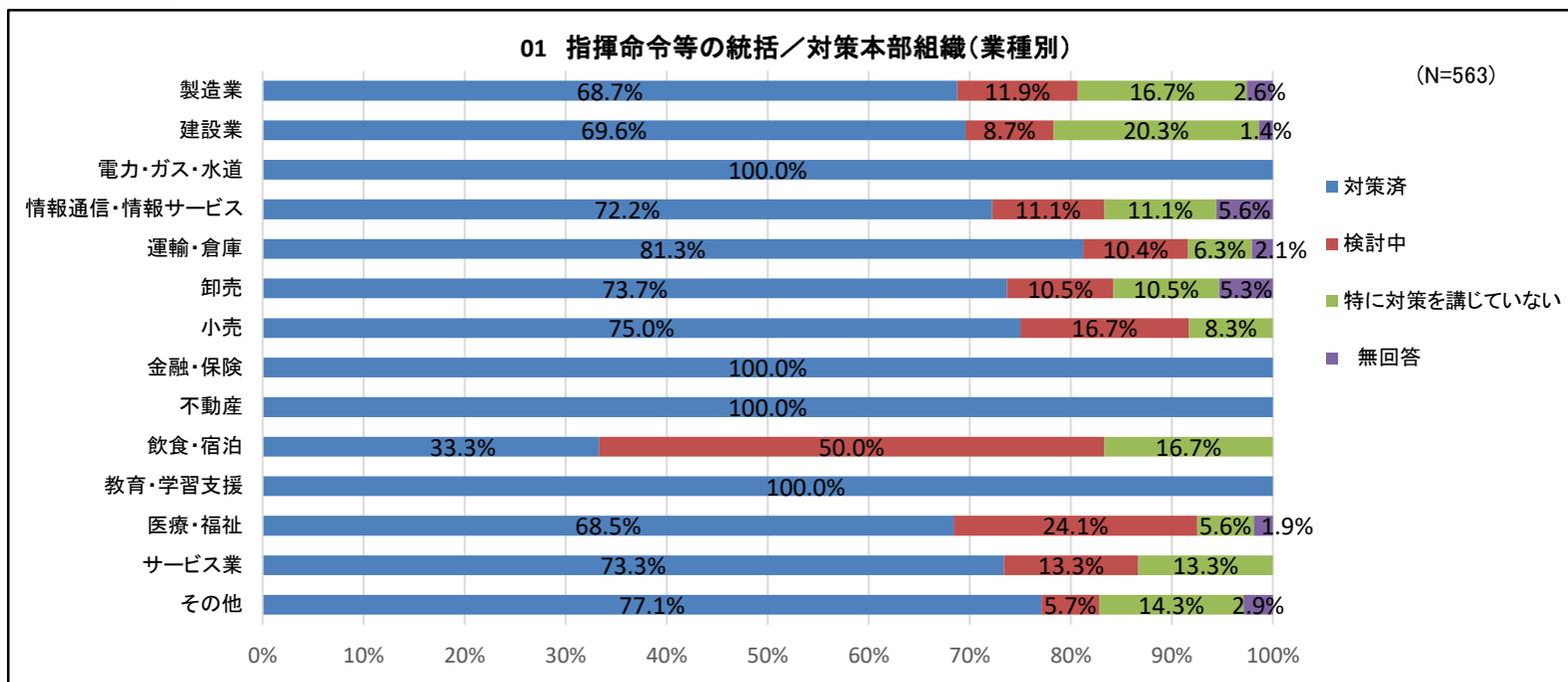
【「15 事業継続」について】

▽「15 事業継続」の対策事項を実行している企業は、「復旧方針」(40.0%)、「復旧計画」(38.2%)、「復旧手順」(36.8%)となり、いずれも4割程度であった。緊急時対応をベースに事業継続の機能をもつことが重要であるため、今後は、宮城県の「みやぎ企業BCPガイドライン」のさらなる普及等を通じて、「15 事業継続」の対策事項に取り組む企業を増やすことが望まれる。

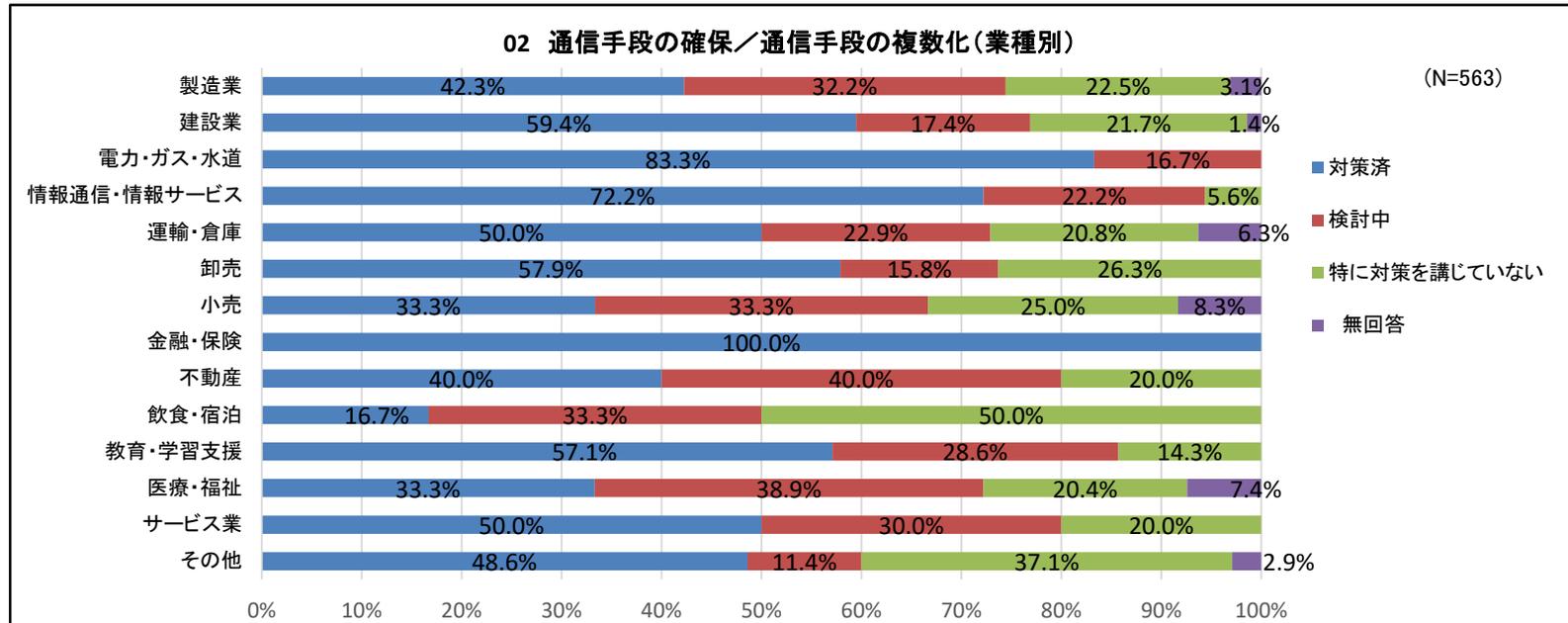
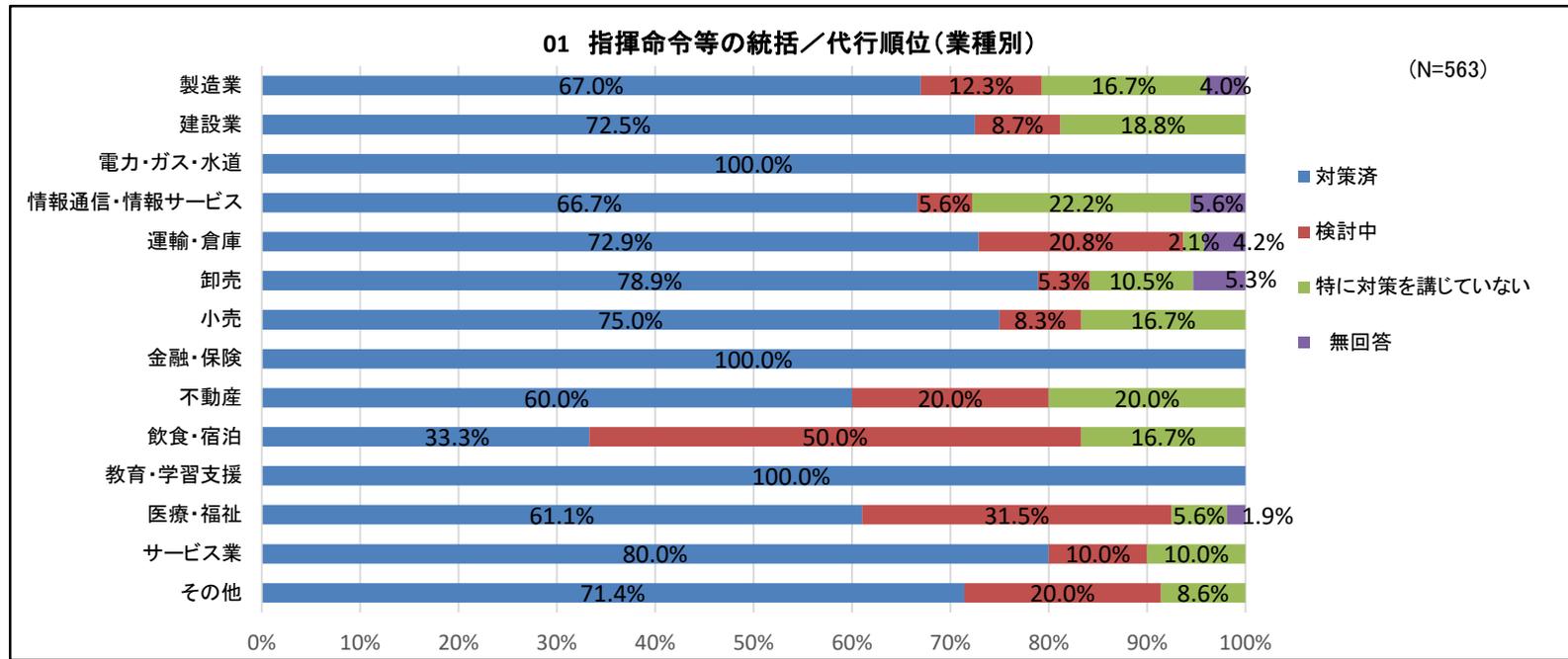
【業種別の状況】

▽業種別にみると、概ね「金融・保険業」「教育・学習支援業」「電力・ガス・水道業」の企業が、調査対象の対策事項を「実行中」と回答している割合が多く、「飲食・宿泊業」、「小売業」「サービス業」で少なかった。

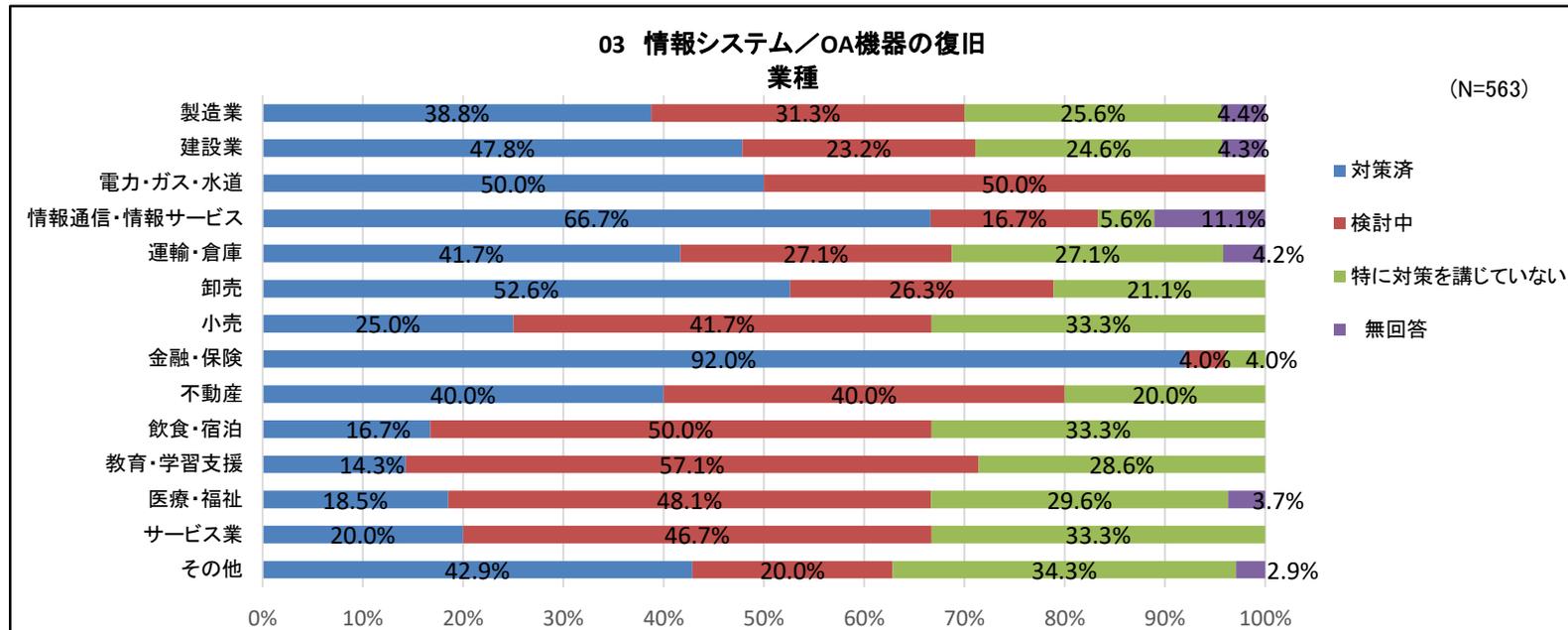
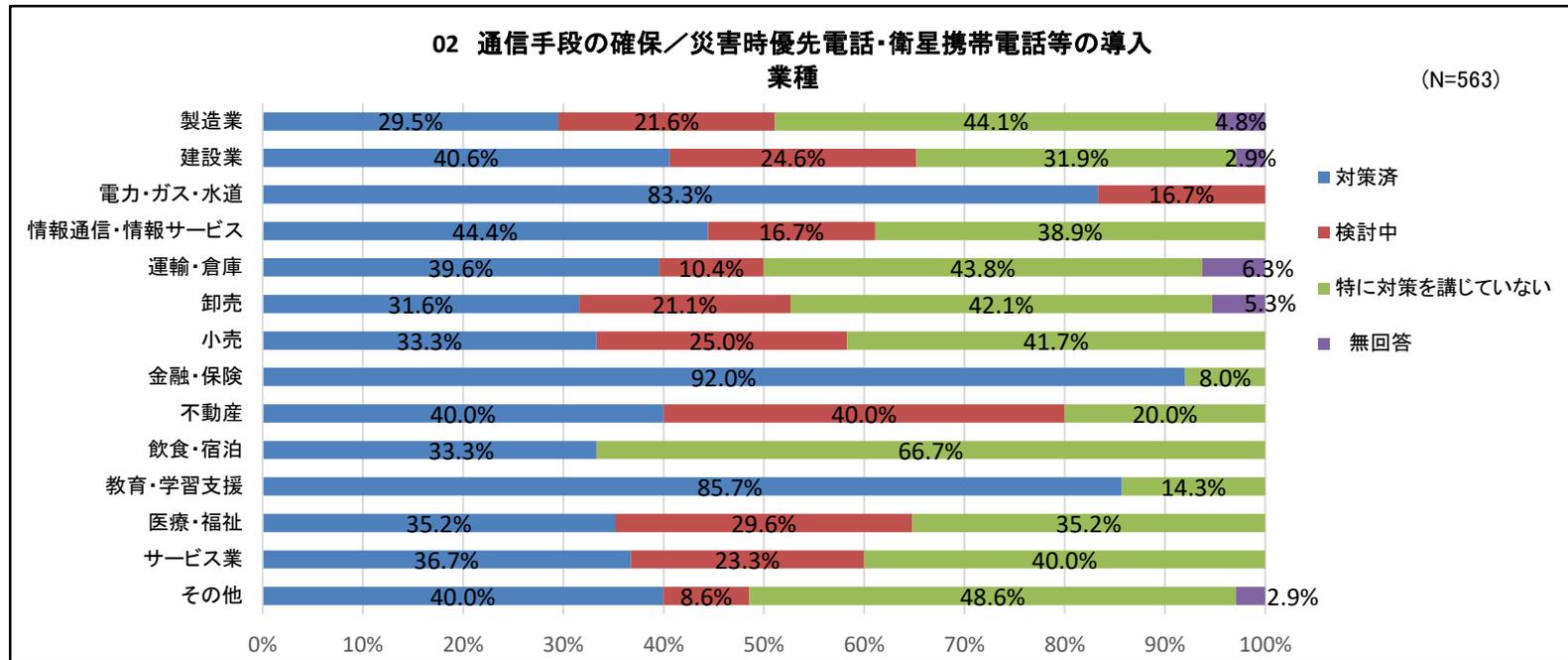
4) BCPについて: ⑪対策事項のレベル(参考:業種別)



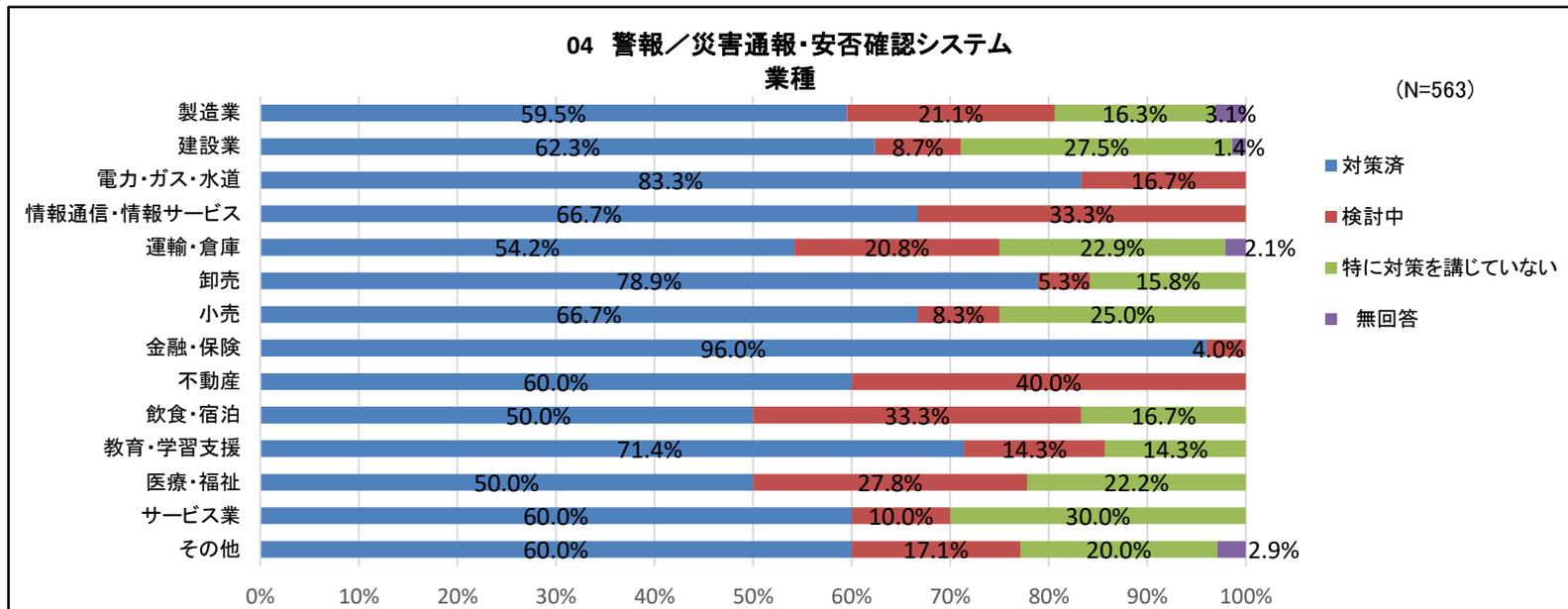
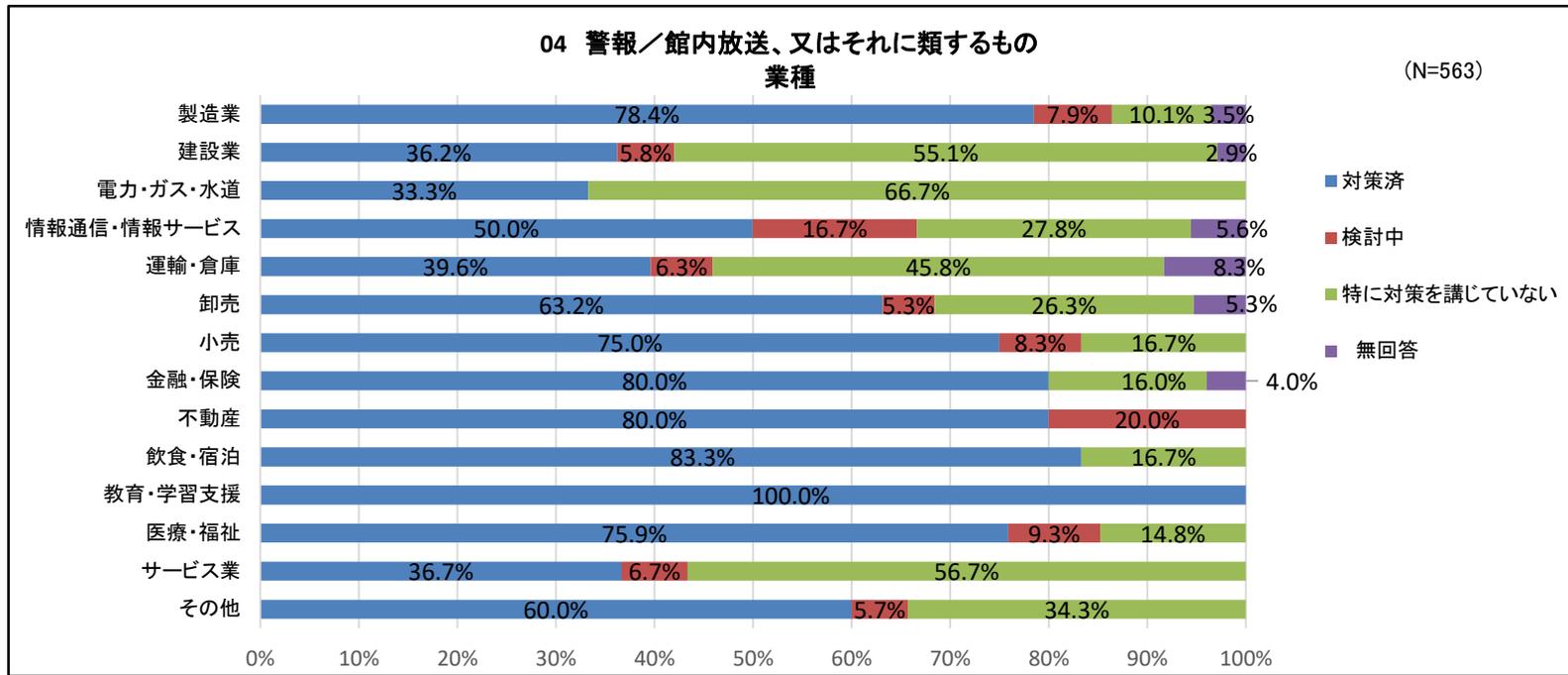
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



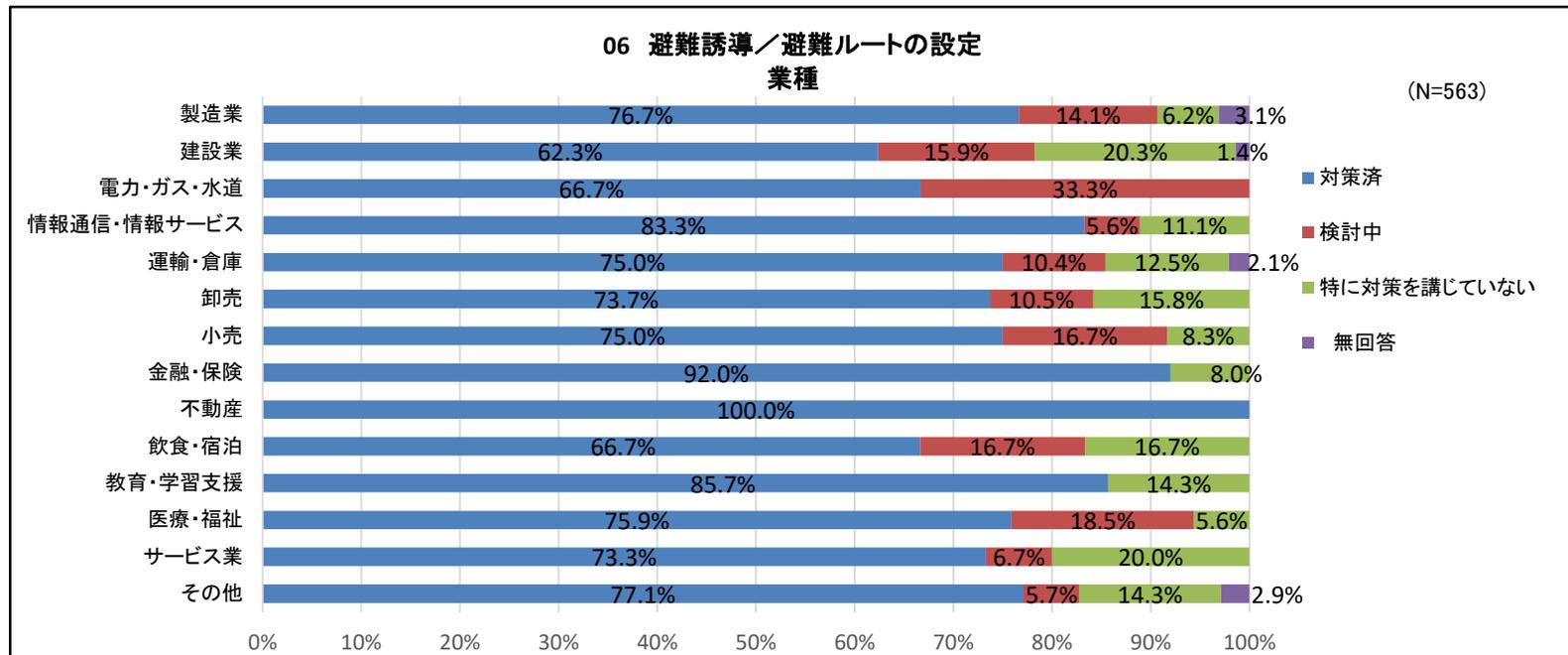
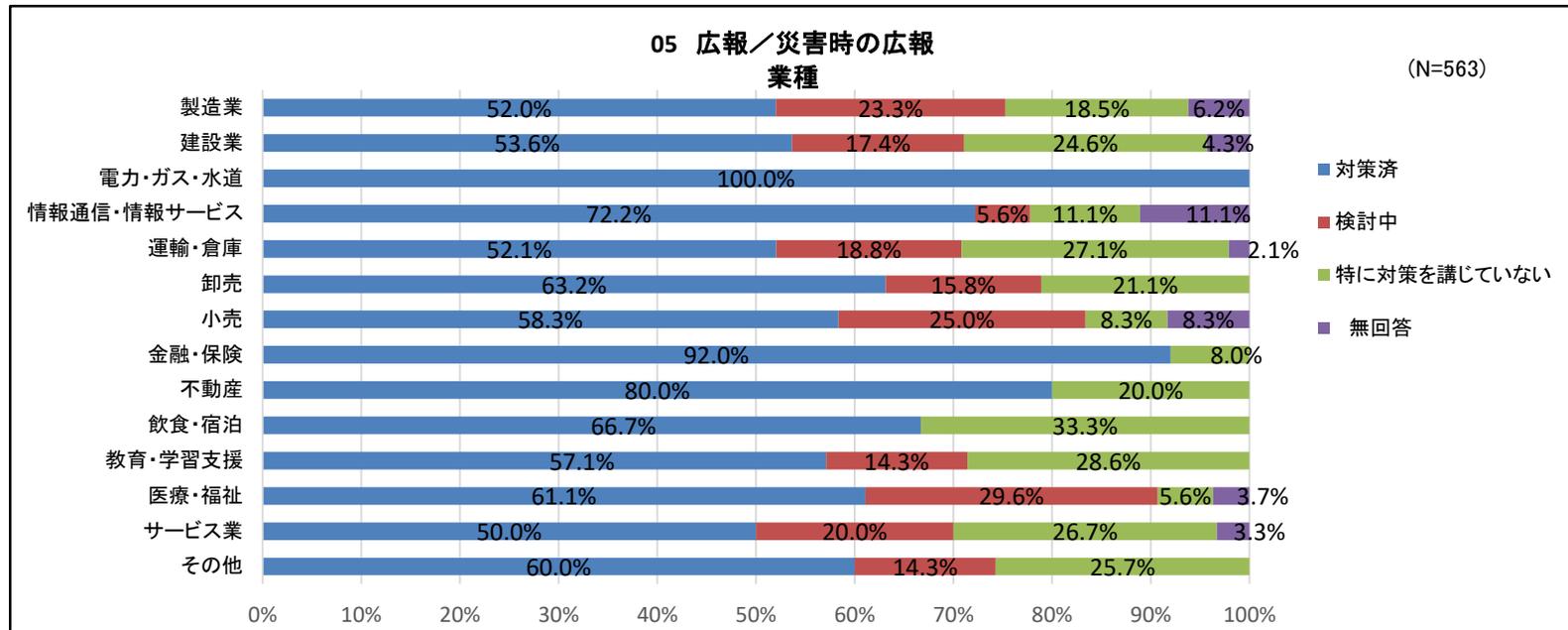
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



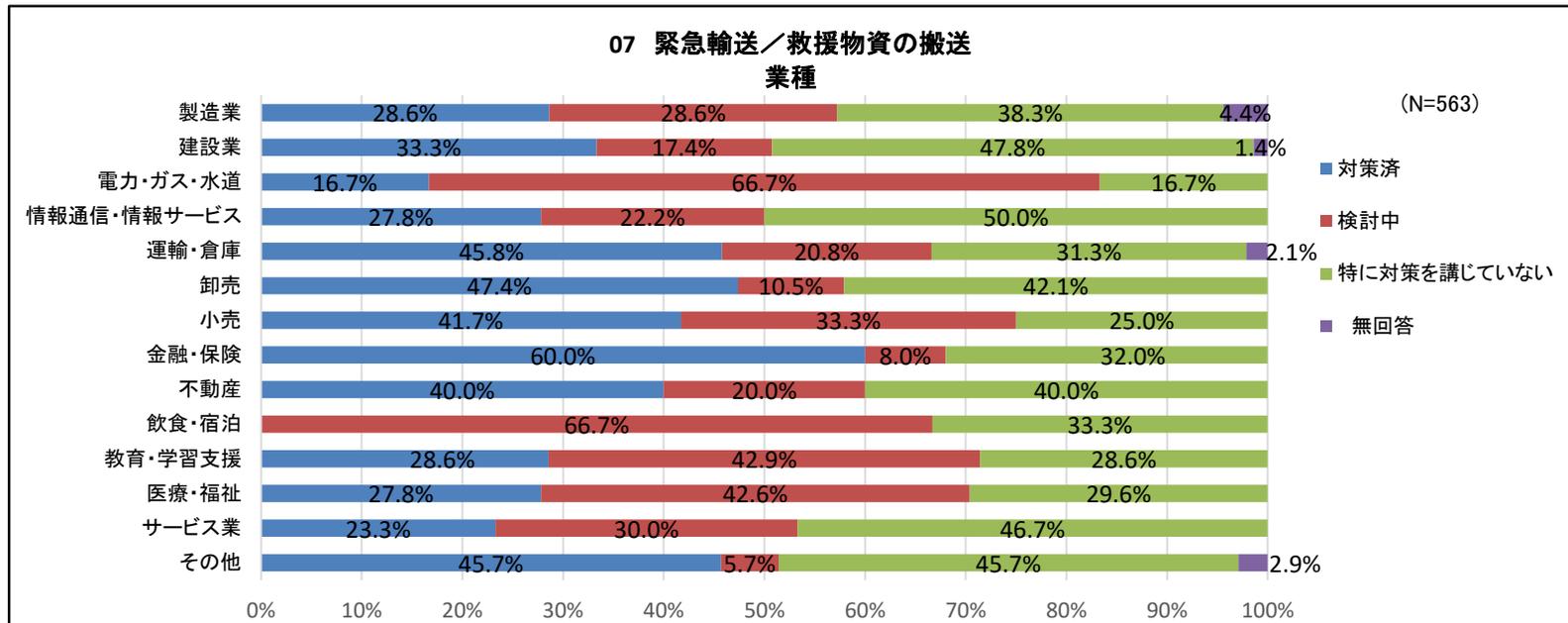
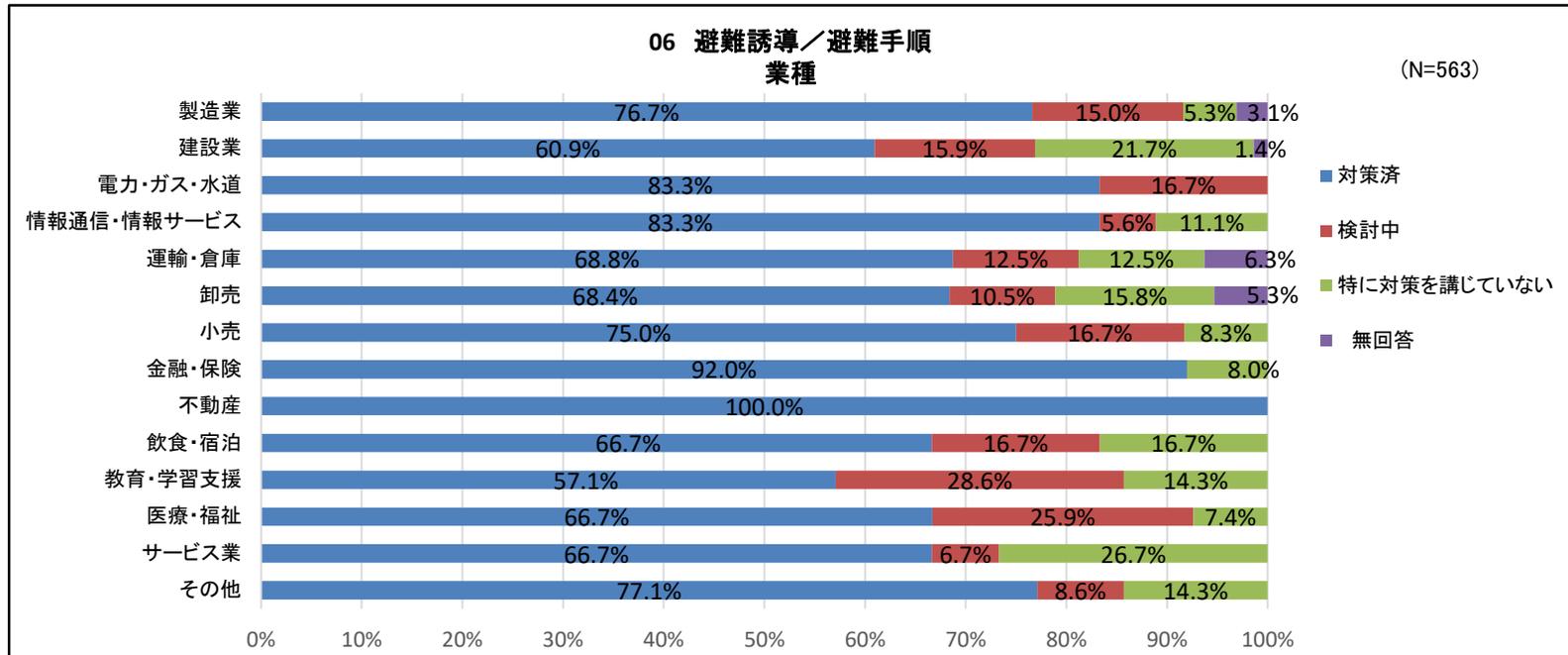
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



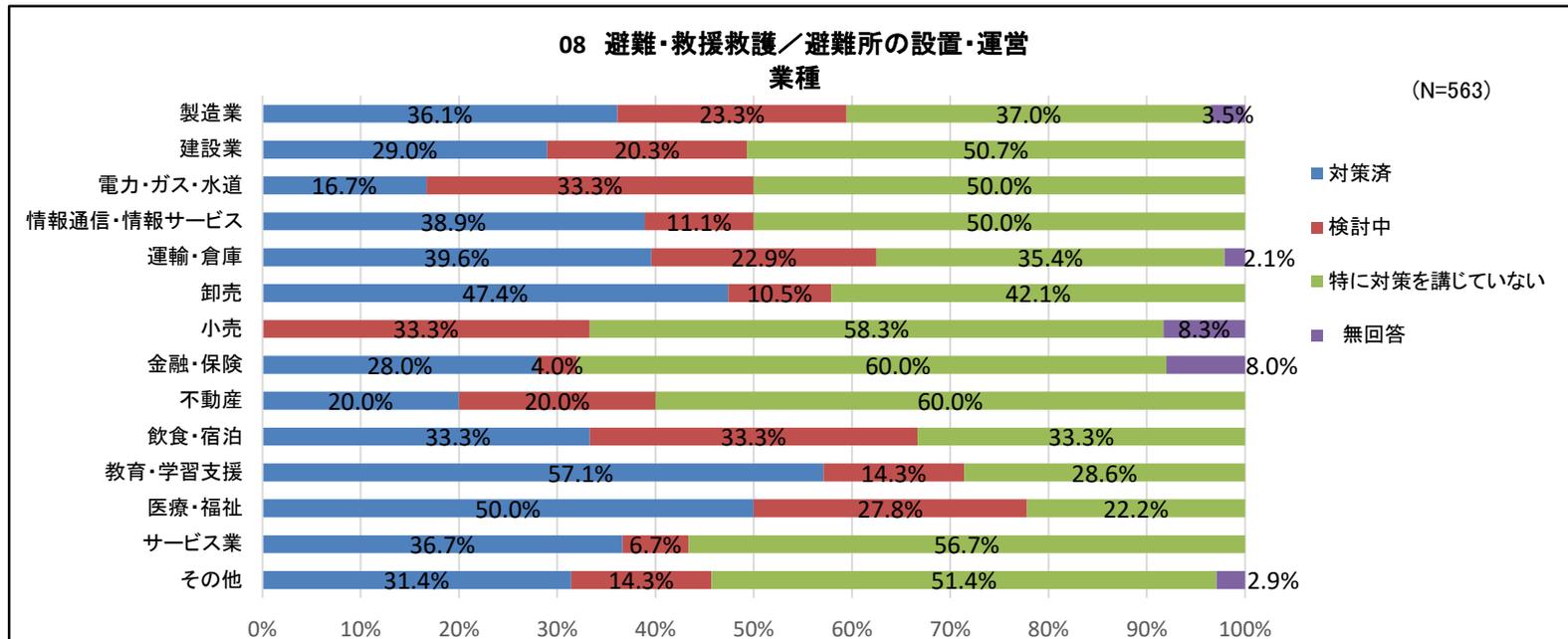
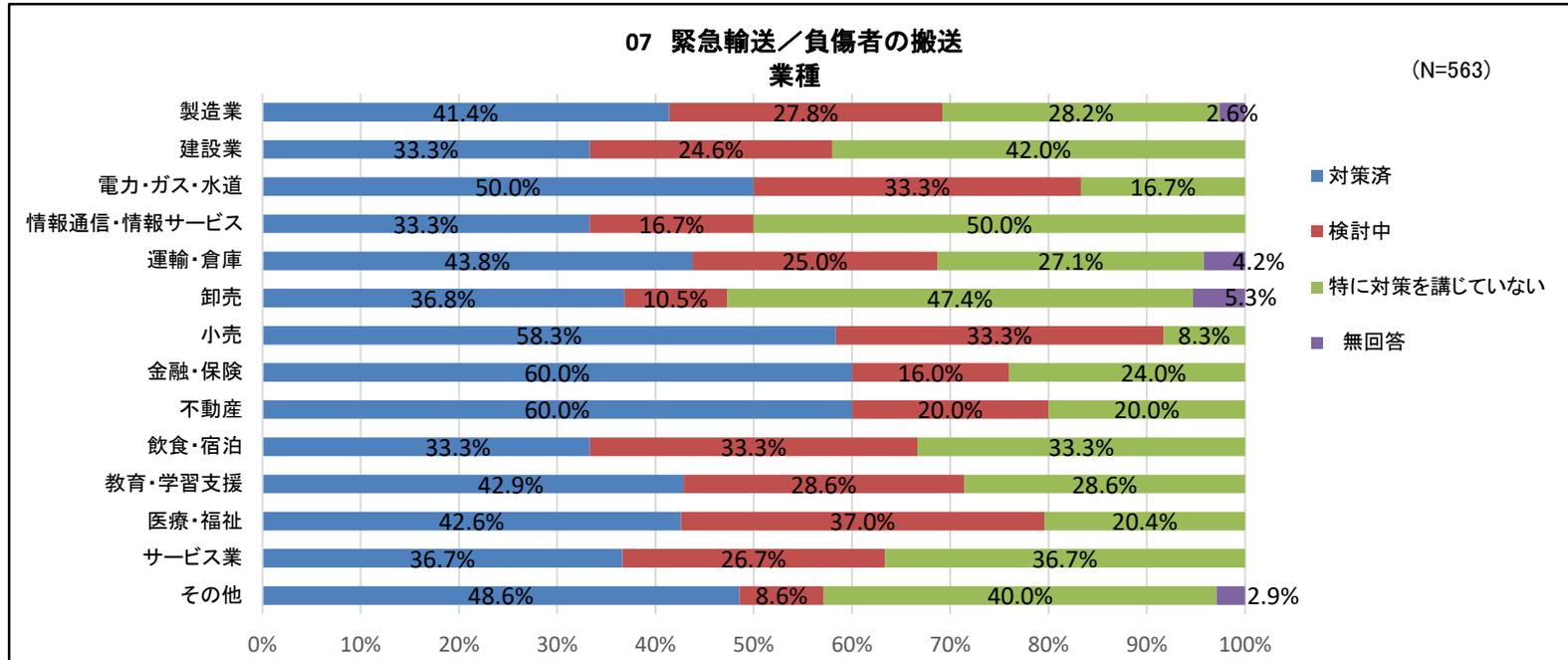
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



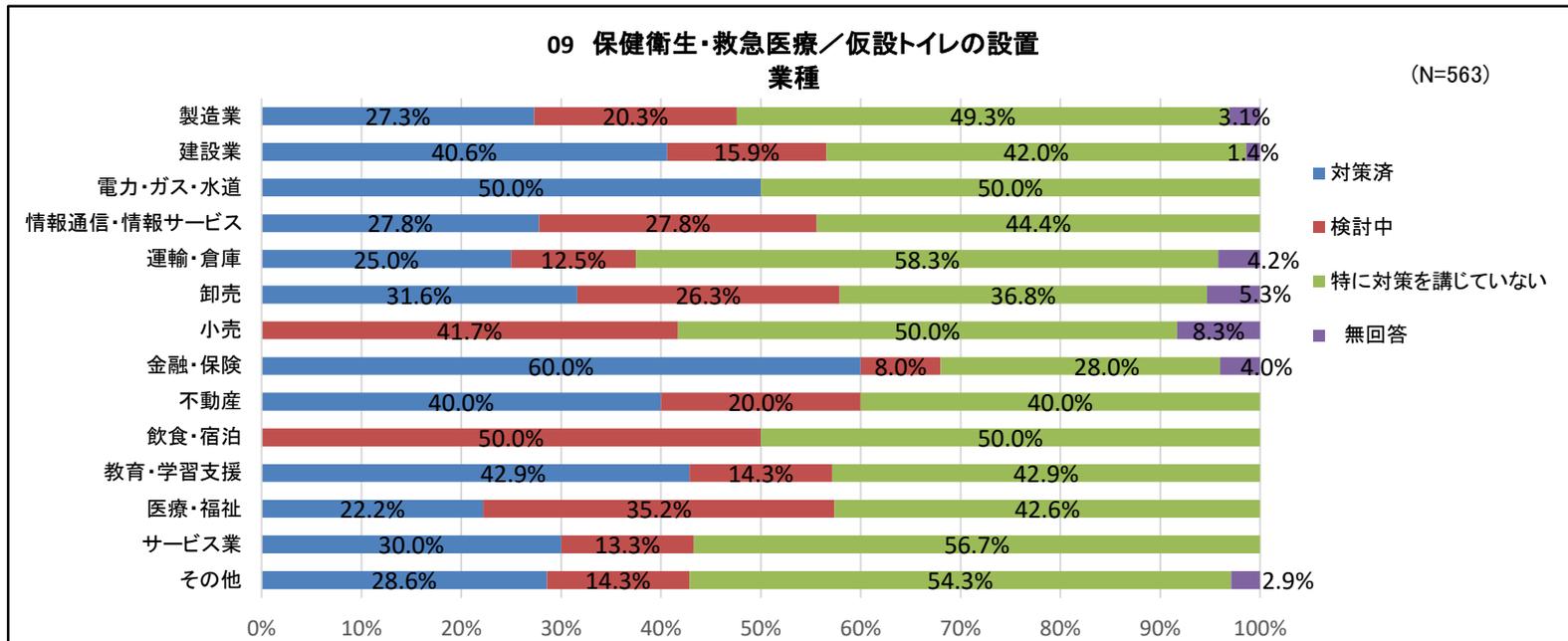
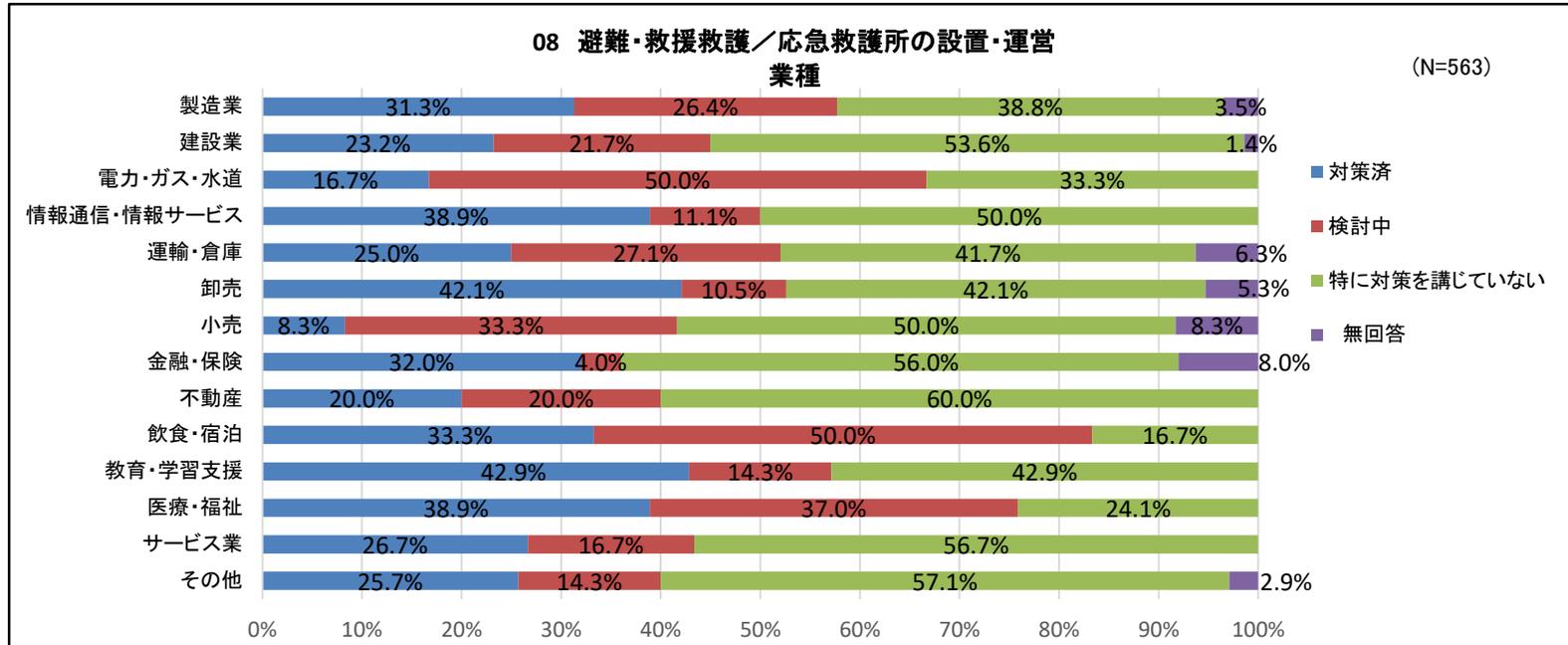
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



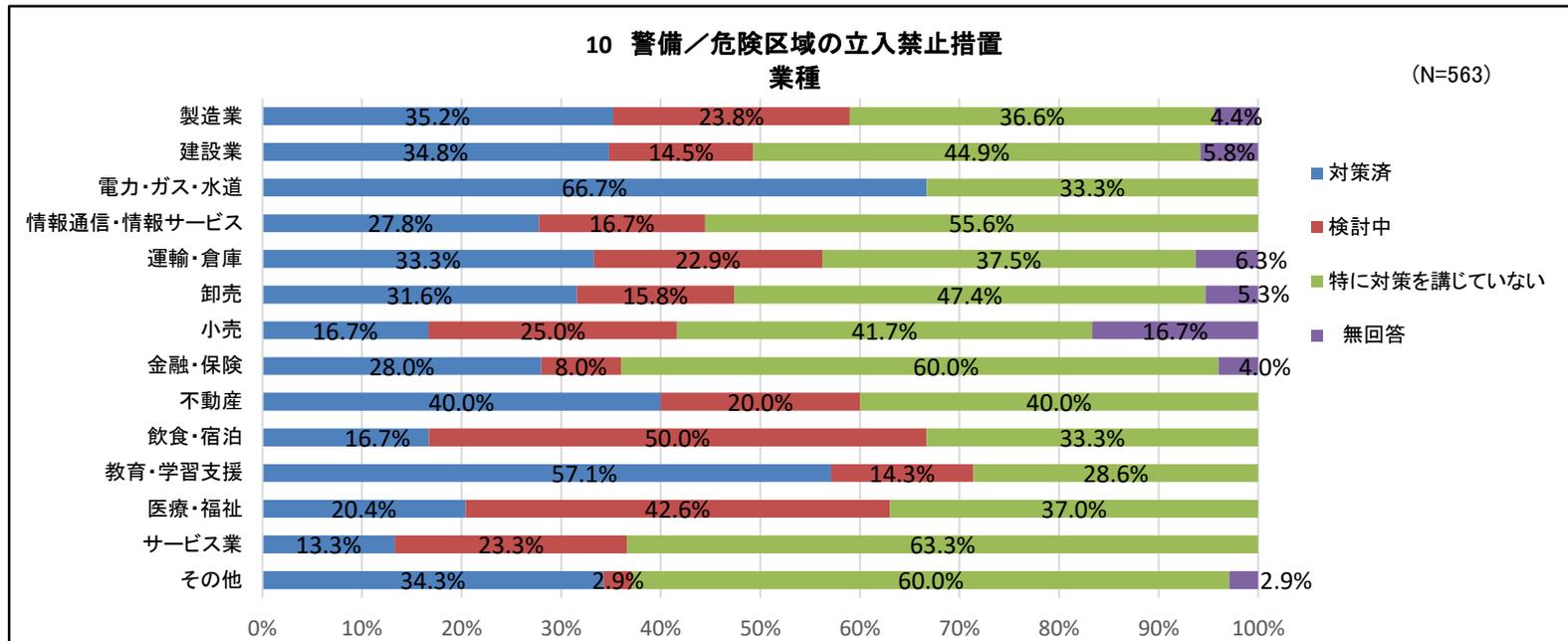
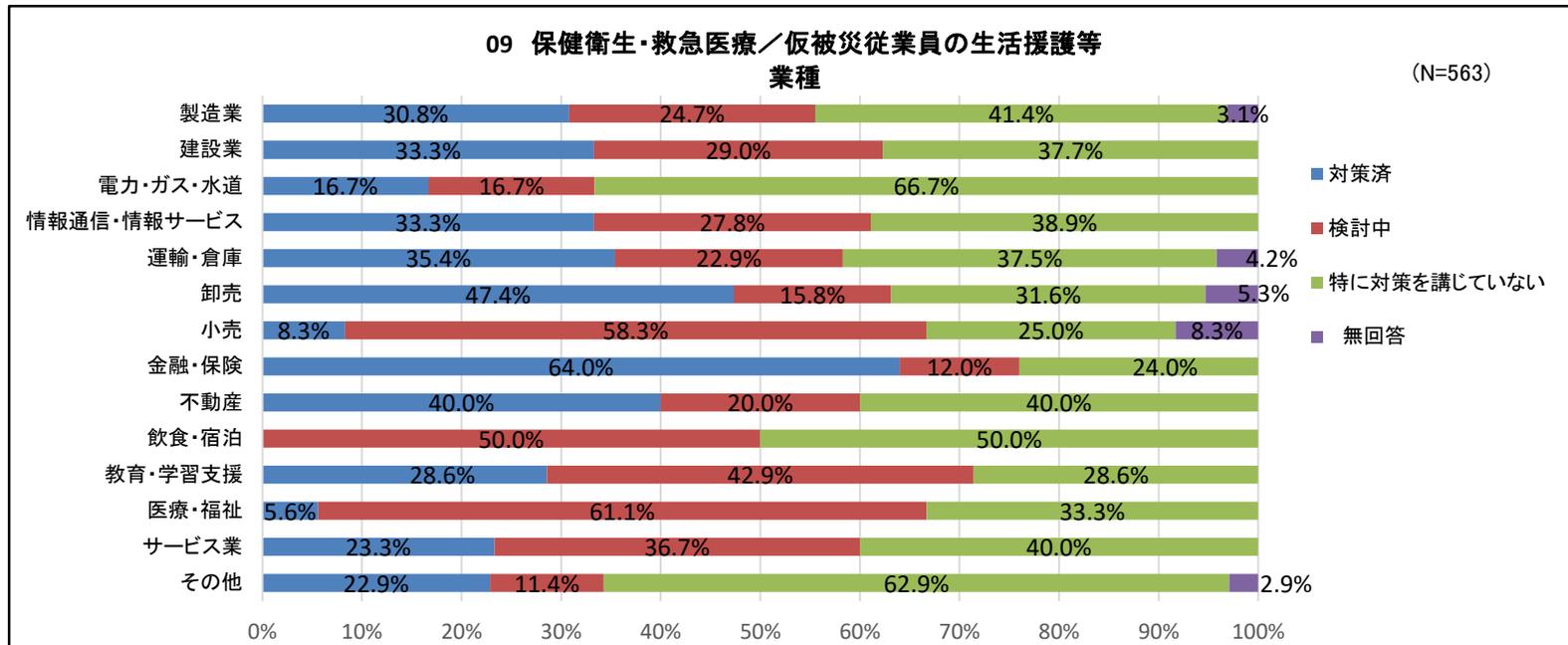
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



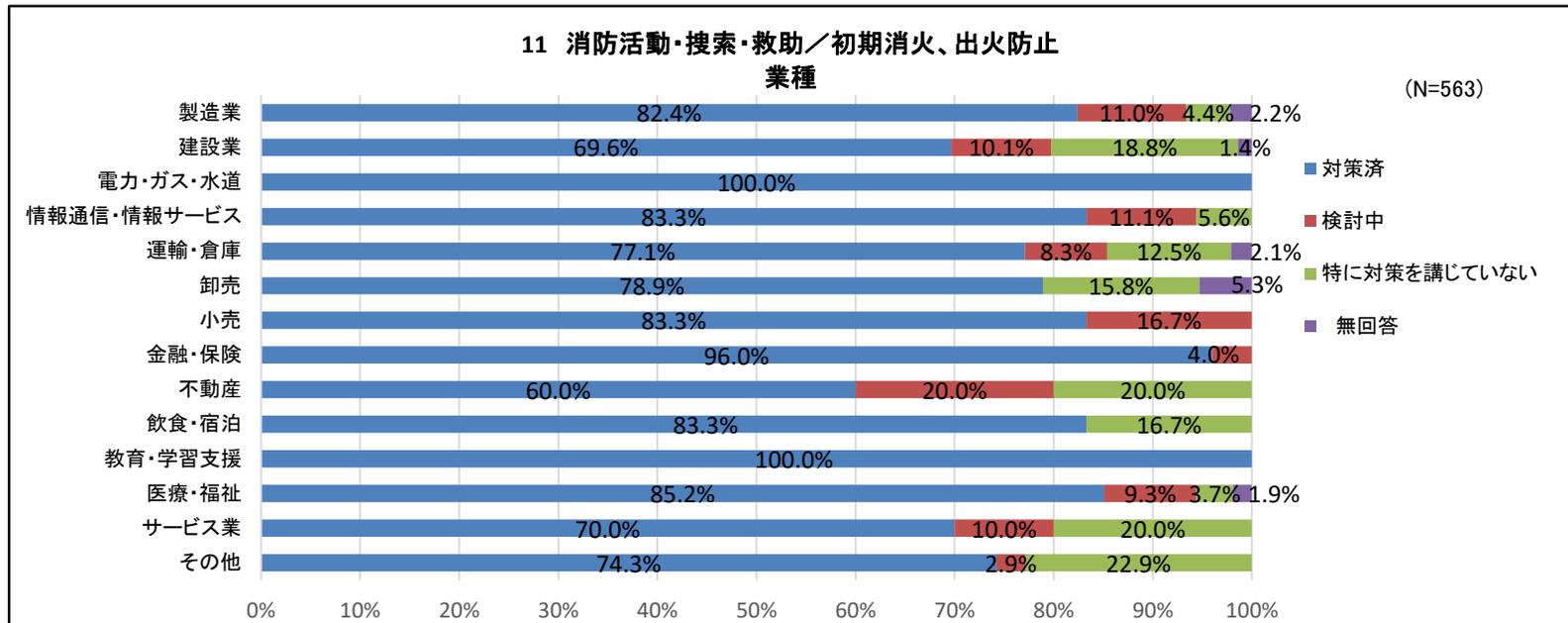
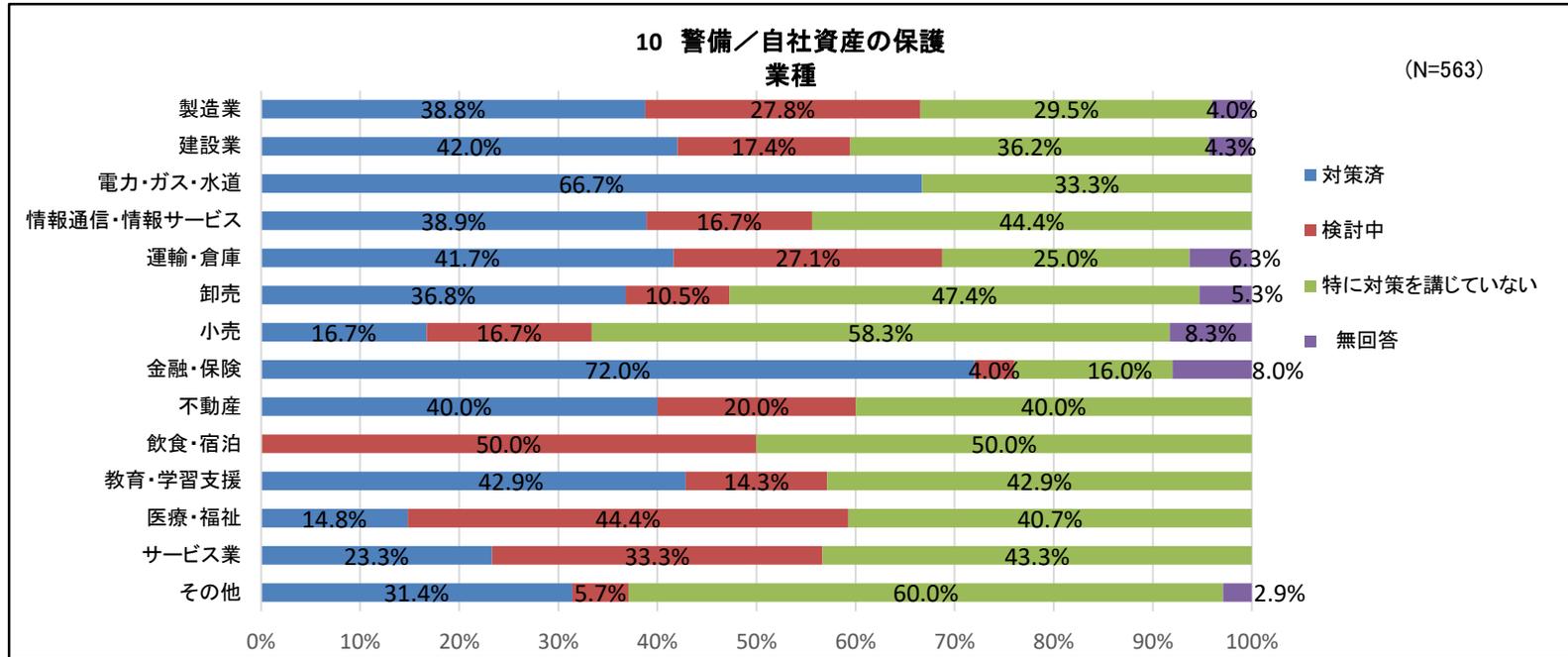
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



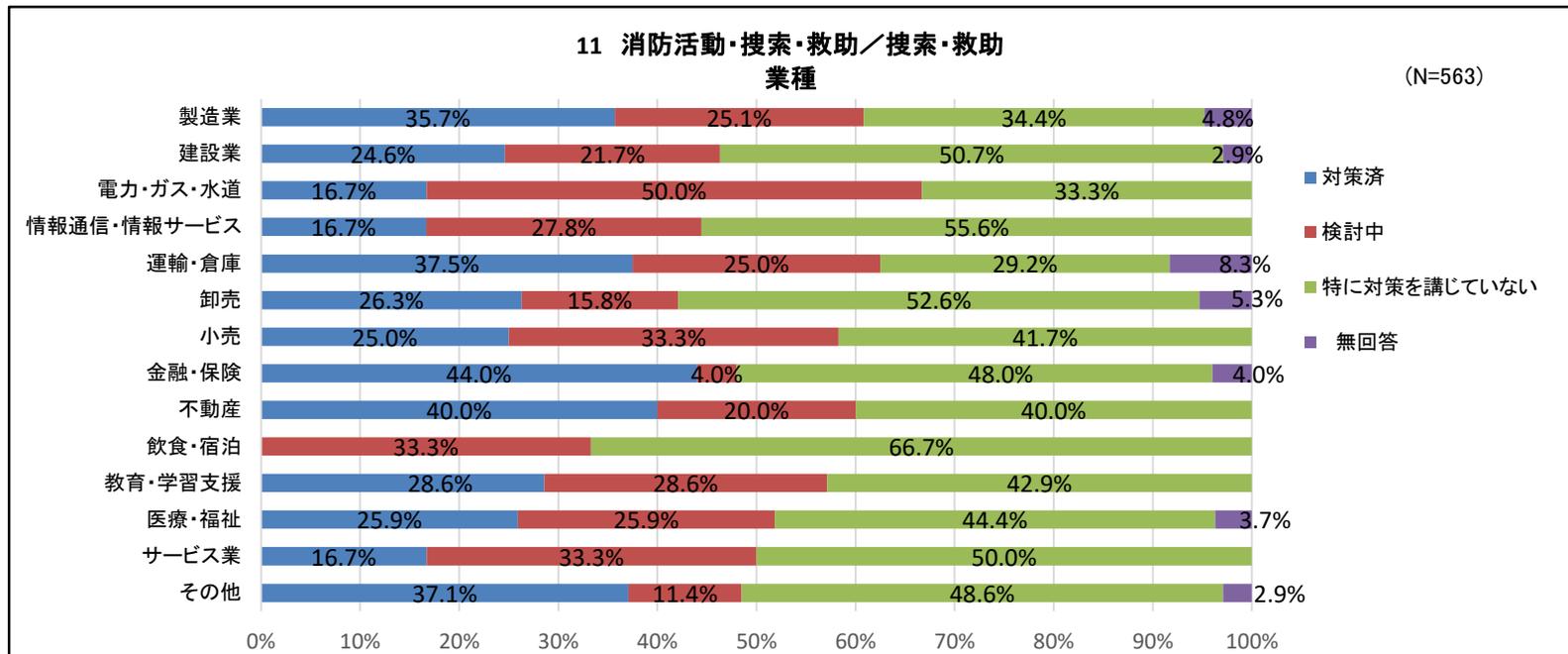
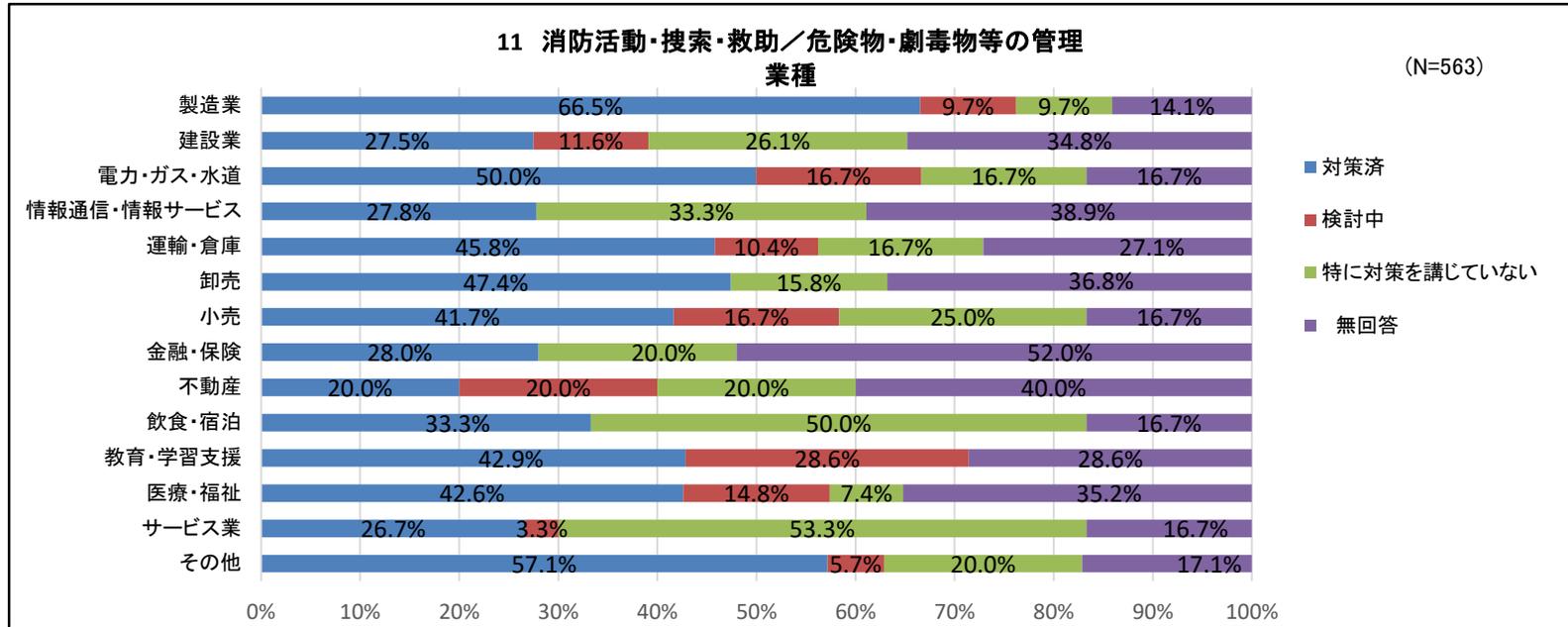
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



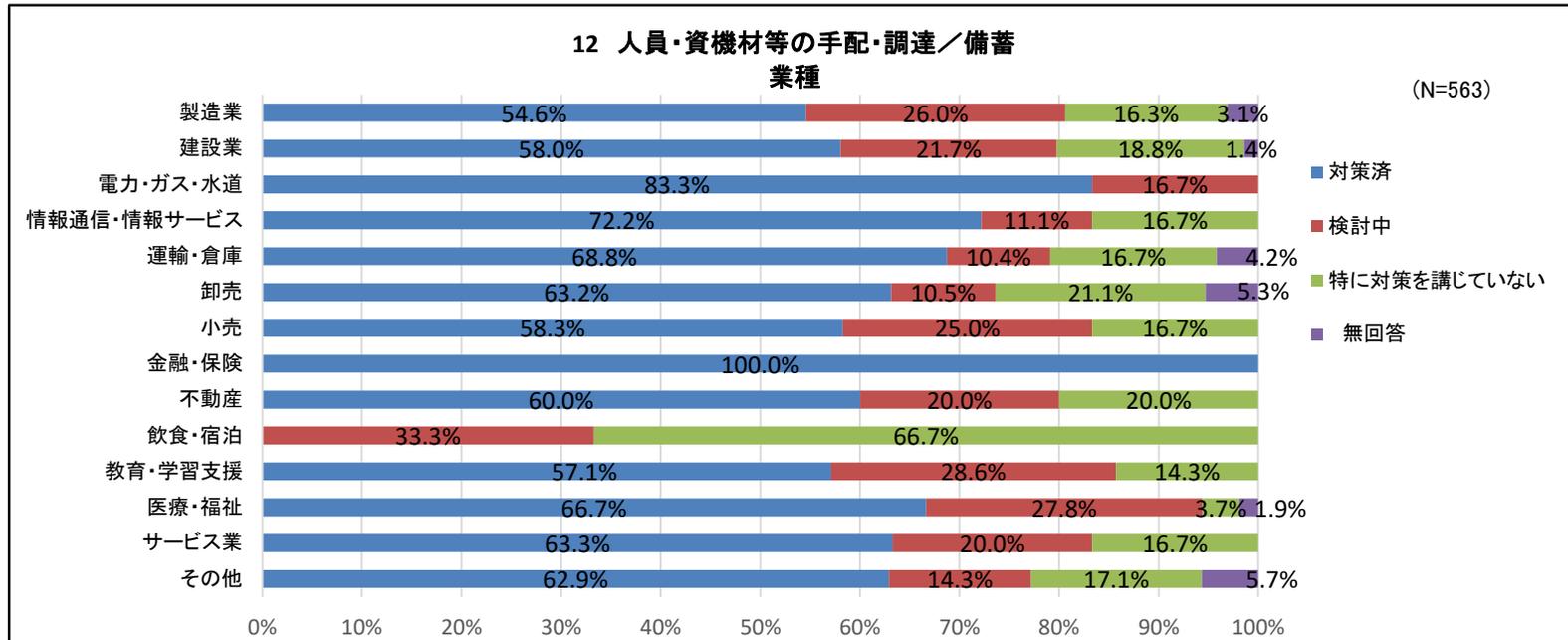
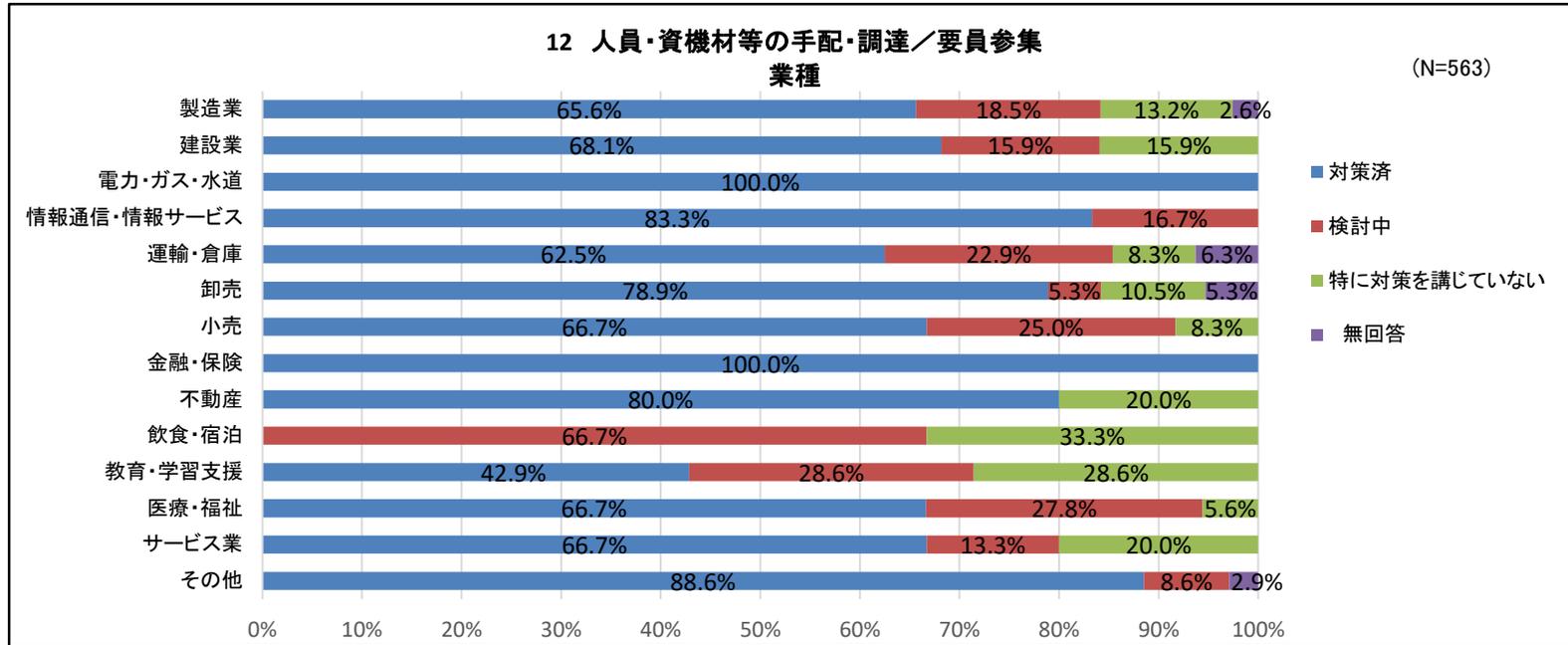
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



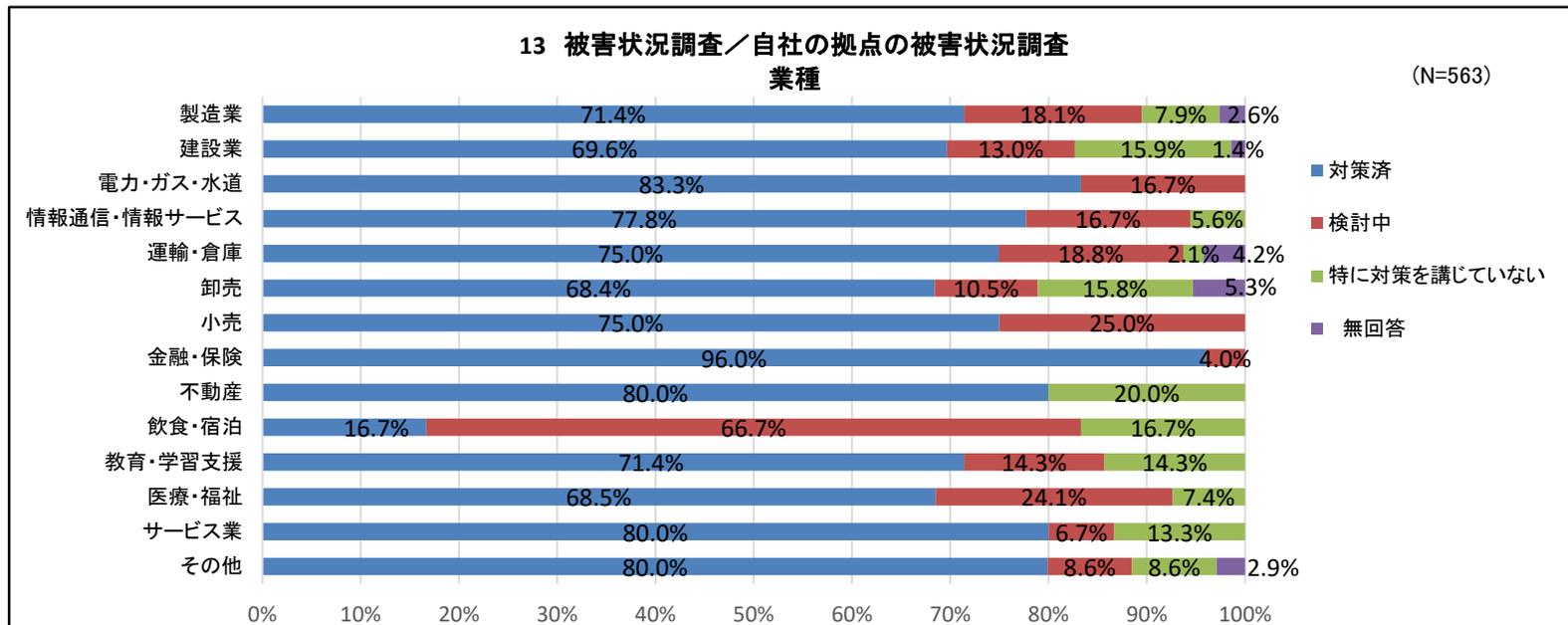
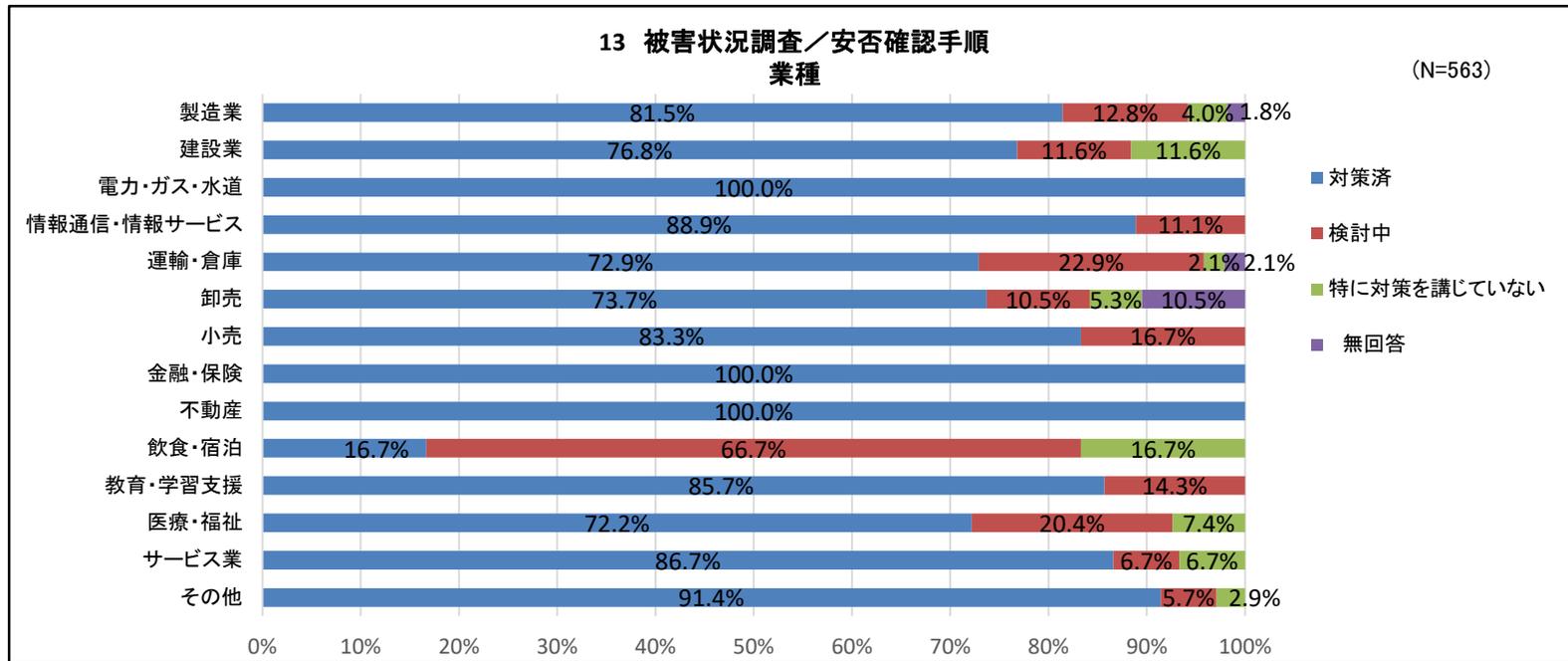
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



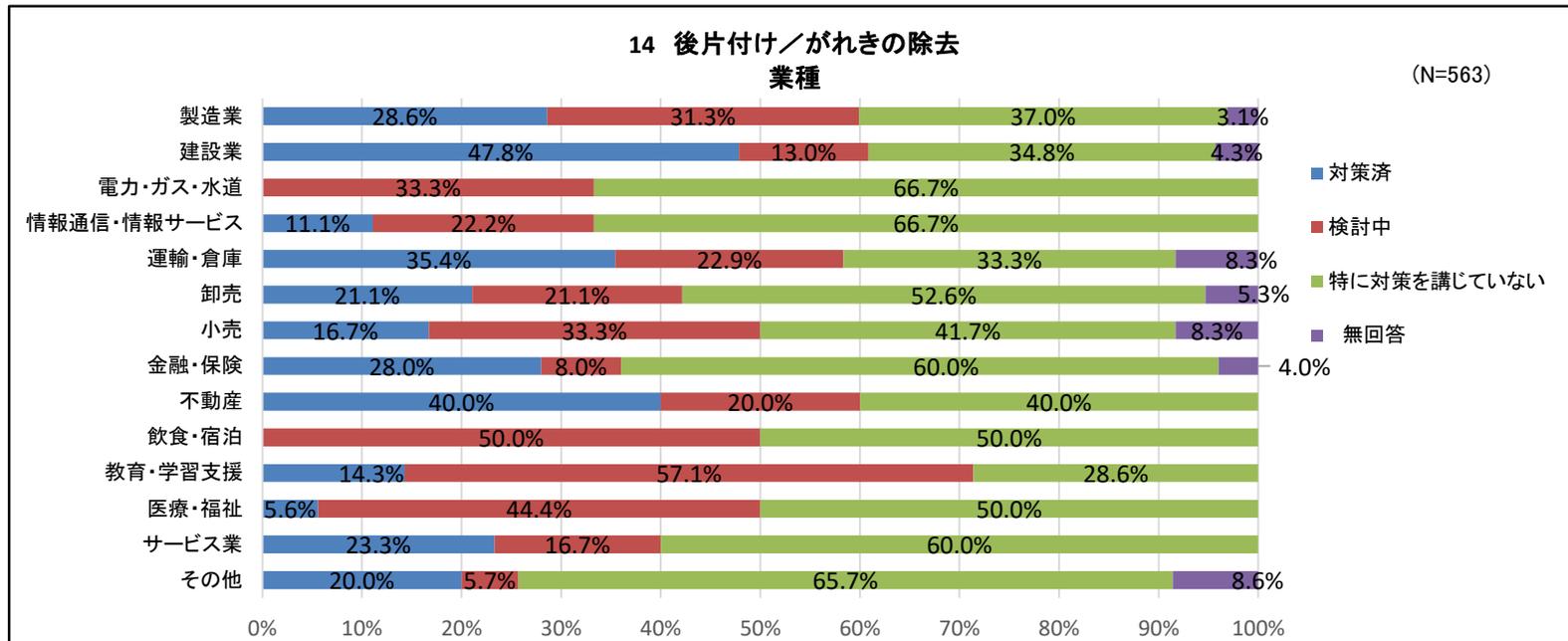
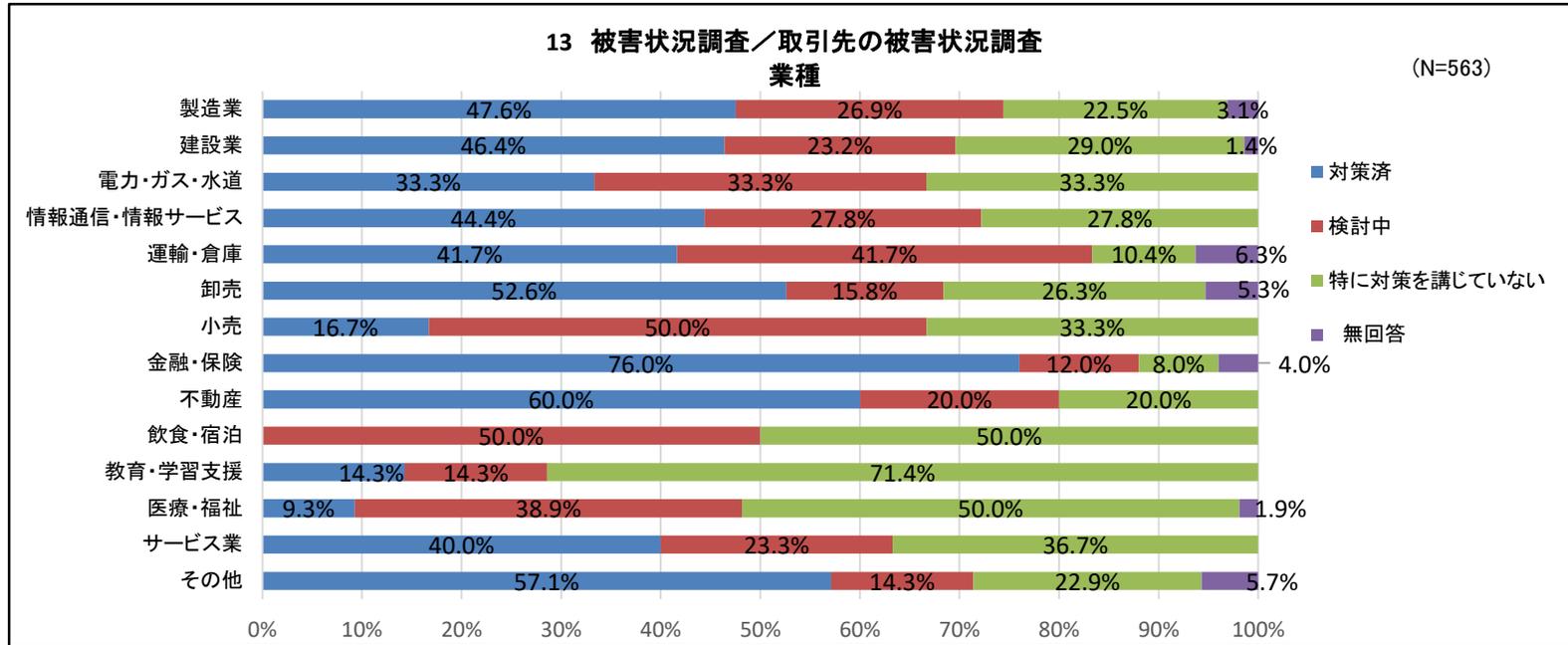
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



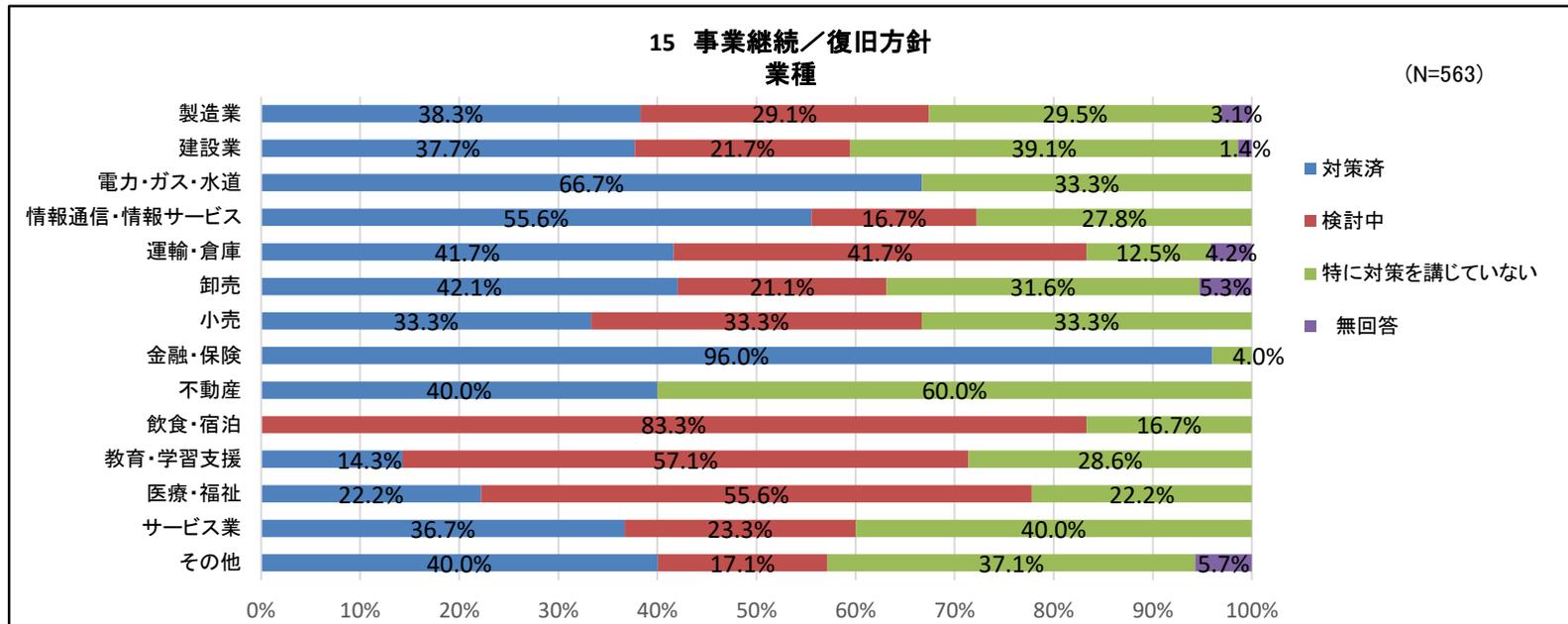
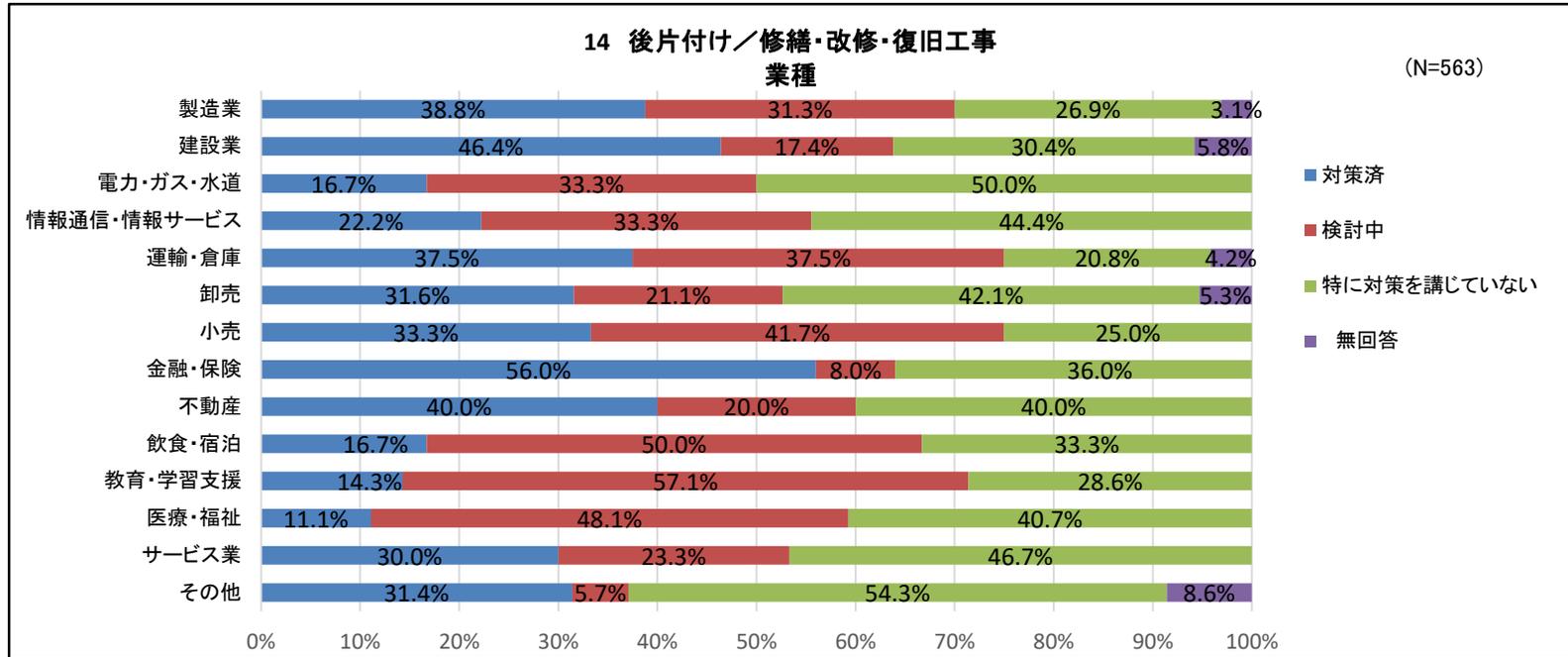
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



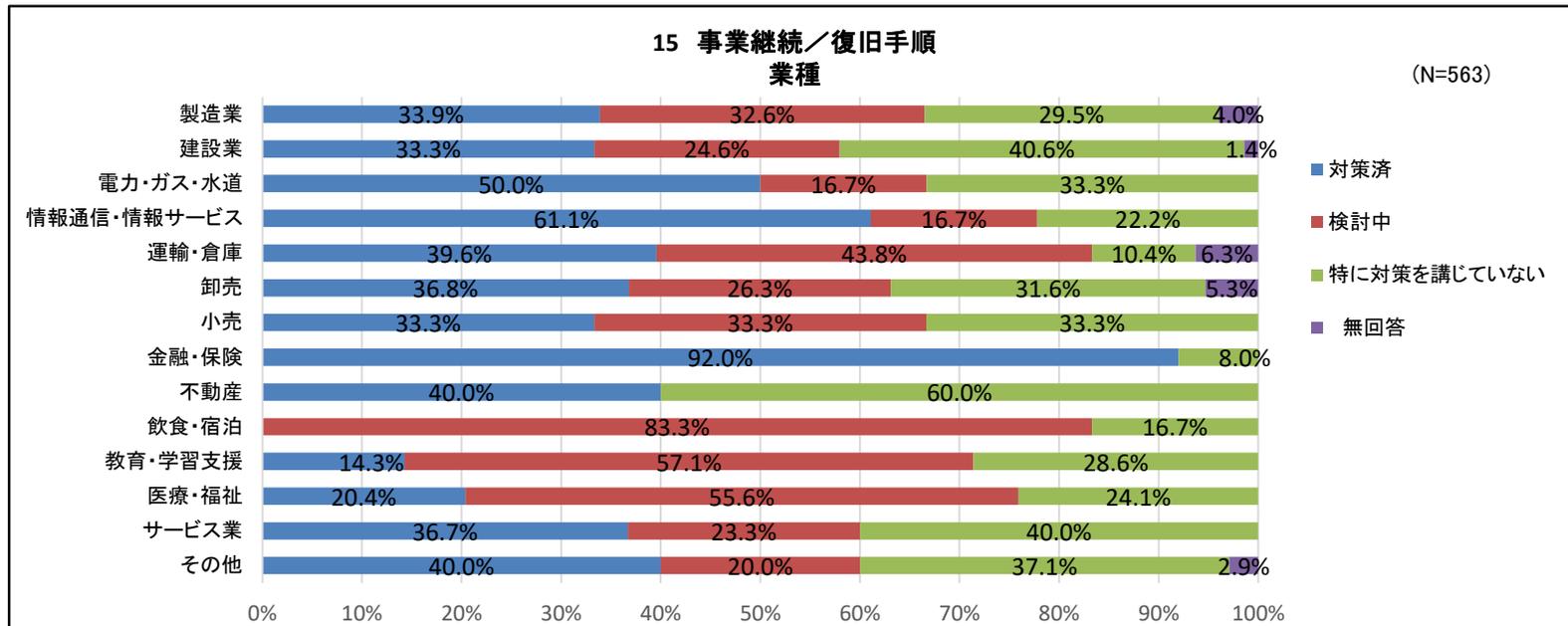
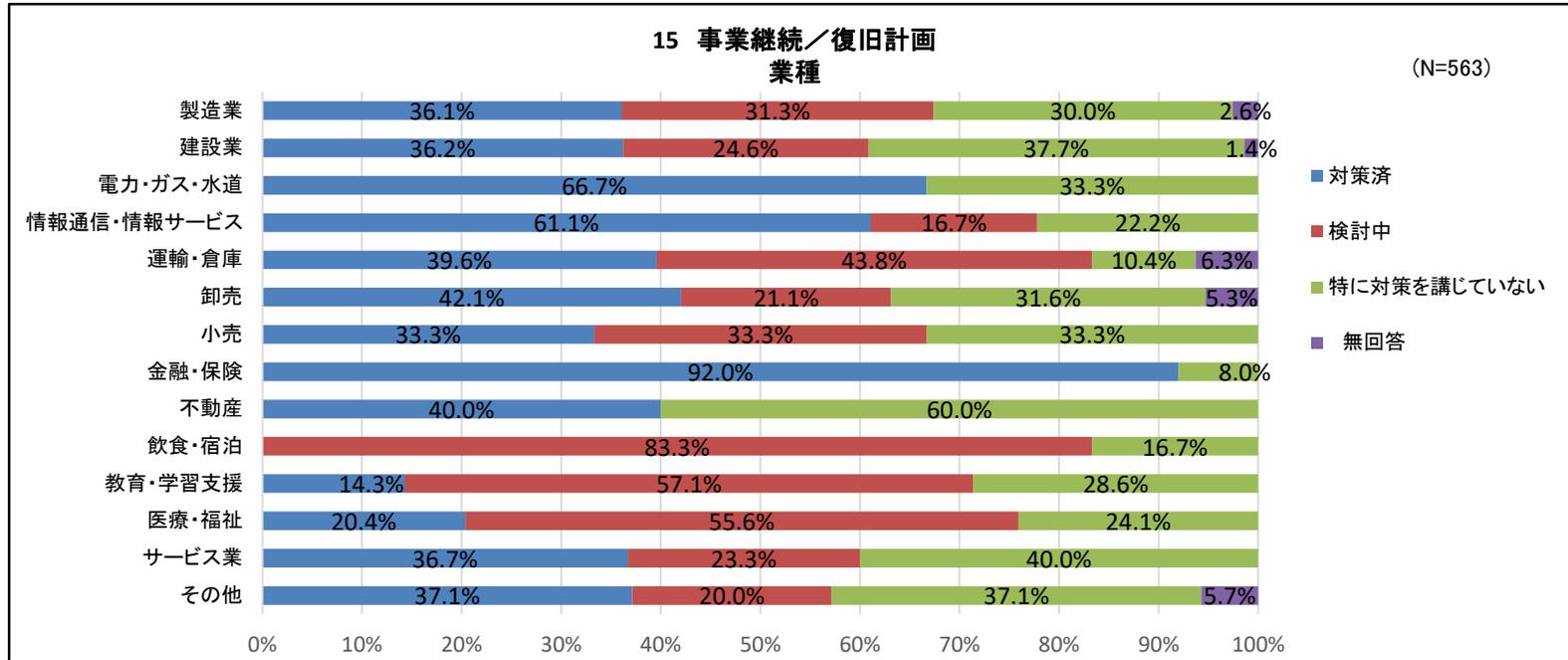
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



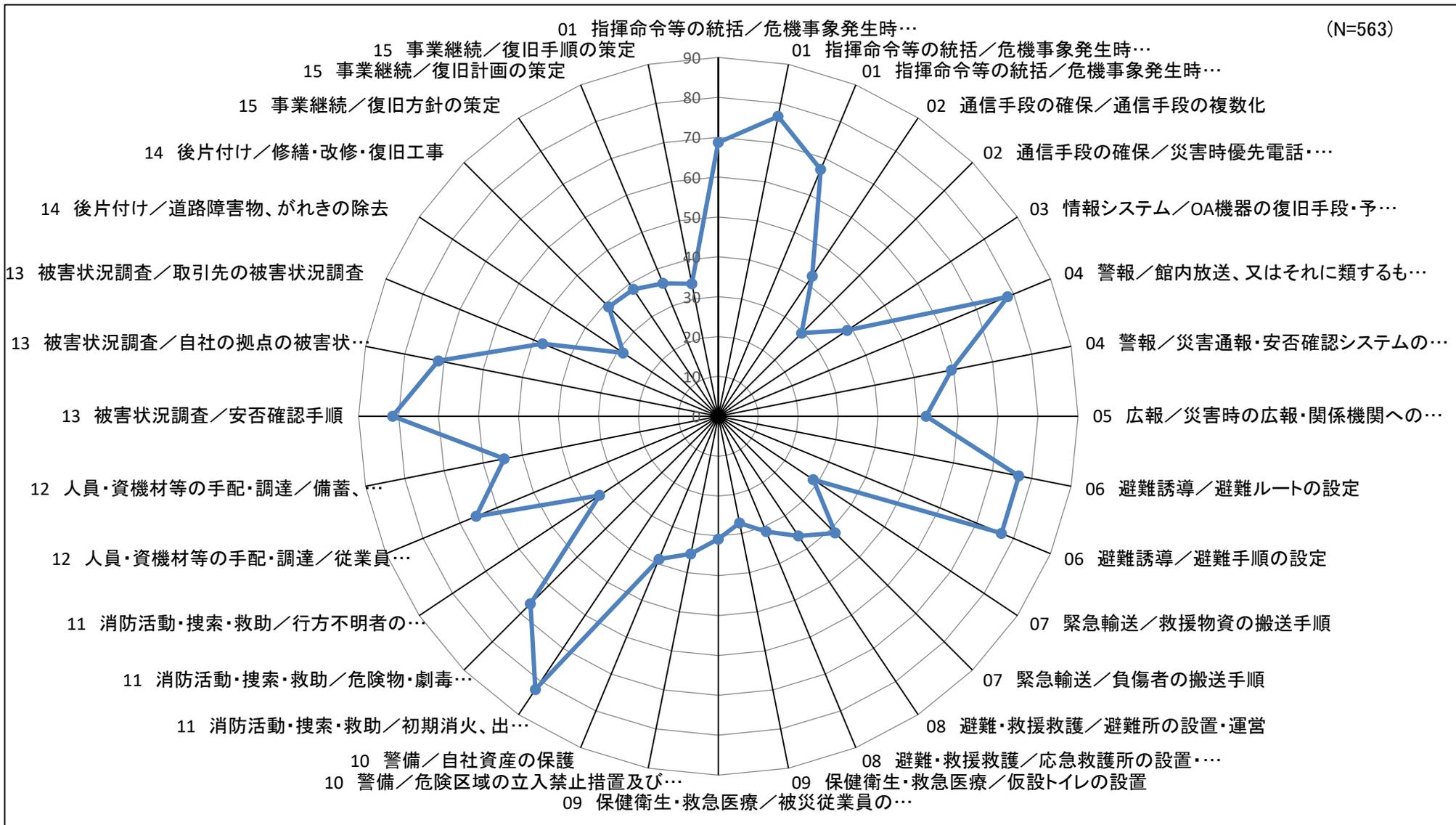
4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:業種別)



4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考: 製造業)

【4-(1)の各対策事項について「対策済」と回答した企業の割合(製造業のケース)】

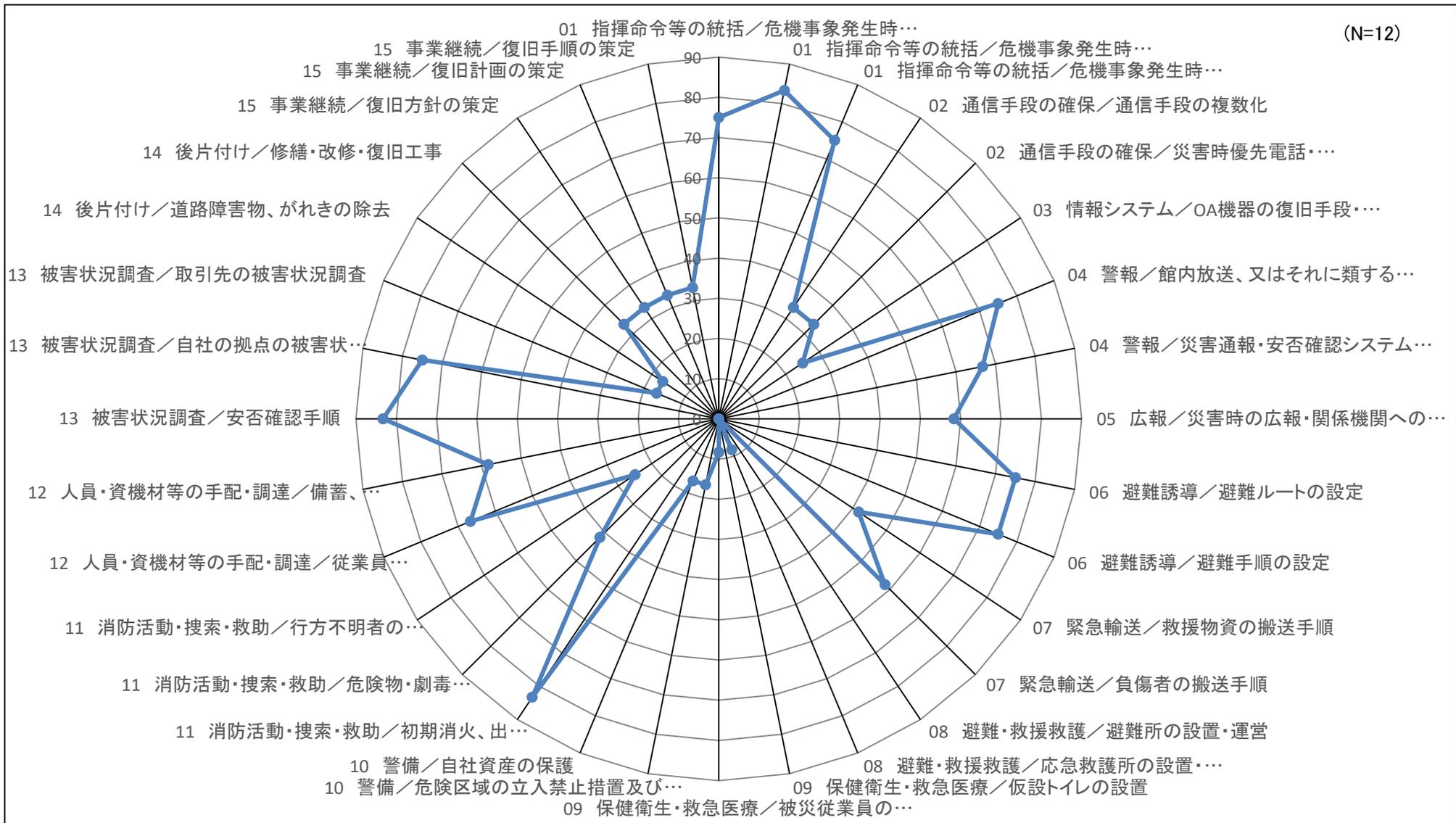
※ 対策事項の出典: みやぎ企業BCP策定ガイドライン【緊急時に企業が備えるべき15の機能】



4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考:小売業)

【4-(1)の各対策事項について「対策済」と回答した企業の割合(小売業のケース)】

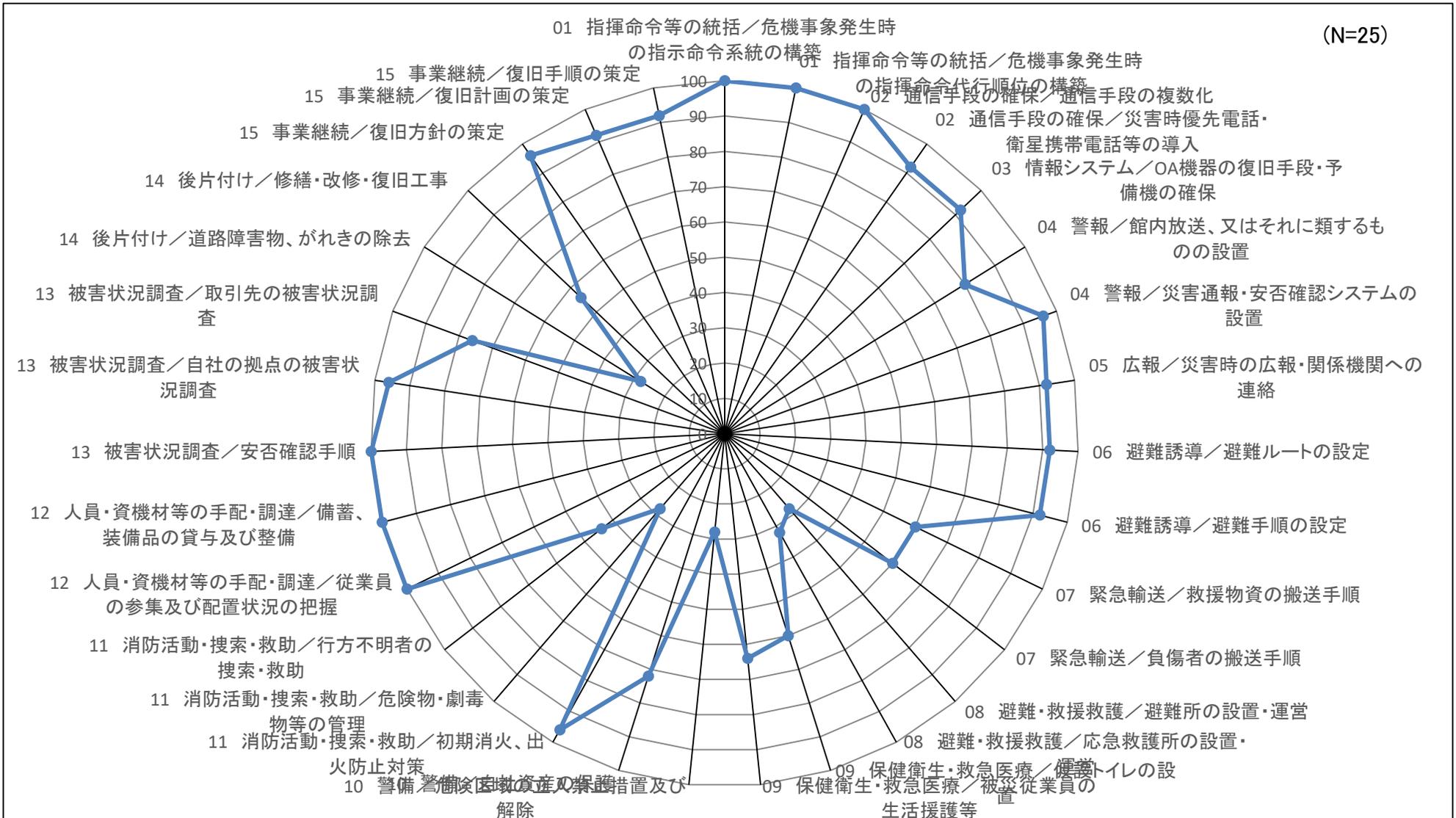
※ 対策事項の出典:みやぎ企業BCP策定ガイドライン【緊急時に企業が備えるべき15の機能】



4) BCPについて: ⑪ 対策事項のレベル(参考: 金融・保険業)

【4-(1)の各対策事項について「対策済」と回答した企業の割合(金融・保険業のケース)】

※ 対策事項の典拠: みやぎ企業BCP策定ガイドライン【緊急時に企業が備えるべき15の機能】



※ 金融・保険業では、「11 消防活動・捜索・救助/危険物・劇毒物等の管理」は非該当となる。

4) BCPについて: ⑫ 対策事項のバリエーション

Ⅲ. BCP(緊急時企業存続計画または事業継続計画)についてお尋ねします。(つづき)

4-(2) 4-(1)以外に災害・事故・感染症等への対策事項がございましたらご記入願います。

【災害リスク:感染症への対策事項】

- 最近では、コロナ対策として分散勤務、在宅勤務(テレワーク)を実施している。
- 新型コロナウイルス感染症への対応について、内閣府・厚生労働省の基準より厳しい社内方針によって対応している。
- 基準より厳しい方針:陽性者に7日間(有症状:発症日から、無症状:検体取得日から)の行動履歴の提出をさせ、要注意接触者にPCR検査を受けさせる。
- 陽性者の執務スペースを専門業者にて消毒する。
- 感染症対策では、緊急度、危険度により、段階的対応をしている。現在は来客を止めている。
- コロナウイルス等の感染症防止対策として社内衛生委員会、取締役会、産業医連携による施策の実施、感染確認時の対応手順の作成、社内周知を実施している。
- 新型コロナウイルス感染症対策ルールを策定し、全社員に配布済。
- 新型コロナウイルス感染対策として感染・拡大防止観点より不織布マスク支給、抗原検査キット支給、PCR検査会社負担の措置を臨時で対応中。
- ゾーニング手段の認知
- 感染対策 ①エアークリーン機の設置 ②各部署での消毒の徹底、検温 ③感染対策意識を高める為の構内放送
- コロナ禍になってから、毎日安否報告を実施
- コロナ感染症報告アプリ(Microsoft)の導入
- 新型コロナ対策BCP作成(2022)
- 「新型コロナウイルス感染発生時における診療継続計画」を別途作成済

【対策事項の具体例】

- 非常用発電機を利用した、対策本部設置ビルの無停電化(38又は72時間)
- 水害に対して現在より高い所(2段程度)に資材等保管
- 地震に対して高く積まない、機械等は固定する。
- 町内外の人員緊急輸送の早期対応をこれまでも実施している。
- 同業他社との相互援助協定を締結している。
- 災害ボランティアセンターを設置し、ボランティアを派遣し、被災者支援を行う。
- 金銭的には民間の保険(火災や地震・サイバー攻撃)で対応する様に準備している。

など

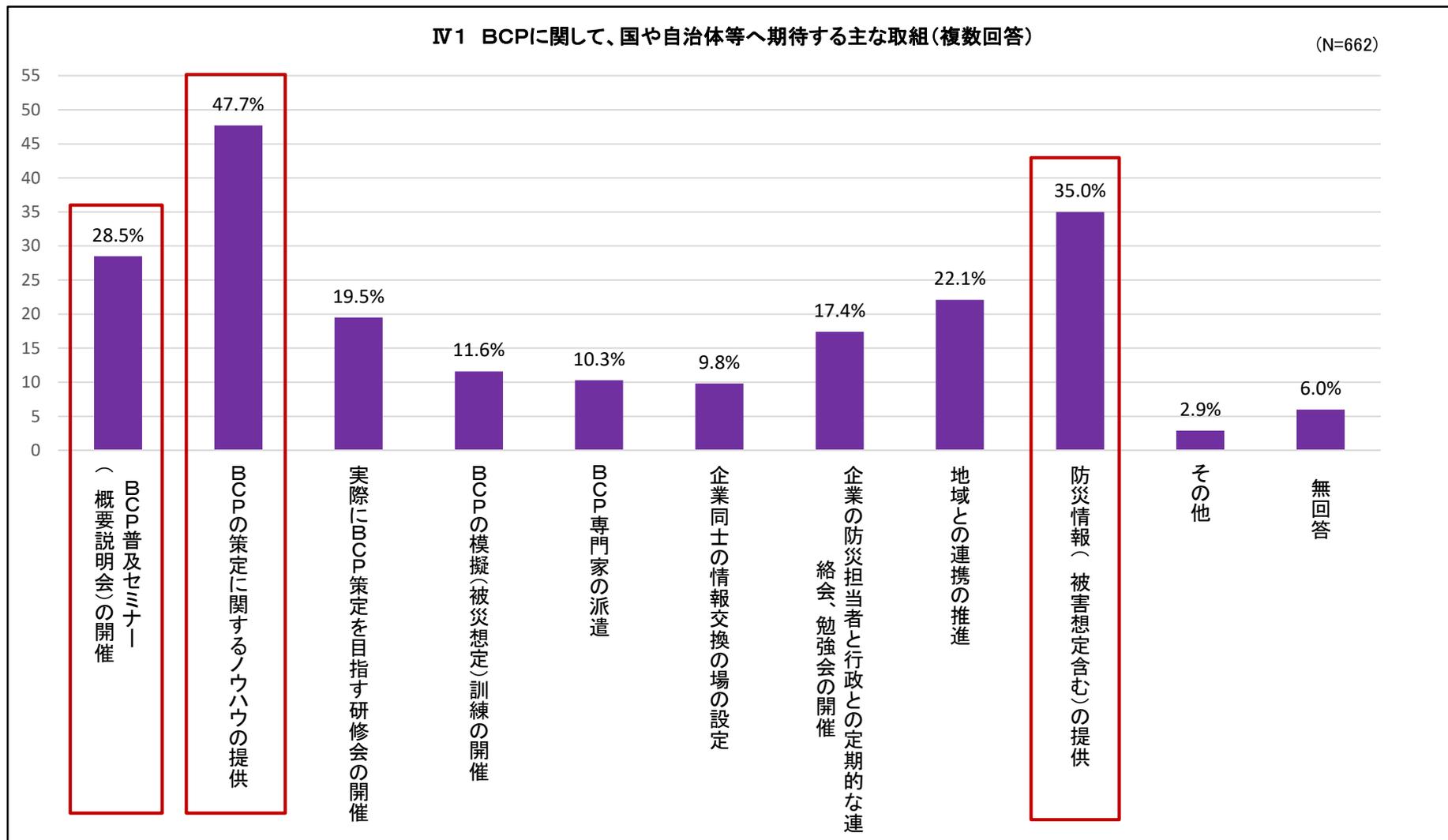
▽ 感染症への対策事項が多く挙げられた。

▽ 対策事項としては、感染予防および拡大防止措置のルール作りに関する事項が多く挙げられた。

5) BCPに関する行政への要望

IV. BCPに関する行政への要望についてお尋ねします。

1 BCPに関して、国や自治体等へ期待する主な取組(支援)は何ですか？(〇は3つまで)



▽ BCPに関する行政への要望は、「BCPの策定に関するノウハウの提供」(47.7%)、「防災情報(被害想定含む)の提供」(35.0%)、「BCP普及セミナーの開催」(28.5%)となった。

3. 調査票

令和4年度 宮城県内企業のBCP策定への取組に関する実態調査（調査票）

宮 城 県

I. 貴社の企業概要についてお尋ねします。

貴社名			
所在地	〒 -		
記入者	7. 代表者（役員）	4. 担当者（役員）	ウ. 担当者（従業員）
電 話	- -	E-mail	@
F A X	- -		
本社の所在地	7. 宮城県内	4. 他都道府県	企業形態 7. 個人 4. 法人（非上場） 9. 法人（上場）
親会社の有無 (貴社の株式の過半数以上を保有している企業)		有 ・ 無	
従業員数 (うちパート、派遣社員数)	(人)	資本金	百万円
業 種 (主たる業種1つに○)	1) 製造業 2) 建設業 3) 電力・ガス・水道 4) 情報通信・情報サービス 5) 運輸・倉庫 6) 卸売 7) 小売 8) 金融・保険 9) 不動産 10) 飲食・宿泊 11) 教育・学習支援 12) 医療・福祉 13) サービス業 14) その他 ()		

II. 災害リスクについてお尋ねします。

貴社では、どのようなリスクにより事業の継続が困難になると想定していますか？（○はいくつでも）

- ア 地震災害 イ 新型コロナウイルス等の感染症 ウ 水害(津波・大雨)
 エ 火災 オ システム障害・サイバー攻撃 カ テロ・戦争
 キ 企業として想定している災害リスクはない
 ク その他 ()

III. BCP（緊急時企業存続計画または事業継続計画）についてお尋ねします。

1 BCPという言葉聞いたことはありますか？（○は1つ）

- ア 聞いたことがあり意味も理解している } → 2-(1)以降へ
 イ 聞いたことはあるが意味は理解していない }
 ウ 聞いたことがない → IV (調査票-5) 以降へ

2-(1) 貴社ではBCPを策定していますか？（○は1つ）

- ア 既に策定している } → 2-(2)以降へ
 イ 策定中である }
 ウ 策定したい }
 エ 策定を検討してもよい }
 オ 当面、策定する予定はない }
 カ BCPは策定していないが、事業継続力強化計画は策定している } → 2-(4)以降へ
※事業継続力強化計画：中小企業が策定した防災・減災の事前対策に関する計画

2-(2) 【2-(1)】で「ア 既に策定している」、「イ 策定中である」と回答された企業にお聞きします。

① BCPに取り組む契機となった主な要因は何ですか？（○はいくつでも）

- ア 過去に事業の中断を経験したため イ 東日本大震災を体験し、必要と感じたため
 ウ 新型コロナウイルスの発生 エ 他社の事業の中断で必要性を認識したため
 オ 親会社からの要請 カ 新規・既存取引企業からの要請
 キ 業界団体からの要請 ク 自社の企業ブランドイメージ向上のため
 ケ BCP策定企業への優遇措置（ローン、格付融資等）の存在を知って
 コ 国・県・市町村等の主催するセミナーを受講して
 サ 内部統制、企業の社会的責任（CSR）の一環
 シ その他 ()

② BCPを策定する際に苦労した（苦労している）主な要因は何ですか？（○は2つまで）

- ア 被害想定の設定 イ 経営者層の理解不足 ウ 従業員の理解不足
 エ BCP策定に充てる資金や人員不足 オ BCP策定方法に関する知識不足
 カ BCP専門家（コンサルタント）不足 キ 関連企業との連携・協力体制の構築
 ク その他 ()

2-(3) 【2-(1)】で「ア 既に策定している」と回答された企業にお聞きします。

① BCPを策定した時期は何時ですか？

BCP策定期期： ____年 ____月

② BCPを策定する際に参考にしたものは何ですか？（○はいくつでも）

- ア 内閣府「事業継続ガイドライン」 イ 経済産業省「事業継続計画策定ガイドライン」
 ウ 中小企業庁「中小企業BCP策定運用指針」
 エ 国土交通省「建設会社のための災害事業継続簡易ガイド」
 オ 宮城県「みやぎ企業BCP策定ガイドライン」 カ NPO法人等が作成したガイドライン
 キ 業界団体が策定したガイドライン ク BCP関連の書籍
 ケ BCP関連のコンサルティング企業 コ 取引先の指導
 サ その他 ()

③ BCPを策定後、企業内部へ内容の周知、内容の見直し（改訂等）、及び模擬（被災想定）訓練を行ったことはありますか？（○はいくつでも）

- ア 企業内部へ内容を周知した（直近の周知時期： ____年 ____月、累計： ____回）
 イ 内容の見直しを行った（直近の見直し時期： ____年 ____月、累計： ____回）
 ウ 模擬訓練を行った（直近の訓練時期： ____年 ____月、累計： ____回）
 エ BCP策定後、企業内部へ内容の周知、内容の見直し、模擬訓練のいずれも行っていない

④ BCPを策定したことで効果はありましたか？

- ア 効果はあった } → 2-(3) ⑤以降へ
 イ どちらかといえば効果はあった }
 ウ どちらかといえば効果はなかった } → 2-(3) ⑥以降へ
 エ 全く効果はなかった }
 オ どちらとも言えない }

⑤ 【2- (3) ④】で「ア 効果はあった」、「イ どちらかといえば効果はあった」と回答された企業にお聞きします。

BCPを策定したことで、役に立ったことは何ですか？ (〇はいくつでも)

- ア 取引先からの信頼が高まった
- イ 緊急時に必要なもの、対応の確認や優先順位を考えるきっかけとなった
- ウ BCP策定を通して、通常業務のマニュアルの作成や作業手順の標準化に役立った
- エ BCPの策定や演習を通して、社内でコミュニケーションをとる機会が増えた
- オ 緊急時に従業員が自発的に行動する社風を構築するきっかけとなった
- カ その他 ()

⑥ 【2- (3) ④】で「ウ どちらかといえば効果はなかった」、「エ 全く効果はなかった」と回答された企業にお聞きします。

BCPを活用する妨げとなっている要因はなんですか？ (〇はいくつでも)

- ア BCPの活用方法が分からない
- イ 経営環境が厳しく社員や資金をBCPの演習や訓練等に充てる余裕がない
- ウ 経営者層の理解不足
- エ 従業員の理解不足
- オ 外部関係先(取引先、協力会社など)の理解不足
- カ BCPの見直しや改善が実施できていない
- オ その他 ()

2- (4) 【2- (1)】で「ウ 策定したい」、「エ 策定を検討してもよい」、「オ 当面、策定する予定はない」、「カ BCPは策定していないが、事業継続力強化計画は策定している」と回答された企業にお聞きします。

BCPの策定の妨げになっている主な要因は何ですか？ (〇は1つ)

- ア 緊急事態が発生しても経営上の問題は発生しないと考えている
- イ BCPを策定しても有効性に疑問がある
- ウ 経営環境が厳しく社員や資金をBCPの策定に充てる余裕がない
- エ BCPの策定方法がわからない
- オ 法令・規制等の要請がない
- カ その他 ()

2- (5) 【2- (3) ②】で オ 宮城県「みやぎ企業BCP策定ガイドライン」を選択した企業に伺います。

同ガイドラインを使ってみて良かった点、改善すべき点など御意見がありましたら記入をお願いします。

(自由記述)

3- (1) 取引先や金融機関など外部の企業から、BCPの有無を聞かれたことがありますか？ (〇は1つ)

- ア 有 → 3- (2) 以降へ
- イ 無 → 3- (3) 以降へ

3- (2) 【3- (1)】で「ア 有」と回答された企業にお聞きします。

BCPの有無を聞かれた相手方は誰ですか？ (〇はいくつでも)

- ア 親会社・関連企業
- イ 既存取引先
- ウ 新規取引先
- エ 金融機関
- オ その他 ()

3- (3) 取引を行う際に、相手企業(場合によっては一部の相手方)にBCPがあることを求めますか？ (〇は1つ)

- ア BCPの有無を取引要件としている
- イ BCPを持つ企業を優先して取引することとしている
- ウ 今後、BCPの有無を考慮して取引先を選択する可能性がある
- エ BCPの有無を取引要件とはしない

4- (1) 貴社の下記の災害・事故・感染症等への対策事項ほどの段階に該当しますか？ (〇はそれぞれ1つ)

【緊急時に企業が備えるべき15の機能と状況】(出典：みやぎ企業BCP策定ガイドラインP.17)

No.	項目	各項目における代表的な機能	段 階		
			1 対策済	2 検討中	3 特に対策を講じていない
01	指揮命令等の統括	危機事象発生時の対策本部組織の構築			
		危機事象発生時の指示命令系統の構築			
		危機事象発生時の指揮命令代行順位の構築			
02	通信手段の確保	通信手段の複数化(冗長化) 災害時優先電話・衛星携帯電話等の導入			
03	情報システム	OA機器の復旧手段・予備機の確保			
04	警報	館内放送、又はそれに類するものの設置			
		災害通報・安否確認システムの設置			
05	広報	災害時の広報・関係機関への連絡			
06	避難誘導	避難ルートの設定			
		避難手順の設定			
07	緊急輸送	救援物資の搬送手順			
		負傷者の搬送手順			
08	避難・救援救護	避難所の設置・運営			
		応急救護所の設置・運営			
09	保健衛生・救急医療	仮設トイレの設置(備蓄でも可)			
		被災従業員の生活援護等			
10	警備	危険区域の立入禁止措置及び解除			
		自社資産の保護			
11	消防活動・捜索・救助	初期消火、出火防止対策			
		危険物・劇毒物等の管理(該当する場合)			
		行方不明者の捜索・救助			
12	人員・資機材等の手配・調達	従業員の参集及び配置状況の把握			
		備蓄、装備品の貸与及び整備			
13	被害状況調査	安否確認手順			
		自社の拠点の被害状況調査			
		取引先の被害状況調査			
14	後片付け	道路障害物、がれきの除去			
		修繕・改修・復旧工事			
15	事業継続	復旧方針の策定			
		復旧計画の策定			
		復旧手順の策定			

4- (2) 4- (1) 以外に災害・事故・感染症等への対策事項がございましたらご記入願います。

IV. BCPに関する行政への要望についてお尋ねします。

1 BCPに関して、国や自治体等へ期待する主な取組（支援）は何ですか？（〇は3つまで）

- | | |
|-------------------------------|---------------------|
| ア BCP普及セミナー（概要説明会）の開催 | イ BCPの策定に関するノウハウの提供 |
| ウ 実際にBCP策定を目指す研修会の開催 | エ BCPの模擬（被災想定）訓練の開催 |
| オ BCP専門家の派遣 | カ 企業同士の情報交換の場の設定 |
| キ 企業の防災担当者と行政との定期的な連絡会、勉強会の開催 | ケ 防災情報（被害想定含む）の提供 |
| ク 地域との連携の推進 | |
| コ その他（ | ） |

2 今後、BCP関連の施策・セミナーの情報（県以外の行政機関が行うものも含む）をお知らせしてもよろしいでしょうか？（〇は1つ）

ア はい イ いいえ

ア はいの場合、送付先のメールアドレス（又はFAX番号）をご記入ください。
()

V. その他BCPに関するご意見等がございましたらご記入願います。

<< ご協力ありがとうございました >>

ご回答いただきました本調査票は、

令和4年9月9日（金）までに同封の返信用封筒に入れご投函ください。（切手は不要です）

本調査は「宮城県における企業の事業継続計画(BCP)策定等の支援に関する協定書」(平成27年3月12日締結)に基づき実施されたものです。
(不許複製)